

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5363608号
(P5363608)

(45) 発行日 平成25年12月11日(2013.12.11)

(24) 登録日 平成25年9月13日(2013.9.13)

(51) Int.Cl. F I
A 6 3 F 7/02 (2006.01)
 A 6 3 F 7/02 3 5 2 F
 A 6 3 F 7/02 3 5 2 L
 A 6 3 F 7/02 3 5 2 C

請求項の数 5 (全 85 頁)

(21) 出願番号	特願2012-102800 (P2012-102800)	(73) 特許権者	000144153
(22) 出願日	平成24年4月27日 (2012.4.27)		株式会社三共
(62) 分割の表示	特願2009-74601 (P2009-74601) の分割		東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
原出願日	平成21年3月25日 (2009.3.25)	(74) 代理人	100093687
(65) 公開番号	特開2012-139585 (P2012-139585A)		弁理士 富崎 元成
(43) 公開日	平成24年7月26日 (2012.7.26)	(74) 代理人	100106770
審査請求日	平成24年4月27日 (2012.4.27)		弁理士 円城寺 貞夫
		(74) 代理人	100107951
			弁理士 山田 勉
		(72) 発明者	小倉 敏男
			東京都渋谷区渋谷3-29-14 株式会 社三共内
		審査官	阿南 進一

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 遊技用装置

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技機に1対1に対応して設けられ、

遊技者に対して発行され当該遊技者の所有する遊技用価値の大きさを特定可能な遊技用
 価値特定情報が記録された遊技用記録媒体を受け付ける遊技用記録媒体受付手段と、

該遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体に記録されている遊技用価値
 特定情報から特定される遊技用価値の大きさに基づいて遊技媒体を遊技者に貸与するた
 めの貸与処理を行う貸与処理手段と、

遊技媒体を計数して取り込む計数手段と、

該計数手段にて計数した計数遊技媒体数の範囲内の遊技媒体を払い出して遊技者に返却
 するための払出処理を行う払出処理手段と、

前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体を遊技者に返却するための
 返却操作を受け付けたことに基づいて、該遊技用記録媒体の記録情報から前記計数遊技媒
 体数を特定可能とした当該遊技用記録媒体を返却する返却処理を行う返却処理手段と、を
 有し、

該返却処理手段は、

前記特定される遊技用価値の大きさが零でない場合に返却処理を行い、

前記特定される遊技用価値の大きさが零であり、かつ前記計数遊技媒体数が零である場
 合には返却処理を行わない遊技用装置であって、

前記返却操作を受け付けたことに基づき、前記特定される遊技用価値の大きさが零であ

10

20

り、かつ前記計数遊技媒体数が所定の遊技媒体数未満の特定数である場合には、当該特定数の遊技媒体を払い出すための払出処理を行うと共に、前記返却処理を行わず、

所定の振分け操作を受け付けたことに基づき、前記計数遊技媒体数を複数の遊技用記録媒体に振分ける振分け処理を行うことを特徴とする遊技用装置。

【請求項 2】

外部からの払出信号の入力により払出単位として予め定められた複数個の遊技媒体を遊技者に対して払い出す遊技機に 1 対 1 に対応して設けられ、

遊技者に対して発行され当該遊技者の所有する遊技用価値の大きさを特定可能な遊技用価値特定情報が記録された遊技用記録媒体を受け付ける遊技用記録媒体受付手段と、

前記払出信号を出力することにより、該遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体に記録されている遊技用価値特定情報から特定される遊技用価値の大きさに基づいて前記払出単位の遊技媒体を前記対応する遊技機から払い出して遊技者に貸与するための貸与処理を行う貸与処理手段と、

遊技媒体を計数して取り込む計数手段と、

前記払出信号を出力することにより、該計数手段にて計数した計数遊技媒体数の範囲内で前記払出単位の遊技媒体を前記対応する遊技機から払い出して遊技者に返却するための単位払出処理を行う単位払出処理手段と、

前記計数遊技媒体数の範囲内で前記払出単位未満の単位未満端数の遊技媒体を払い出して遊技者に返却する単位未満払出処理を行う単位未満払出処理手段と、

前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体を遊技者に返却するための返却操作を受け付けたことに基づいて、該遊技用記録媒体の記録情報から前記計数遊技媒体数を特定可能とした当該遊技用記録媒体を返却する返却処理を行う返却処理手段と、を有し、

該返却処理手段は、

前記特定される遊技用価値の大きさが零でない場合に返却処理を行い、

前記特定される遊技用価値の大きさが零であり、かつ前記計数遊技媒体数が零である場合には返却処理を行わない遊技用装置であって、

前記返却操作を受け付けたことに基づき、前記特定される遊技用価値の大きさが零であり、かつ前記計数遊技媒体数が前記単位未満端数である場合には、該単位未満端数の遊技媒体を払い出すための前記単位未満払出処理を行うと共に、前記返却処理を行わず、

所定の振分け操作を受け付けたことに基づき、前記計数遊技媒体数を複数の遊技用記録媒体に振分ける振分け処理を行うことを特徴とする遊技用装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載した遊技用装置であって、

前記所定の遊技媒体数は設定可能であることを特徴とする遊技用装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 つに記載した遊技用装置であって、

前記遊技機から払い出された遊技媒体が投入される投入皿部と、該投入皿部に投入された遊技媒体を前記計数手段に誘導する計数通路とを有する計数皿ユニットをさらに備えることを特徴とする遊技用装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載した遊技用装置であって、

前記計数皿ユニットは、前記遊技媒体を払い出して遊技者に返却するための返却皿部をさらに有することを特徴とする遊技用装置。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、遊技機に 1 対 1 に対応して設けられ、遊技用価値の大きさを特定可能な有価値特定情報が記録された遊技用記録媒体を受け付けて、該有価値特定情報から特定される有価値の大きさに基づいて遊技媒体を遊技者に貸与するための貸与処理を行うと

10

20

30

40

50

もに、遊技媒体を計数して取り込み、該計数した計数遊技媒体数の範囲内の遊技媒体を払い出して遊技者に返却するための払出処理を行う遊技用装置に関する。

【背景技術】

【0002】

近年、遊技者が獲得した遊技球を計数機に運ぶ手間を低減するとともに、遊技場において必要とされる遊技球数を削減すること等を目的として、特許文献1に示すように、遊技機に1対1に対応して計数装置を設けて、該遊技機での遊技により獲得した遊技球を計数して取り込み、該遊技機に1対1に対応して設けられ、プリペイド残額を特定可能な情報が記録された遊技用記録媒体を受け付けて、該情報から特定されるプリペイド残額に基づいて遊技球を遊技者に貸与するための貸与処理を行う遊技用装置において、遊技者より払出操作を受け付けたことに基づいて、前記計数した計数球数の範囲内の遊技球を払い出して遊技者に返却する払出処理を行うとともに、遊技者より返却操作を受け付けたことに基づいて、前記遊技用記録媒体に前記計数玉数を記録して遊技者に返却する返却処理を行うものが知られている。

10

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2002-143541号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

20

【0004】

しかしながら、上記の特許文献1に示した遊技用装置においては、前記計数球数が比較的少数である場合（例えば計数球数が、所定の景品と交換するための交換球数未満の交換未満端数である場合や、予め定められた払出単位未満の単位未満端数である場合）であっても、該比較的少数の計数球数が記録された遊技用記録媒体が返却されるので、ICチップ等が搭載されていて高価な当該遊技用記録媒体がいたずらに捨てられると、遊技場の損失が大きいという問題があった。

【0005】

本発明は、このような背景のもとになされたものであり、その目的は、遊技用記録媒体がいたずらに捨てられることによる遊技場の損失を防止できるような、遊技用装置を提供することにある。

30

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、前記課題を解決するために、次のような手段を採る。なお後述する発明を実施するための形態の説明及び図面で使用した符号を参考のために括弧書きで付記するが、本発明の構成要素は該付記したものには限定されない。

【0007】

まず手段1に係る発明は、

遊技機（パチンコ機2）に1対1に対応して設けられ、

遊技者に対して発行され当該遊技者の所有する遊技用価値の大きさ（プリペイド残額）を特定可能な遊技用価値特定情報（プリペイド残額データ）が記録された遊技用記録媒体として、遊技者に対して発行されるビジタ用記録媒体（ビジタカード）又は会員登録した遊技者に対して発行される会員用記録媒体（会員カード）を受け付ける遊技用記録媒体受付手段（カードリーダーライタ327）と、

40

該遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体に記録されている遊技用価値特定情報から特定される遊技用価値の大きさに基づいて遊技媒体（パチンコ玉）を遊技者に貸与するための貸与処理を行う貸与処理手段（Sb21の処理を行う制御ユニット328）と、

遊技媒体を計数して取り込む計数手段（計数払出ユニット348, 348'）と、

該計数手段にて計数した計数遊技媒体数（持玉数）の範囲内の遊技媒体を払い出して遊

50

技者に返却するための払出処理を行う払出処理手段（Ｓｂ２５の処理を行う制御ユニット３２８）と、

前記特定される遊技用価値の大きさが零であり、かつ前記計数遊技媒体数が零であることを条件として、前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けたピジタ用記録媒体を取り込む取込処理を行う取込処理手段（Ｓｂ２１の処理においてプリペイド残額が零かつ持玉数が零となったピジターカードの回収指示をカードリーダーライタ３２７に出力する制御ユニット３２８）と、

前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体を遊技者に返却するための返却操作を受け付けたこと（Ｓｂ５でＹＥＳ）に基づいて、該遊技用記録媒体の記録情報から前記計数遊技媒体数を特定可能とした当該遊技用記録媒体（持玉数を記録したピジターカード又は会員カード）を返却する返却処理を行う返却処理手段（Ｓｂ２３ｂの処理を行う制御ユニット３２８）と、

を有する遊技用装置（カードユニット３，３'）であって、

前記返却操作を受け付けたことに基づき、前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けている遊技用記録媒体がピジタ用記録媒体ならば、前記特定される遊技用価値の大きさが零であり（Ｓ２２０でＹＥＳ）、かつ前記計数遊技媒体数が所定の景品と交換するための交換遊技媒体数（例えば１００玉）未満の交換未満端数である（Ｓ２３１'でＹＥＳ）ことを条件として、該交換未満端数の遊技媒体を払い出すための前記払出処理（Ｓ２３５'及び／又はＳ２３７'）を行うと共に、前記取込処理（Ｓ２４３）を行い、

前記返却操作を受け付けたことに基づき、前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けている遊技用記録媒体がピジタ用記録媒体ならば、前記特定される遊技用価値の大きさが零でなく（Ｓ２２０でＮＯ）、かつ前記計数遊技媒体数が前記交換未満端数である（Ｓ２２１'でＹＥＳ 変形例の場合）ことを条件として、前記ピジタ用記録媒体の記録情報から該交換未満端数を特定可能とした（Ｓ２２２）当該ピジタ用記録媒体を返却する処理（Ｓ２１８）を行い、

前記返却操作を受け付けたことに基づき、前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けている遊技用記録媒体が会員用記録媒体ならば、前記特定される遊技用価値の大きさが零であるか否か、及び、前記計数遊技媒体数が前記交換未満端数であるか否かにかかわらず、当該会員用記録媒体の前記返却処理（Ｓ２１３）を行うことを特徴とする遊技用装置である。

これによれば、遊技用価値の大きさが零であり、かつ計数遊技媒体数が交換未満端数である場合には、ピジタ用記録媒体を返却せずに取り込むので、少ない計数遊技媒体数を特定可能なピジタ用記録媒体が返却されて捨てられることによる遊技場の損失を防止できる。

【０００８】

まず手段１に係る発明は、

遊技機（パチンコ機２）に１対１に対応して設けられ、

遊技者に対して発行され当該遊技者の所有する遊技用価値の大きさ（プリペイド残額）を特定可能な遊技用価値特定情報（プリペイド残額データ）が記録された遊技用記録媒体（ピジタカード、会員カード）を受け付ける遊技用記録媒体受付手段（カードリーダーライタ３２７）と、

該遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体に記録されている遊技用価値特定情報から特定される遊技用価値の大きさに基づいて遊技媒体（パチンコ玉）を遊技者に貸与するための貸与処理を行う貸与処理手段（Ｓｂ２１の処理を行う制御ユニット３２８）と、

遊技媒体を計数して取り込む計数手段（計数払出ユニット３４８，３４８'）と、

該計数手段にて計数した計数遊技媒体数（持玉数）の範囲内の遊技媒体を払い出して遊技者に返却するための払出処理を行う払出処理手段（Ｓｂ２５の処理を行う制御ユニット３２８）と、

前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体を遊技者に返却するための

返却操作を受け付けたこと（S b 5 で Y E S ）に基づいて、該遊技用記録媒体の記録情報から前記計数遊技媒体数を特定可能とした当該遊技用記録媒体（持玉数を記録したビジターカード又は会員カード）を返却する返却処理を行う返却処理手段（S b 2 3 b の処理を行う制御ユニット 3 2 8 ）と、を有し、

該返却処理手段は、

前記特定される遊技用価値の大きさが零でない（S 2 2 0 で N O ）場合に、前記返却処理を行い（S 2 1 8 ）、

前記特定される遊技用価値の大きさが零であり（S 2 2 0 で Y E S ）、かつ前記計数遊技媒体数が零である（S 2 3 6 ' で N O ）場合には、前記返却処理を行わない（S 2 4 3 ）遊技用装置（カードユニット 3 , 3 ' ）であって、

10

前記返却操作を受け付けたことに基づき、前記特定される遊技用価値の大きさが零であり（S 2 2 0 で Y E S ）、かつ前記計数遊技媒体数が所定の遊技媒体数（交換玉数）未満の特定数である（S 2 3 1 ' で Y E S ）場合には、当該特定数の遊技媒体を払い出すための払出処理（S 2 3 5 ' 及び / 又は S 2 3 7 ' ）を行うと共に、前記返却処理を行わず、

所定の振分け操作を受け付けたことに基づき、前記計数遊技媒体数を複数の遊技用記録媒体に振分ける振分け処理を行うことを特徴とする遊技用装置である。

これによれば、遊技用価値の大きさが零であり、かつ計数遊技媒体数が所定の遊技媒体数未満の特定数である場合には、遊技用記録媒体を返却しないので、少ない計数遊技媒体数を特定可能な遊技用記録媒体が返却されて捨てられることによる遊技場の損失を防止できる。また計数遊技媒体数を複数の遊技用記録媒体に振分ける振分け処理が行われるので、遊技者の利便性を向上できる。

20

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 9 】

また手段 2 に係る発明は、

外部からの払出信号（台端末貸出要求完了確認信号（B R Q ））の入力により払出単位として予め定められた複数個（例えば 2 5 玉）の遊技媒体（パチンコ玉）を遊技者に対して払い出す遊技機（パチンコ機 2 ）に 1 対 1 に対応して設けられ、

遊技者に対して発行され当該遊技者の所有する遊技用価値の大きさ（プリペイド残額）を特定可能な遊技用価値特定情報（プリペイド残額データ）が記録された遊技用記録媒体（ビジターカード、会員カード）を受け付ける遊技用記録媒体受付手段（カードリーダーライタ 3 2 7 ）と、

30

前記払出信号を出力することにより、該遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体に記録されている遊技用価値特定情報から特定される遊技用価値の大きさに基づいて前記払出単位の遊技媒体を前記対応する遊技機から払い出して遊技者に貸与するための貸与処理を行う貸与処理手段（S b 2 1 の処理を行う制御ユニット 3 2 8 ）と、

遊技媒体を計数して取り込む計数手段（計数払出ユニット 3 4 8 , 3 4 8 ' ）と、

前記払出信号を出力することにより、該計数手段にて計数した計数遊技媒体数（持玉数）の範囲内で前記払出単位の遊技媒体を前記対応する遊技機から払い出して遊技者に返却するための単位払出処理を行う単位払出処理手段（S h 8 又は S h 1 0 の処理を行う制御ユニット 3 2 8 ）と、

40

前記計数遊技媒体数の範囲内で前記払出単位未満の単位未満端数の遊技媒体を払い出して遊技者に返却する単位未満払出処理を行う単位未満払出処理手段（S h 5 の処理を行う制御ユニット 3 2 8 ）と、

前記遊技用記録媒体受付手段にて受け付けた遊技用記録媒体を遊技者に返却するための返却操作を受け付けたこと（S b 5 で Y E S ）に基づいて、該遊技用記録媒体の記録情報から前記計数遊技媒体数を特定可能とした当該遊技用記録媒体（持玉数を記録したビジターカード又は会員カード）を返却する返却処理を行う返却処理手段（S b 2 3 b の処理を行う制御ユニット 3 2 8 ）と、を有し、

該返却処理手段は、

前記特定される遊技用価値の大きさが零でない（S 2 2 0 で N O ）場合に、前記返却処

50

理を行い（S 2 1 8）、

前記特定される遊技用価値の大きさが零であり（S 2 2 0でYES）、かつ前記計数遊技媒体数が零である（S 2 3 1で零判定）場合には、前記返却処理を行わない（S 2 4 3）遊技用装置（カードユニット3, 3'）であって、

前記返却操作を受け付けたことに基づき、前記特定される遊技用価値の大きさが零であり（S 2 2 0でYES）、かつ前記計数遊技媒体数が前記単位未満端数である（S 2 3 1でYES）場合には、該単位未満端数の遊技媒体を払い出すための前記単位未満払出処理（S 2 3 3）を行うと共に、前記返却処理を行わず、

所定の振分け操作を受け付けたことに基づき、前記計数遊技媒体数を複数の遊技用記録媒体に振分ける振分け処理を行うことを特徴とする遊技用装置である。

10

これによれば、遊技用価値の大きさが零であり、かつ計数遊技媒体数が単位未満端数である場合には、遊技用記録媒体を返却しないので、少ない計数遊技媒体数を特定可能な遊技用記録媒体が返却されて捨てられることによる遊技場の損失を防止できる。また計数遊技媒体数を複数の遊技用記録媒体に振分ける振分け処理が行われるので、遊技者の利便性を向上できる。

また手段3に係る発明は、手段1に記載した遊技用装置であって、前記所定の遊技媒体数（交換玉数）は設定可能である（例えば100玉に設定する）ことを特徴とする遊技用装置である。これによれば、遊技場の営業形態に応じて、所定の遊技媒体数を設定できる

。

また手段4に係る発明は、手段1～3のいずれか1つに記載した遊技用装置であって、前記遊技機から払い出された遊技媒体が投入される投入皿部（終端ボックス340a, 440a）と、該投入皿部に投入された遊技媒体を前記計数手段（計数払出ユニット348, 348'）に誘導する計数通路（経路ボックス340b, 440b）とを有する計数皿ユニット（連結ボックス340, 440）をさらに備えることを特徴とする遊技用装置である。これによれば、投入皿部に投入された遊技媒体を、計数通路を介して計数手段に誘導することができる。

20

さらに手段5に係る発明は、手段4に記載した遊技用装置であって、前記計数皿ユニットは、前記遊技媒体を払い出して遊技者に返却するための返却皿部（返却皿442）をさらに有することを特徴とする遊技用装置である。これによれば、払い出された遊技媒体を遊技者の手元に返却できる。

30

【発明を実施するための形態】

【0010】

本発明の実施例を以下に説明する。本発明には、ビジターカードの返却操作が有った場合に、図24に示すように、持玉数が後述する単位未満端数であることを条件として（S 2 2 1又はS 2 3 1でYES）、該単位未満端数の遊技媒体を払い出す単位未満払出処理（S 2 2 3又はS 2 3 3）を行う実施例1と、図32に示すように、持玉数が後述する交換未満端数であることを条件として（S 2 2 1'又はS 2 3 1'でYES）、該交換未満端数の遊技媒体を払い出す交換未満端数払出処理（S 2 2 5'又はS 2 3 5'、及び/又は、S 2 2 7'又はS 2 3 7'）を行う実施例2とが含まれるとともに、図33に示すように、計数された計数済玉数に端数（単位未満端数又は交換未満端数）があることを条件として（Sp 2でYES）、該端数の遊技媒体を払い出す端数払出処理（Sp 3）を行う実施例3とが含まれる。なお実施例1及び実施例2と、実施例3とでは、端数の遊技媒体を払い出すための構造も異なる。

40

【実施例1】

【0011】

本発明の遊技用システムの実施例1を図面に基づいて説明すると、先ず図1は、本発明の実施例1の遊技用システムの全体像を示すシステム構成図であり、遊技場内に複数配置される各遊技島（図示略）に並設される遊技機であるカードリーダ式パチンコ機（以下パチンコ機と略称する）2と、パチンコ機2の所定側の側方位置に該パチンコ機2に対して1対1に対応設置され、遊技場に会員登録をしていないビジタ遊技者に対して発行される

50

遊技用記録媒体であるビジターカードや、遊技場に会員登録をした会員遊技者に対して発行される遊技用記録媒体である会員カードを受付けて、該ビジターカード又は会員カード（以下カードと総称する）に記録された遊技用価値特定情報（プリペイド残額データ）から特定される有価価値の大きさ（プリペイド残額）に基づいて遊技機での遊技に使用される遊技媒体であるパチンコ玉を貸し出すための処理や、対応するパチンコ機 2 における遊技にて獲得されたパチンコ玉を計数するとともに、該計数済みのパチンコ玉数の範囲内のパチンコ玉の払出し（返却）を行うカードユニット 3 と、カードユニット 3 にて使用されるビジターカードや会員カード並びにカードユニット 3 の管理等を行うシステムコントローラ 100 と、各カードユニット 3 において計数された計数済玉数の管理や、会員カードを所持する会員遊技者が再度の遊技に使用可能に所有する貯蓄玉数やカードに記録された持玉数の管理を行う管理コンピュータ 150 と、遊技場内に設置された各パチンコ機 2 の台データ等の遊技情報を管理する本発明の遊技情報管理装置となるホールコンピュータ 140 と、遊技場内の景品カウンタの近傍位置等の遊技場内の所定位置に設けられ、会員カードの貯蓄玉数やカードの持玉数を、他のビジターカード或いは会員カードに振分ける振分け装置 5 と、遊技場内の景品カウンタに設けられて景品交換を行うための景品交換用 P O S 端末 170 と、から主に構成されている。

10

【0012】

そして、これら本実施例の遊技用システムを構成する各装置は、図 1 に示すように、ハブ（HUB）7 並びに通信ケーブル 8 を介して双方向のデータ通信が可能に接続されていて、各接続機器にはそれぞれローカル IP アドレスが付与されてローカルエリアネットワーク（LAN）が形成されており、該ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されているこれら各装置には、当該装置を個々に識別可能な装置 ID が付与されているとともに、各装置が装置（ユニット）ID とローカル IP アドレスとが対応付けられた IP アドレステーブルや後述するユニット管理テーブル（図 17 参照）等を有することで、該装置（ユニット）ID から特定される各ローカル IP アドレスを送信データに付与して送受信することにより、互いにデータの送受を実施できるようになっている。

20

【0013】

なお、本実施例のシステムコントローラ 100 は、上述したように、各会員カード並びに各ビジターカードに残存するプリペイド残額（遊技用価値）を管理しているとともに、通信回線 11 を介して、これら会員カードやビジターカードを管理する遊技場外のカード管理会社に設置された管理サーバ 12 と双方向のデータ通信を実施できるように接続されていて、これら管理サーバ 12 に対してシステムコントローラ 100 から、各種の管理情報が送信されることにより、カード管理会社は、該管理サーバ 12 にて各遊技場の会員カード並びにビジターカードによる売り上げ等を把握できるようになっている。

30

【0014】

また、本実施例のホールコンピュータ 140 には、図 1 に示すように、遊技場内を監視するための監視カメラシステムが接続されており、該監視カメラシステムにて撮像された遊技場内の監視画像が、各パチンコ機 2 の台データ等とともに記憶、管理されるようになっている。なお、これらホールコンピュータ 140 にて管理される各パチンコ機 2 の台データ等の遊技情報は、後述するように、各パチンコ機 2 に対応するカードユニット 3 から送信される送信データにより最新の情報に更新されるようになっている。

40

【0015】

また、カードユニット 3 とパチンコ機 2 とは、図 3 に示すように、払出単位として予め定められた複数個（本実施例では 25 玉）のパチンコ玉の貸出に伴う各種の信号、具体的には、パチンコ機 2 から出力される台端末貸出完了信号（EXS）や台 READY 信号（PRDY）、制御ユニット 328 より出力されるカードユニット READY 信号（BRDY）や台端末貸出要求完了確認信号（BRQ）（図中、貸出関連データ）を送受可能に接続されているとともに、該パチンコ機 2 から出力される後述する大当たり信号、確変中信号、時短中信号、賞球信号、始動信号と、当該パチンコ機 2 に対応して設けられる図示しない打込玉カウンタから出力される打込玉信号とが入力可能に接続されている。

50

【 0 0 1 6 】

はじめに、本実施例に用いた遊技機であるパチンコ機 2 について、以下に簡単に説明すると、該パチンコ機 2 は、図 2 に示すように、額縁状に形成されたガラス扉枠 2 2 を有し、該ガラス扉枠 2 2 の下部表面には打球供給皿 2 3 がある。打球供給皿 2 3 の上面所定箇所には、操作部 1 4 が設けられているとともに、打球供給皿（上皿）2 3 の下部には、打球供給皿 2 3 から溢れたパチンコ玉を貯留する下皿 2 4 と打球を発射する打球操作ハンドル（以下打球操作ノブと称する）2 5 とが設けられている。

【 0 0 1 7 】

ガラス扉枠 2 2 の後方には、遊技盤 2 6 が着脱可能に取付けられている。また、遊技盤 2 6 の前面には遊技領域 2 7 が設けられている。この遊技領域 2 7 の向かって右側の下方領域に「特別図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される特図可変表示部 2 8 と、その中央付近には、「演出図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示されるとともに演出映像が表示される演出表示部 2 9 と、「普通図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される可変表示装置 3 0 とが設けられている。また遊技盤 2 6 には、複数の入賞口 4 4 や通過ゲート 3 1、始動入賞口 3 4、可変入賞球装置 3 6 が設けられているとともに、遊技領域 2 7 の下部には、入賞しなかった打込玉を回収するアウト口 4 6 が形成されている。

【 0 0 1 8 】

これら各入賞口に打玉が入賞した（即ち付与条件が成立した）場合には、各入賞口に応じた賞球が図示しない玉切り払い出し装置により払い出されるとともに、該玉切り払い出し装置により払い出された賞球数（付与玉数）に応じた賞球信号（10玉に1パルス）が外部に出力されることで、賞球数が外部に通知される。

【 0 0 1 9 】

また各入賞口に入賞した打玉及びアウト口 4 6 に回収された打玉の数は、当該パチンコ機 2 に対応して設けられるアウト玉計数器 1 6 により計数され、該計数された打込玉数に応じた打込玉信号（10玉に1パルス）が外部に出力されることで、打込玉数が外部に通知される。

【 0 0 2 0 】

打球操作ノブ 2 5 の操作によって揺動されるハンマー（図示略）によって発射された打玉は、打球レールを通過して遊技領域 2 7 に入り、その後、遊技領域 2 7 を流下していく。この際、発射勢いが弱すぎて前記遊技領域 2 7 に達しなかったパチンコ玉は、環流経路（図示略）を通じて下皿 2 4 に環流されるようになっている。

【 0 0 2 1 】

また、遊技領域 2 7 に打ち込まれた打込玉が通過ゲート 3 1 を通過すると、可変表示装置 3 0 に停止表示されている普通図柄が可変開始する。

【 0 0 2 2 】

可変表示装置 3 0 の可変表示動作後の表示結果が予め定められた特定の表示結果（たとえば ）となった場合に、始動入賞口 3 4 に設けられた可動片 3 5 が所定時間開成して遊技者にとって有利な状態となる。

【 0 0 2 3 】

また、始動入賞口 3 4 にパチンコ玉が入賞すると、特図可変表示部 2 8 において全特別図柄が可変表示（変動表示）を開始するとともに、演出表示部 2 9 において演出表示が開始される。そして、その後、特図可変表示部 2 8 における特別図柄が停止し、その停止表示結果が予め定められた特定の表示態様となった場合には、演出表示部 2 9 における左、中、右の演出図柄の可変表示も停止し、その演出図柄の表示態様も予め定められた特定の表示態様（たとえば 7 7 7 ）とされることで、特定遊技状態（大当たり状態）が発生するとともに、大当たり中信号が出力状態とされることで、該大当たりの発生が外部に通知される。

【 0 0 2 4 】

また、特図可変表示部 2 8 における特別図柄が停止したときに、所定パルス幅の始動信号が出力され、特図可変表示部 2 8 における特別図柄の可変表示（変動表示）が実施され

10

20

30

40

50

たことが外部に通知される。

【 0 0 2 5 】

このように大当たり状態が発生した場合には、可変入賞球装置 3 6 に設けられた開閉板 4 0 が開成して遊技者にとって有利な第 1 の状態となる。この第 1 の状態は、所定期間（たとえば 3 0 秒間）の経過または打玉の所定個数（たとえば 1 0 個）の入賞のうちいずれか早い方の条件が成立することにより終了し、その後、遊技者にとって不利な第 2 の状態となる。

【 0 0 2 6 】

そして該第 1 の状態となっている可変入賞球装置 3 6 の大入賞口内に進入した打玉が特定入賞領域（V ポケット）に入賞して図示しない V カウントスイッチにより検出されれば、その回の第 1 の状態の終了を待って前記第 2 の状態から前記第 1 の状態に制御する繰返し継続制御が行なわれる。この繰返し継続制御の上限回数は例えば 1 5 回と定められている。

【 0 0 2 7 】

この大入賞口に打玉が入賞した（即ち付与条件が成立した）場合にも、該入賞に応じた賞球が図示しない玉切り払い出し装置により払い出されるとともに、該玉切り払い出し装置により払い出された賞球数（付与玉数）に応じた賞球信号（1 0 玉に 1 パルス）が外部に出力されることで、賞球数が外部に通知される。

【 0 0 2 8 】

特図可変表示部 2 8 の表示結果並びに演出可変表示部 2 9 の演出図柄の表示結果が予め定められた大当たり図柄の組合せで停止表示されたときには前述したように大当たりが発生するが、これら大当たり図柄に停止表示される以前の状態において、リーチ状態が発生する場合がある。

【 0 0 2 9 】

特図可変表示部 2 8 並びに演出可変表示部 2 9 で可変表示された特別図柄並びに演出図柄が所定の確率変動図柄の種類に一致した図柄の組合せで停止表示されたときには、前記繰返し継続制御による「大当たり」の終了後に、再度大当たりとなる確率が通常確率状態よりも高い確率状態となる確率変動状態となるようになっており、これら確率変動図柄での大当たりを通常の大当たりと区別して「確変大当たり」と呼称し、これら確変大当たり終了後における確率変動状態中において、確変中信号が出力状態とされることで、該確率変動状態の発生が外部に通知される。

【 0 0 3 0 】

また、特図可変表示部 2 8 並びに演出可変表示部 2 9 で可変表示された特別図柄並びに演出図柄が所定の確率変動図柄以外の図柄の組合せで停止表示されたときには、前記繰返し継続制御による「大当たり」の終了後に、特図可変表示部 2 8 並びに演出可変表示部 2 9 で可変表示が所定回数に達するか或いは次の大当たりが発生するまでの間、特図可変表示部 2 8 における特別図柄および演出可変表示部 2 9 における演出図柄の可変表示時間（変動時間）が通常遊技状態よりも短縮される時短状態となるようになっており、これら時短状態中において、時短中信号が出力状態とされることで、該時短状態の発生が外部に通知される。

【 0 0 3 1 】

本実施例のパチンコ機 2 には、これら各信号を外部出力するための図示しない情報出力基板が搭載されており、該情報出力基板とカードユニット 3 とが、図示しない信号ケーブルを介して接続されており、情報出力基板からは、大当たり中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号からなる外部出力信号が、信号ケーブルを介してカードユニット 3 に出力される。

【 0 0 3 2 】

ここで、大当たり中信号は大当たり状態の期間中において出力状態とされる信号であり、確変中信号は確変状態の期間中においてのみ出力状態とされる信号であり、時短中信号は時短状態の期間中においてのみ出力状態とされる信号（貸出関連データ）であり、始動信号

10

20

30

40

50

は、特図可変表示部 28 の表示結果が全て導出表示されて可変表示が終了した際に出力される所定幅のパルス信号であり、賞球信号は、所定玉数（本実施例では 10 玉）が払い出される毎に出力される所定幅のパルス信号である。

【0033】

本実施例のパチンコ機 2 には、該パチンコ機 2 における遊技を制御する遊技制御基板から、入賞に基づいて出力される賞球信号に基づいて所定数の賞球を計数して払出す制御を行うとともに、通常の CR 機と同じく、カードユニット 3 より入出力される信号に基づいて、払出単位である 25 玉のパチンコ玉を計数して貸出す制御を行う図示しない賞球制御基板を備えており、該払出単位である 25 玉の倍数のパチンコ玉の貸出を実施できるようになっている。

10

【0034】

次に、本実施例にて使用されるビジターカードと会員カードとについて、簡潔に説明すると、本実施例に使用されるビジターカード並びに会員カードには、種々のデータを記憶するための不揮発性メモリと、これら記録情報の書き換えや読み出しを実施するとともに、外部のリーダライタ装置との非接触通信を実施する制御部とを有する IC チップが搭載された IC カードを使用しており、これらビジターカード並びに会員カードには、個々のカードを識別可能なカード ID、具体的には、ビジターカードには VC で始まるカード ID が、会員カードには、KC で始まる会員カード ID が予め書き換え不能に記憶されていて、その種別がカード ID から識別可能とされているとともに、プリペイド残額を特定可能なプリペイド残額データや、振分けの有無を特定可能な振分けフラグ（「1」が振分け有りを示し、「0」が振分け無しを示す）等の各種データが記憶されている。

20

【0035】

なお、会員カードは、遊技場に会員登録を実施した会員遊技者に対して発行されるものであり、該会員に対して付与される会員 ID が書き換え不能に記憶されている。また、該会員カードを使用して会員遊技者は、後述するように、一度獲得して計数したパチンコ玉を、その翌日以降においても再度遊技に使用できたり景品交換に使用できる貯玉を行うことができるようになっているが、該会員カードには、該貯玉が行われたパチンコ玉数である貯玉数は直接記録されておらず、該貯玉数は、後述するように、管理コンピュータ 150 において、会員カード ID と会員 ID とに対応付けて記憶されることで、該会員カード ID や会員 ID から特定されるようになっている。また会員カードには、該会員カードを所有する遊技者が計数した計数済玉数に基づく持玉数も直接記録されておらず、該持玉数も、後述するように、会員カード ID と会員 ID とに対応付けて記憶されることで、該会員カード ID や会員 ID から特定されるようになっており、該持玉数をその当日においてのみ、遊技場内の各カードユニット 3 において遊技に使用でき、また景品交換 POS 端末 170 において景品交換に使用できるようになっている。

30

【0036】

また、ビジターカードは、遊技場内に設置された図示しないカード発行・入金機にて、購入、発行されるとともに、カードユニット 3 においても発行される。なお、ビジターカードには、該ビジターカードを所有する遊技者が計数した計数済玉数に基づく持玉数と日付とが記憶されており、該持玉数をその当日においてのみ、遊技場内の各カードユニット 3 において遊技に使用でき、また景品交換 POS 端末 170 において景品交換に使用できるようになっている。

40

【0037】

次に、本実施例のカードユニット 3 について、図 2 ～ 図 10 に基づいて以下に説明すると、本実施例のカードユニット 3 の前面には、図 2 に示すように、フルカラー LED により構成されて複数の色に点灯することでカードユニット 3 の状態等を報知可能とされた多機能ランプ 301 等の各種表示部、紙幣を挿入するための紙幣挿入口 302、装置前面より装置前方側に突出形成された突出部 305、計数済玉数を払出すための計数払出操作を受付けるための払出ボタン 311、会員カードやビジターカードを挿入するためのカード挿入口 309 が設けられている。

50

【 0 0 3 8 】

カードユニット 3 の前面に設けられたカード挿入口 3 0 9 は、該カード挿入口 3 0 9 に対応する位置に内蔵されるカードリーダー 3 2 7 (図 7 参照) のカードスロット 3 9 2 に連設されており、このカード挿入口 3 0 9 を介してビジターカードや会員カードをカードスロット 3 9 2 に挿入可能とされている。

【 0 0 3 9 】

カードユニット 3 の前面には、前方に突出する態様にて突出部 3 0 5 が設けられている。該突出部 3 0 5 において、遊技者に対向する面には、図 2 並びに図 5 に示すように、各種情報を表示可能な表示部 3 1 2 と、メインメニュー画面を表示させるためのメニューボタン 3 1 6 と、台データを表示させるための台データボタン 3 1 8 と、会員カードを受付けた場合において、該会員カードに記録された会員カード ID 並びに会員 ID により特定される貯玉数を用いた再プレイ遊技を実施するための再プレイボタン 3 1 9 と、再プレイボタン 3 1 9 の操作が有効であることを報知するための再プレイ表示部 3 2 0 と、遊技場の係員が所持するリモコン (図示略) からの赤外線信号を受信して電気信号に変換して出力する IR 受光ユニット 3 1 5 とが設けられており、該表示部 3 1 2 の表面には、表示部 3 1 2 に表示された各表示項目を指触により入力可能とするための透明タッチパネル 3 1 4 が設けられている。

【 0 0 4 0 】

また、該突出部 3 0 5 内部には、表示部 3 1 2 を成す後述する液晶表示器 3 1 3 や各ボタンに対応するスイッチが設けられており、これらが、図 7 に示すように、該突出部 3 0 5 に対応する装置内位置に設けられた表示制御基板 3 2 9 に接続されることで、液晶表示器 3 1 3 の表示制御や、透明タッチパネル 3 1 4 による入力位置検出等が、該表示制御基板 3 2 9 によって実施される。

【 0 0 4 1 】

カードユニット 3 内の上部位置には、紙幣挿入口 3 0 2 に連設され、該紙幣挿入口 3 0 2 に投入された紙幣を取り込んでその真贋や紙幣種別の識別を実施し、その識別結果を装置略中央部に設けられている後述する制御ユニット 3 2 8 に出力する紙幣識別ユニット 3 2 1 が設けられており、該紙幣識別ユニット 3 2 1 にて各種紙幣 (1 万円、5 千円、2 千円、千円の各紙幣) の受付が可能とされている。

【 0 0 4 2 】

また、カードユニット 3 の略中央部位置には、該カードユニット 3 を構成する各部と接続しやすいように該カードユニット 3 の動作を制御する制御ユニット 3 2 8 が設けられており、後述するように、該制御ユニット 3 2 8 によって該カードユニット 3 の各種の動作が制御されている。

【 0 0 4 3 】

また、カードユニット 3 の最下方位置には、図 7 に示すように、パチンコ玉を計数して取り込み、該計数したパチンコ玉を最大端数分、つまり、対応するパチンコ機 2 における払出単位である 2 5 個未満の単位未満端数の最大値である 2 4 個だけ貯留するとともに、該単位未満端数のパチンコ玉を計数して払出す計数払出ユニット 3 4 8 が設けられている。以下、実施例 1 においては、「単位未満端数」を「端数」と略称する。

【 0 0 4 4 】

なお、本実施例のカードユニット 3 は、図 7 に示すように、カードユニット 3 本体が、その上下位置に形成されたユニットホルダ 3 1 " に係合し、該カードユニット 3 本体を前面方向に引き出し可能に保持するユニットホルダ 3 1 ' を介して遊技島に設置されており、カードユニット 3 の前面下方所定位置には、図示しないシリンダ錠が設けられていて、係員等が所持する解錠キーにより施錠を解除することでカードユニット 3 が引き出しできるようになっている。また、該ユニットホルダ 3 1 ' には、各種接続ケーブルを中継するためのコネクタが設けられており、制御ユニット 3 2 8 に接続される通信ケーブル等が、該ユニットホルダ 3 1 ' を介して中継接続されていて、これら通信ケーブル等が前記カードユニット 3 本体の引き出し時に絡まって、カードユニット 3 本体が引き出せなくなっ

10

20

30

40

50

しまうことがないように工夫されている。

【 0 0 4 5 】

図 3 は、本実施例のカードユニット 3 の構成を示すブロック図である。カードユニット 3 は、上述したように、主には、紙幣識別ユニット 3 2 1 と、カードリーダライタ 3 2 7 と、表示制御基板 3 2 9 と、カードユニット 3 の各部の制御を制御プログラムにより実施して該カードユニット 3 の各種の機能を提供する制御ユニット 3 2 8 とから構成されており、紙幣識別ユニット 3 2 1、カードリーダライタ 3 2 7 及び表示制御基板 3 2 9 は制御ユニット 3 2 8 と接続されて各種データの送受が可能とされている。

【 0 0 4 6 】

カードリーダライタ 3 2 7 は、カード挿入口 3 0 9 から挿入される会員カード並びにビ
ジターカードに記録されている（会員）カード ID や、会員 ID（会員カードのみ）、プ
リペイド残額データ等の記録情報の読み出し並びに書き込みを行う。

【 0 0 4 7 】

本実施例に用いたカードユニット 3 2 7 の構成を、図 4 を用いてより詳細に説明すると、該カードリーダライタ 3 2 7 の内部には、前記カード挿入口 3 0 9 からの会員カードやビジターカードの挿入並びに会員カードやビジターカードが挿入中であることを検知する挿入センサ 3 9 7 や、カード挿入口 3 0 9 からの新たな会員カードやビジターカードの挿入を阻止するためのシャッタの出没を行うシャッタ用ソレノイド 3 9 9 や、カード挿入口 3 0 9 から延設され、会員カードやビジターカードがスライド可能とされたガイドレール 3 9 8 と、該ガイドレール 3 9 8 を挟むように配設されてカードスロット 3 9 2 に挿入された会員カードやビジターカードを、カードスロット 3 9 2 の内方側に取り込むとともに、会員カードやビジターカードをカード挿入口 3 0 9 から排出する取込・排出口ーラ 3 8 7 ' 並びに該取込・排出口ーラ 3 8 7 ' を駆動する駆動モータ 3 8 6 ' と、取込・排出口ーラ 3 8 7 ' によりカードスロット 3 9 2 の内方側に取り込まれた会員カードやビジターカードのガイドレール 3 9 8 上の移動を、駆動モータ 3 8 6、3 9 3 にて駆動回転されることにより実施する搬送ローラ 3 8 7、3 8 8 と、前記搬送ローラ 3 8 7、3 8 8 の一方側に張架された搬送ベルト 3 9 1 と、から成る搬送機構や、該搬送される会員カードやビジターカードを所定位置に停止させるストップピンの出没を行うソレノイド 3 8 9 や、所定位置に停止された会員カードやビジターカードへの給電やデータ通信を行う通信ヘッド 3 9 0 や、該通信ヘッド 3 9 0 に接続されて会員カードやビジターカードとのデータ送受の制御を行う通信基板 3 2 7 a と、が設けられており、挿入されている会員カードやビジターカードからのデータの読み出し及び会員カードやビジターカードへの書き込みが非接触状態にて可能とされている。

【 0 0 4 8 】

本実施例のカードリーダライタ 3 2 7 に設けられた搬送機構を構成する搬送ローラ 3 8 7 は、カード挿入口 3 0 9 から、1 枚の会員カードやビジターカードの長さ寸法とほぼ等しい距離だけ、離間されて設けられており、カード挿入口 3 0 9 と搬送ローラ 3 8 7 との間に、1 枚の会員カード或いはビジターカードを滞留（保持）させたまま、通信ヘッド 3 9 0 に対応する所定位置に他の会員カード或いはビジターカードを停止させてデータの読み取り及び書き込みを実施できるようになっており、後述するように、振分け処理を実施する場合において、振分けにて発行するビジターカードと受付中の会員カードをほぼ同時に連続してカード挿入口 3 0 9 から排出できるとともに、振分けにおいて振分け先のカードを受付けた場合には、振分け先のカードを排出することなく保持したまま、振分け元のビジターカードへの書き込みを完了できるようになっている。

【 0 0 4 9 】

本実施例のカードリーダライタ 3 2 7 に設けられている搬送ベルト 3 9 1 のカードユニット 3 の内方側終端部位置には、ビジターカードを最大 1 0 枚まで貯留できるカード貯留部 3 7 0 が設けられており、新規のビジターカードを発行可能とされている。

【 0 0 5 0 】

この本実施例のカード貯留部 3 7 0 の内部には、図 4 に示すように、駆動モータ 3 7 3

10

20

30

40

50

にて駆動回転される１対の搬送ローラ３７１と、該搬送ローラ３７１に張架された搬送ベルト３７２と、から成るビジターカードの移動（収納、排出）を実施する搬送機構が設けられるとともに、カード貯留部３７０内に貯留されているビジターカードを、支持板３７７を介して搬送ベルト３７２側に押圧する押圧ばね３７６が設けられている。

【００５１】

そして、搬送機構における搬送ベルト３７２の略中央部には、ソレノイド３７４によって揺動する揺動ローラ３７５が設けられている。ビジターカードをカード貯留部３７０の内部に取り込むときに、揺動ローラ３７５がソレノイド３７４によって揺動して搬送ベルト３７２と当接することで、搬送ベルト３７２の中央部が突出し、既に貯留されているビジターカード若しくは支持板３７７を押圧することにより、搬送ベルト３７２とビジターカード若しくは支持板３７７との間に、新たにビジターカードを受け入れるための間隙が形成される。そのため挿入されたビジターカードをスムーズにカード貯留部３７０内に貯留することができるようになっており、これらビジターカードの取り込み後に揺動ローラ３７５が搬送ベルト３７２と当接しない位置まで戻ることにより、搬送ベルト３７２の中央部の突出が解消されて、搬送ベルト３７２がビジターカードの全面に当接する状態にてビジターカードが貯留され、該ビジターカードを排出するときには、搬送ベルト３７２に当接しているビジターカードが、搬送ベルト３７２を取り込みとは逆方向に移動することによって、搬送ベルト３９１へ排出される。

【００５２】

また、カード貯留部３７０内には、該カード貯留部３７０内に貯留されるビジターカードの枚数が１枚以下になったことを検出する光学センサによるカード補給検知センサ３７８が設けられているとともに、カード貯留部３７０内に貯留されるビジターカードの枚数が１０枚（満タン）になったことを検出する光学センサによるカード満タン検知センサ３７９が設けられている。カード補給検知センサ３７８がビジターカードの枚数が１枚以下になったことを、ビジターカードからの光反射がないことによって検出すると、該検出信号が制御ユニット３２８に出力されることで、制御ユニット３２８によりカード補給を要求する所定の点灯態様にて多機能ランプ３０１が点灯されることにより、ビジターカードが足りなくなったことが店員に報知されるとともに、カード満タン検知センサ３７９がビジターカードの枚数が１０枚（満タン）になったことを、ビジターカードからの光反射が有ることによって検出した場合には、該検出信号が制御ユニット３２８に出力されることで、制御ユニット３２８が、カード貯留部３７０内にビジターカードが満タンになったことを認識できるようになっており、この場合には、ビジターカードの回収を実施することなく該ビジターカードはカード挿入口３０９から排出される。

【００５３】

このカード貯留部３７０にビジターカードを補充する場合には、係員がリモコンを操作することによりカード補充モードに移行させた状態において、残額が０のビジターカードをカード挿入口３０９に順次挿入することで、これら挿入されたビジターカードが、カード貯留部３７０に順次貯留されるようになる。

【００５４】

次に、本実施例の制御ユニット３２８について説明すると、制御ユニット３２８は、図３に示すように、制御プログラムを実行可能な中央演算処理回路（ＣＰＵ）３２８ａや、カードリーダーライタ３２７に受付け中のビジターカードや会員カードの（会員）カードＩＤ並びにプリペイド残額や、持玉数、貯蓄数、来店ポイント数、対応するパチンコ機２の台データ、遊技中の会員の遊技情報等の各種のデータを記憶可能なＲＡＭ３２８ｂや、中央演算処理回路（ＣＰＵ）３２８ａが実行する制御プログラムや、当該カードユニット３の装置ＩＤを含む設定情報や、離席中の（会員）カードＩＤ等の各種のデータを書き換え記憶可能な不揮発性メモリであるＥＥＰＲＯＭ３２８ｃや、その時点の時刻情報やカレンダー情報等を出力可能なリアルタイムクロック（ＲＴＣ）３２８ｄを含み、ＲＡＭ３２８ｂは図示しない電池によりバックアップされており、電源が遮断されても、所定期間において記憶されているデータが保持される。

【 0 0 5 5 】

本実施例の制御ユニット 3 2 8 は、前述したようにパチンコ玉の貸出に伴う各種の信号の授受を、パチンコ機 2 に設けられている図示しない賞球制御基板との間において実施可能に接続されているとともに、前述のように、信号ケーブルを介して、パチンコ機 2 の情報出力基板と接続されることで、大当り中信号等の各種の外部出力信号が入力可能とされている。

【 0 0 5 6 】

また、制御ユニット 3 2 8 は、対応するパチンコ機 2 の下方位置に設けられているアウト玉計数器 1 6 に接続されて該アウト玉計数器 1 6 による打込玉信号が入力可能とされており、これらアウト玉計数器 1 6 からの打込玉信号の入力に応じて、後述する遊技情報テーブル（図 9（b）参照）の総打込玉数の値に該打込玉信号に応じた所定数を加算更新する。

10

【 0 0 5 7 】

また、制御ユニット 3 2 8 は、計数払出ユニット 3 4 8 と接続されており、後述するように、該計数払出ユニット 3 4 8 においてパチンコ玉の計数が行われたことにより出力される計数センサ信号の入力や、該計数払出ユニット 3 4 8 においてパチンコ玉の払出が行われたことに応じて、表示部 3 1 2 の下部位置に表示している計数済玉数（図 5 参照）の値を更新することで、計数払出ユニット 3 4 8 にて計数された玉数の総数（その時点以前に既にその当日に計数された当該遊技者の玉数が存在する場合には、その合計となる持玉数）が計数済玉数として表示される。

20

【 0 0 5 8 】

また、制御ユニット 3 2 8 は、装置前面の突出部 3 0 5 の下方位置に設けられた払出ボタン 3 1 1 に対応する払出ボタンスイッチ 3 1 1' に接続されており、払出ボタン 3 1 1 の操作に応じた信号が、該払出ボタンスイッチ 3 1 1' から入力されることにより、払出ボタン 3 1 1 の操作の有無を把握できるようになっている。

【 0 0 5 9 】

本実施例の R A M 3 2 8 b に記憶されているカードテーブルには、図 9（a）に示すように、カードリーダーライタ 3 2 7 に挿入されたビジターカードや会員カードから読み出した（会員）カード I D や会員 I D（会員カードのみ）、（会員）カード I D 並びにプリペイド残額データに基づくプリペイド残額、カード I D 若しくは（会員）カード I D と会員 I D から特定される持玉数、（会員）カード I D と会員 I D から特定される貯玉数（会員のみ）、会員 I D から特定される来店ポイント数（会員のみ）が記憶されるようになっている。

30

【 0 0 6 0 】

また R A M 3 2 8 b には、図示しないが、後述する異常判定処理（図 2 2）で使用される実測獲得玉数 x，貸玉数 u，打込玉数 v，付与玉数 w，及び返却玉数 t が記憶される。ここで実測獲得玉数 x は、計数払出ユニット 3 4 8 にて計数された計数済玉数の累計値であり、該計数払出ユニット 3 4 8 から計数センサ信号が入力されると、該計数センサ信号から特定される玉数が加算更新される。また貸玉数 u は、貸与処理（図 2 1 の S b 2 1）にて貸与された玉数の累計値であり、該貸与処理が行われると、貸与された玉数が加算更新される。また打込玉数 v は、パチンコ機 2 での遊技に使用された玉数の累計値であり、パチンコ機 2 から打込玉信号が入力されると、該打込玉信号から特定される玉数（本例では 1 パルスあたり 1 0 玉）が加算更新される。また付与玉数 w は、パチンコ機 2 にて付与条件が成立したことに基づいて付与される玉数の累計値であり、パチンコ機 2 から賞球信号が入力されると、該賞球信号から特定される玉数（本例では 1 パルスあたり 1 0 玉）が加算更新される。さらに返却玉数 t は、払出処理（図 2 1 の S b 2 5，図 2 5）にて持玉数の範囲内で払い出されて返却された玉数の累計値であり、該払出処理が行われると、返却された玉数が加算更新される。これら実測獲得玉数 x，貸玉数 u，打込玉数 v，付与玉数 w，及び返却玉数 t の記憶は、返却操作に基づいて異常判定処理が行われるとクリアされる（図 2 3 の S 1 0 9）。

40

50

【 0 0 6 1 】

また、RAM 3 2 8 b に記憶されている本実施例の遊技情報テーブルには、図 9 (b) に示すように、本日を含む 3 日間の遊技情報、つまり、本日データ、前日データ、前々日データが記憶されている。なお、前日データ、前々日データは、EEPROM 3 2 8 c にも記憶されているが、これら前日データ、前々日データを表示する際に、EEPROM 3 2 8 c から読み出すよりも高速に処理できるようにするために、本実施例では、予め EEPROM 3 2 8 c より読み出した前日データ、前々日データを RAM 3 2 8 b に記憶されている遊技情報テーブルに記憶しておくようにしている。

【 0 0 6 2 】

この本実施例の遊技情報テーブルには、対応するパチンコ機 2 から出力される前述した大当たり中信号、確変中信号、時短中信号の図示しない入力端子 1 ~ 3 への入力状態に基づく現在の遊技状態（本日のみ）と、最新の遊技状態データ（左のビットから順に入力端子 1 ~ 入力端子 3 の入力状態、0 : LOW / 未接続、1 : HIGH、本日のみ）並びに前回の遊技状態データ（最新の遊技状態データに更新される前の遊技状態データ、本日のみ）、営業開始時点からの総打込玉数、総賞球数、差玉数（総打込玉数 - 総賞球数）、総始動回数、大当たり状態の発生が識別される毎にリセットされて大当たりの発生後からの始動回数である当り後始動回数、営業開始時点からの大当たりの発生回数である大当たり回数、営業開始時点からの確変状態の発生回数である確変回数と、営業開始時点からの時短状態の発生回数である時短回数と、通常遊技状態において発生した大当たりから次に通常遊技状態となるまでに発生した大当たりの回数である連荘回数からなる遊技情報が格納されており、これら遊技情報は、入力端子に入力される大当たり中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号、打込玉信号に基づいて最新の情報に更新される。

【 0 0 6 3 】

なお、これら遊技情報テーブルにおいて集計、管理されている本日の台データは、図 1 0 に示すように、その先頭に台データを含む送信データ列であることを示す特定のデータヘッダと、当該カードユニット 3 の装置 ID と、対応するパチンコ機 2 の台番号とが付与された所定フォーマットの送信データ列として、ホールコンピュータ 1 4 0 からの送信要求の受信に応じて（遊技状態の変更時には、その時点で）送信される。なお、図 1 0 の ECC は、エラー訂正用コードである。

【 0 0 6 4 】

また、RAM 3 2 8 b に記憶されている本実施例の会員遊技情報テーブルには、図 9 (c) に示すように、カードリーダーライタ 3 2 7 に会員カードが挿入された時点からの遊技情報、つまり、該挿入された会員カードを所持する会員の遊技に関する遊技情報が格納されている。

【 0 0 6 5 】

具体的には、会員が遊技を開始した開始時間（会員カードの受付け時刻）、会員が遊技を終了した終了時間（会員カードの返却時刻）、会員の遊技時間、会員が遊技を開始してから始動回数、会員が遊技を開始してから発生した大当たり回数、会員が遊技を開始してから発生した大当たり回数、会員が遊技を開始してから発生した確変回数、会員が遊技を開始してから獲得した獲得玉数（遊技開始時の計数済玉数からの差数）、会員が遊技に使用した支出金額と、会員が遊技を開始してから再プレイに使用した再プレイ玉数と、会員が遊技を開始してから使用した持玉数とが更新記憶されており、対応するパチンコ機 2 で遊技中の会員遊技者が遊技を開始してからの遊技情報（台データ）を把握できるようになっている。

【 0 0 6 6 】

また、制御ユニット 3 2 8 には、前述したように、対応するパチンコ機 2 の操作部 1 4 に設けられた残額表示器や、貸出ボタンの操作を検知する貸出ボタンスイッチや、受付中の会員カードやビジターカードを返却させる際に操作される返却ボタンの操作を検知する返却ボタンスイッチが接続されており、貸出ボタンの操作や返却ボタンの操作を検知できるとともに、これら残額表示器の表示制御を実施する。

【 0 0 6 7 】

制御ユニット 3 2 8 は、リモコンからの送信に応じた I R 受光ユニット 3 1 5 からの出力や突出部 3 0 5 に設けられている各種ボタンの操作やタッチパネルの操作に応じて表示制御基板 3 2 9 から入力される各種情報や、紙幣識別ユニット 3 2 1 による貨幣識別情報、並びにカードリーダライタ 3 2 7 からのカード挿入情報やビジターカードの貯留状態情報等を受けて、制御ユニット 3 2 8 に接続されている前記多機能ランプ内に設けられたフルカラー L E D 3 0 1 a 等の各 L E D の点灯制御、カードリーダライタ 3 2 7、表示制御基板 3 2 9 の制御、残額表示器の表示制御等、全体の動作制御を行う。

【 0 0 6 8 】

また制御ユニット 3 2 8 は、図 2 1 に示すように、カード挿入口 3 0 9 に挿入された会員カードやビジターカードの利用の可 / 不可を判別するカード受付け処理 (S b 2 0) や、受付け中の会員カード或いはビジターカードから読み出したプリペイド残額データに基づくプリペイド残額を使用した玉貸を行う貸与処理 (S b 2 1) や、貨幣の受付けに応じて、受付け中の会員カードやビジターカードに残存するプリペイド残額への入金、或いは新たなビジターカードにプリペイド残額を書き込んで発行する発行・入金処理 (S b 2 2) や、R A M 3 2 8 b で記憶している実測獲得玉数 x , 貸玉数 u , 打込玉数 v , 付与玉数 w , 及び返却玉数 t に基づく異常判定処理 (S b 2 3 a , S b 2 7 a) や、返却ボタンの操作により受付け中の会員カードやビジターカードの返却する返却処理 (S b 2 3 b) や、貯玉数を用いた再プレイ処理 (S b 2 4) や、払出ボタン 3 1 1 の操作の受付けによって計数済玉数 (挿入されたビジターカード並びに会員カードにより特定される持玉数を含む) からの払い出し (返却) を行って該払出した玉数を計数済玉数から減算更新する払出処理 (S b 2 5) や、リモコンにおける離席操作に基づく信号の受信により離席モードに移行するための離席処理 (S b 2 6) や、振分け操作の受付けによって計数済玉数を他の遊技者の計数済玉数として振分けする振分け処理 (S b 2 7) 等の各種処理を実行する。

【 0 0 6 9 】

また、制御ユニット 3 2 8 は、通信部 3 3 4 並びに H U B 7 を介して、ローカルエリアネットワーク (L A N) に接続されている前述のシステムコントローラ 1 0 0、ホールコンピュータ 1 4 0 並びに管理コンピュータ 1 5 0 等とデータ通信可能に接続されており、これらの各コンピュータと各種データの送受が該通信部 3 3 4 を通じて可能とされている。

【 0 0 7 0 】

また、制御ユニット 3 2 8 に接続された表示制御基板 3 2 9 は、表示部 3 1 2 を成す液晶表示器 3 1 3 や、透明タッチパネル 3 1 4 や、各種スイッチ類 (メニューボタン 3 1 6 に対応するメニュースイッチ 3 1 6 a、台データボタン 3 1 8 に対応する台データスイッチ 3 1 8 a、再プレイボタン 3 1 9 に対応する再プレイスイッチ 3 1 9 a) や、I R 受光ユニット 3 1 5、前述した再プレイ表示部 3 2 0 内に設けられた L E D 3 2 0 a 等の電子部品が接続されており、これら透明タッチパネル 3 1 4 の操作情報や、各種スイッチ類の操作情報、I R 受光ユニット 3 1 5 から出力された出力信号に基づく情報が、表示制御基板 3 2 9 を介して制御ユニット 3 2 8 に出力される。

【 0 0 7 1 】

本実施例の表示制御基板 3 2 9 には、液晶表示器 3 1 3 の表示駆動を行う表示駆動回路 (図示略) や、前記透明タッチパネル 3 1 4 からの出力信号に基づいて押圧操作された位置を特定して該特定した入力位置情報を出力する入力位置検出回路 (図示略) や、表示部 3 1 2 に表示する表示映像に関する処理を行う V D P (図示略) や、メニュー表示等を使用する画像データ等を記憶する V R O M (図示略) や、表示部 3 1 2 に表示する表示データを一時記憶する V R A M (図示略) や、制御ユニット 3 2 8 から独立して、各種スイッチ類やタッチパネル等の入力に伴う判断や処理を処理プログラムに基づいて実施する表示制御マイコン等が実装されており、制御ユニット 3 2 8 から出力される表示データ (ページデータ) 等に基づいて、各種の表示画面を、表示部 3 1 2 を成す液晶表示器 3 1 3 に表示可能とされている。

【0072】

カードユニット3の最も下方位置（紙幣挿入口302、表示部312、並びにカード挿入口309より下）に設けられている計数払出ユニット348には、図6に示すように、パチンコ機2の下皿24と、遊技島の繕板1との間に配置される横長の箱状とされた連結ボックス340が連結されるようになっている。

【0073】

この連結ボックス340は、連結ボックス340の終端側に形成された、高さ方向の厚みが比較的大きな終端ボックス340aと、高さ方向の厚みが比較的小さく、終端ボックス340aと計数払出ユニット348との連結部とを繋ぐように形成された経路ボックス340bとから構成されている。

10

【0074】

連結ボックス340は、計数払出ユニット348に連結することで、終端ボックス340aが下皿24の下方に位置するようになっており、該終端ボックス340aの上面には、下皿24から排出されるパチンコ玉が投入されるホップ形状とされた投入部345が形成されているとともに、終端ボックス340aの前面下部位置には、遊技者が開閉自在とされ、通常において閉状態となるように付勢されている開閉シャッタ342'を有し、計数払出ユニット348から払出（返却）される端数のパチンコ玉が排出される返却口342が設けられている。

【0075】

また、経路ボックス340b内の上部位置には、計数払出ユニット348に向けて傾斜するように設けられ、該投入部345に投入されたパチンコ玉を自然流下にて計数払出ユニット348に導く2条の流路から成る計数通路343が設けられている。また、該計数通路343の下方位置に返却口342に向けて傾斜するように設けられ、計数払出ユニット348から払出されたパチンコ玉を自然流下にて返却口342に導く返却通路344が設けられている。

20

【0076】

なお、終端ボックス340aの前面上部位置には、遊技者がスライド操作可能とされた計数レバー341が設けられており、該計数レバー341を、付勢に抗してスライドさせることで、投入部345から計数通路343への侵入口に設けられた開閉シャッタ346が開放されるようになっている。

30

【0077】

連結ボックス340が連結される本実施例の計数払出ユニット348の内部には、図7並びに図8に示すように、計数通路343と連結される、カードユニット3の前面側からカードユニット3の内方側に向けて傾斜するように設けられた流入路350と、該流入路350の下方に設けられ、該流入路350に繋がるカードユニット3の内方側から、返却通路344に繋がるカードユニット3の前面側に向けて傾斜するように設けられた流出路352とを有しており、これら流入路350と流出路352とが、カードユニット3の前方側において垂直に形成された環流路351で連結されている。

【0078】

また、流入路350の終端位置には、該流入路350内を流下するパチンコ玉を検出して計数する計数センサ354が、各条の流路毎に設けられており、計数通路343を通じて該計数払出ユニット348に流入したパチンコ玉が、該計数センサ354により検出されて計数されるようになっている。

40

【0079】

なお、流入路350と環流路351との分岐部には、図8に示すように、ほぼ直角に回転することで流入路350または環流路351の入口を塞ぐ流路切替え板353'と、該流路切替え板353'を回転させるための流路切替え用ソレノイド353とが設けられており、パチンコ玉の流路を流入路350または環流路351に切替えることができるようになっている。

【0080】

50

また、流出路 3 5 2 上の該流出路 3 5 2 と環流路 3 5 1 との連結部には、図 8 に示すように、パチンコ玉の流下を阻止するシャッタ 3 5 7 と該シャッタの出没を行うシャッタ用ソレノイド 3 5 8 と、該シャッタ 3 5 7 を通過するパチンコ玉を検出する払出センサ 3 5 6 とが設けられており、該シャッタの上流部位置が玉貯留部 3 5 5 とされており、図 8 (a) に示すように、計数センサ 3 5 4 により計数された計数済みのパチンコ玉が、該玉貯留部 3 5 5 に貯留されるようになっている。

【 0 0 8 1 】

なお、本実施例では、これら玉貯留部 3 5 5 に貯留できるパチンコ玉の数は、各条に 1 2 個ずつ、つまり、2 条で 2 4 個とされており、パチンコ機 2 における払出単位である 2 5 個未満の最大の端数である 2 4 個の端数玉であっても、該玉貯留部 3 5 5 に貯留されて

10

【 0 0 8 2 】

また、この玉貯留部 3 5 5 に 2 4 個のパチンコ玉が既に貯留されている場合においては、図 8 (b) に示すように、計数センサ 3 5 4 により計数された計数済みのパチンコ玉は、玉貯留部 3 5 5 に流入できないので、排出路 3 6 0 側に流下して該排出路 3 6 0 を通じてカードユニット 3 外の遊技島内に排出される。

【 0 0 8 3 】

これら、図 8 (b) に示すように、玉貯留部 3 5 5 に 2 4 個のパチンコ玉が貯留されている状態において、例えば、端数として 2 0 玉の払出 (返却) がなされる場合には、払出センサ 3 5 6 によって該 2 0 玉のパチンコ玉が計数されるまでシャッタ 3 5 7 が開放されて、合計で 2 0 玉のパチンコ玉が玉貯留部 3 5 5 から計数されて払出され、該払出されたパチンコ玉が流出路 3 5 2 と返却通路 3 4 4 を流下して返却口 3 4 2 に返却されて、玉貯留部 3 5 5 には、図 8 (c) に示すように、例えば、2 玉 × 2 条で合計 4 玉のパチンコ玉が残るようになる。

20

【 0 0 8 4 】

なお、これら玉貯留部 3 5 5 の各パチンコ玉が存在 (停止) する位置の側方部には、玉貯留部 3 5 5 に貯留されている各パチンコ玉を検出するための図示しない玉センサが、各パチンコ玉の停止位置毎に設けられており、その時点において玉貯留部 3 5 5 に貯留されているパチンコ玉の玉数を計数払出ユニット 3 4 8 が把握し、貯留玉数出力として外部出力できるようになっており、これら貯留玉数出力が制御ユニット 3 2 8 に入力されることで、制御ユニット 3 2 8 が、計数払出ユニット 3 4 8 にて払出 (返却) が可能なパチンコ玉数を把握できるようになっている。

30

【 0 0 8 5 】

また、計数センサ 3 5 4 によって計数を行うことができない場合には、図 8 (d) に示すように、制御ユニット 3 2 8 からの指示に基づいて流路切替え板 3 5 3 ' を回動させて流入路 3 5 0 を塞ぐことにより、流入路 3 5 0 に侵入したパチンコ玉が、環流路 3 5 1 と流出路 3 5 2 並びに返却通路 3 4 4 を流下して返却口 3 4 2 に返却される一方、計数を行うことができる場合には、制御ユニット 3 2 8 からの指示に基づいて流路切替え板 3 5 3 ' が環流路 3 5 1 の入口を塞ぐことで、該環流路 3 5 1 への入口をパチンコ球が通過できるようになることで、該通過したパチンコ玉が計数センサ 3 5 4 によって計数される。

40

【 0 0 8 6 】

なお、これら計数センサ 3 5 4 によって計数された場合には、1 球のパチンコ玉の検出に応じて所定パルスの検出信号が計数払出ユニット 3 4 8 から制御ユニット 3 2 8 に対して出力される。

【 0 0 8 7 】

次に、本実施例の振分け装置 5 について、図 1 1 並びに図 1 2 に基づいて説明すると、振分け装置 5 は、図 1 1 に示すように、縦長箱状の外観を有しており、その前面には、稼働状況を報知するための稼働報知ランプ 5 0 3 と、表面に透明タッチパネル 5 0 2 を有する液晶ディスプレイからなる表示装置 5 0 1 と、振分け元のピジターカード或いは会員カードが挿入される第 1 カード挿入口 5 0 4 と、該第 1 カード挿入口 5 0 4 に対応して設け

50

られ、該第1カード挿入口504からのカードの排出等を点滅等により報知する第1挿入口LED506と、振分け先のビジターカード或いは会員カードが挿入されるとともに、新たな振分け先のビジターカードが発行される第2カード挿入口505と、該第2カード挿入口505に対応して設けられ、該第2カード挿入口505からのカードの排出等を点滅等により報知する第2挿入口LED507とが設けられている。

【0088】

表示装置501には、振分け装置5の操作案内が表示されて、該操作案内に沿ってカードの挿入や、メニューの選択を実施することで、簡単に振分けを実施できるようになっている。

【0089】

図12は、本実施例の振分け装置5の構成を示すブロック図であり、装置内部には、前述したカードユニット3に内蔵されているカードリーダライタ327（図4参照）とほぼ同じ構成とされた第1カードリーダライタ508が、第1カード挿入口504に臨むように設けられているとともに、カードリーダライタ327（図4参照）と同じ構成とされた第2カードリーダライタ509が、第2カード挿入口504に臨むように設けられている。

【0090】

なお、第2カードリーダライタ509は、前述のカードリーダライタ327と同様に、発行するビジターカードを貯留するカード貯留部370を有していて、新たに振分け先のビジターカードを発行できるようになっているのに対し、第1カードリーダライタ508は、これらカード貯留部370を省いた構成とされていて、ビジターカードの発行機能を有しないものとされている。

【0091】

また、振分け装置5の装置内部には、図12に示すように、振分け装置5に設けられた各部に接続されて、該振分け装置5が有する各種機能を実現するための制御を行う制御部510が設けられており、該制御部510は、振分け装置5が有する各種機能を実現するための制御内容が記述された制御プログラムを記憶する図示しないROMや、該制御プログラムを実行するマイクロコンピュータ（CPU）や、該マイクロコンピュータ（CPU）が処理に使用可能なRAM等を有している。

【0092】

また、制御部510は、前述したローカルエリアネットワーク（LAN）に通信部511を通じて接続されており、該ローカルエリアネットワーク（LAN）上の管理コンピュータ150等とのデータ通信が可能とされている。

【0093】

次に、本実施例のシステムコントローラ100について、図13に基づき説明する。まず、本実施例に用いたシステムコントローラ100は、図13に示すように、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス101に、該システムコントローラ100が実施する各種処理を行うCPU102、ワークメモリ等として使用されるRAM103、時刻情報やカレンダー情報を出力するRTC104、ハードディスク等からなる記憶装置105、キーボードやマウス等の入力装置106、各種の画面を表示出力する表示装置107、各種情報をプリント出力するプリンタ108、ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されたカードユニット3（制御ユニット328）や振分け装置5やカード発行・入金機等の各装置とのデータ通信を行う通信部109、カード会社に設置された管理サーバ12とのデータ通信を行うデジタルサービスユニット（DSU）110が接続された通常のコンピュータである。

【0094】

記憶装置105には、システムコントローラ100において実施される各種処理を行うための処理内容が記述された処理プログラムに加えて、会員カードに残存するプリペイド残額を管理するための会員カードテーブル（図14（a）参照）と、ビジターカードに残存するプリペイド残額を管理するためのビジターカードテーブル（図14（b）参照）と

10

20

30

40

50

が記憶されている。

【 0 0 9 5 】

会員カードテーブルには、図 1 4 (a) に示すように、各会員カードを個々に識別可能な会員カード I D に対応付けて、当該会員カードの発行を受けた会員遊技者の会員 I D と、プリペイド残額と、当該会員カードが使用不可であるか否かを示す使用不可フラグとが記憶されており、会員カードに記憶されている会員カード I D 若しくは会員 I D から、プリペイド残額や当該会員カードの使用可否を特定できるようになっている。

【 0 0 9 6 】

また、ビジターカードテーブルには、図 1 4 (b) に示すように、各ビジターカードを個々に識別可能なカード I D に対応付けて、当該ビジターカードの状況 (利用中であるか
10 保管中であるか) と、当該プリペイドカードが発行された最新の日時である最新発行日時と、プリペイド残額と、当該カードが使用不可であるか否かを示す使用不可フラグとが記憶されており、ビジターカードに記憶されているカード I D から、プリペイド残額や当該
20 ビジターカードの使用可否、並びに最新発行日時を特定できるようになっている。

【 0 0 9 7 】

本実施例のシステムコントローラ 1 0 0 (C P U 1 0 2) は、カードユニット 3 における会員カードまたはビジターカードの受付に応じて各カードユニット 3 から送信される、該カードユニット 3 の装置 I D 並びに該受付した会員カードまたはビジターカードから読み出した (会員) カード I D 並びにプリペイド残額を含むカード受付通知の受信に応じて、該会員カードまたはビジターカードの使用の可否を判定してカードユニット 3 に返
20 信するカード受付処理を実施する。

【 0 0 9 8 】

また、本実施例のシステムコントローラ 1 0 0 (C P U 1 0 2) は、カードユニット 3 における貸与処理の実施に伴い送信される後述の貸出完了通知の受信に応じて、該受信した貸出完了通知に含まれる (会員) カード I D に対応して会員カードテーブル若しくはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額から、該貸出完了通知に含まれる
30 税込使用額を減算更新する減算更新処理を行う。

【 0 0 9 9 】

また、本実施例のシステムコントローラ 1 0 0 (C P U 1 0 2) は、カードユニット 3 或いはカード発行・入金機における発行・入金処理の実施に伴い送信される後述のカード
30 入金通知の受信に応じて、該受信したカード入金通知に含まれる (会員) カード I D に対応して会員カードテーブル若しくはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に、該カード入金通知に含まれる入金金額を加算更新する入金更新処理を行う。

【 0 1 0 0 】

また、本実施例のシステムコントローラ 1 0 0 (C P U 1 0 2) は、カードユニット 3 や振分け装置 5 におけるビジターカードの発行に伴って該カードユニット 3 や振分け装置 5 から送信される振分け発行通知の受信に応じて、該受信した振分け発行通知に含まれる
40 カード I D に対応してビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「 0 」を記憶するとともに、状況と最新発行日時のデータを更新する更新処理を行う。

【 0 1 0 1 】

次に、本実施例の管理コンピュータ 1 5 0 について、図 1 5 に基づき説明する。まず、
本実施例に用いた管理コンピュータ 1 5 0 は、図 1 5 に示すように、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス 1 5 1 に、該管理コンピュータ 1 5 0 が実施する各種処理を行う中央演算処理装置 (C P U) 1 5 2、ワークメモリ等として使用される R A M 1
5 3、時刻情報やカレンダー情報を出力するリアルタイムクロック (R T C) 1 5 4、ハードディスク等からなる記憶装置 1 5 5、キーボードやマウス等の入力装置 1 5 6、各種の画面を表示出力する表示装置 1 5 7、各種情報をプリント出力するプリンタ 1 5 8、ローカルエリアネットワーク (L A N) に接続されたカードユニット 3 や振分け装置 5 や景品
50 交換用 P O S 端末 1 7 0 とのデータ通信を行う通信部 1 5 9 が接続された通常のコンピュータである。

【 0 1 0 2 】

記憶装置 155 には、管理コンピュータ 150 において実施される各種処理を行うための処理内容が記述された処理プログラムに加えて、会員カードを所持する会員遊技者が所有する貯蓄玉数である営業当日において当該会員遊技者により獲得された持玉数並びに営業前日以前に当該会員遊技者により獲得された貯玉数を管理するための会員貯蓄管理テーブル（図 16（a）参照）と、ビジターカードに記録されている該ビジターカードを所持する遊技者により営業当日において獲得された持玉数を管理するためのビジター貯蓄管理テーブル（図 16（b）参照）と、遊技場内の各カードユニット 3 におけるその時点の計数済玉数と各カードユニット 3 に受付け中のカードとを管理するためのユニット管理テーブル（図 17 参照）と、遊技場内において振分けがなされた振分け履歴が格納されて管理される振分け履歴テーブル（図 18 参照）と、会員カードを所有する会員遊技者に関する会員情報が格納される会員情報テーブル（図 19（a）参照）と、会員遊技者を特定可能な会員 ID 毎に、当該会員遊技者の遊技情報を含む遊技履歴が格納される会員別遊技履歴テーブル（図 19（b）参照）とが記憶されている。

10

【 0 1 0 3 】

会員貯蓄管理テーブルには、図 16（a）に示すように、各会員カード ID に対応付けて、当該会員カードの発行を受けた会員遊技者を個々に識別可能な会員識別情報である会員 ID と、当該会員遊技者がその営業当日において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である持玉数と、当該会員遊技者がその営業前日以前において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である貯玉数とが記憶されており、会員カードに記憶されている会員カード ID 若しくは会員 ID から、当該会員遊技者が所有する貯蓄玉数である持玉数や貯玉数を特定できるようになっている。

20

【 0 1 0 4 】

なお、会員貯蓄管理テーブルに管理されている持玉数は、その営業当日のみ持玉数として管理されており、営業終了後の締め処理において会員貯蓄管理テーブルに存在する持玉数は、貯玉数に加算更新された後、全てリセットされる。

【 0 1 0 5 】

また、ビジター貯蓄管理テーブルには、図 16（b）に示すように、各ビジターカードを個々に識別可能なカード ID に対応付けて、当該ビジターカードの最新発行日時と、該ビジターカードを所持する遊技者がその営業当日において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である持玉数とが記憶されており、ビジターカードに記憶されているカード ID から、当該遊技者が所有する持玉数を特定できるようになっている。

30

【 0 1 0 6 】

なお、ビジター貯蓄管理テーブルに管理されている持玉数は、その営業当日のみ有効とされており、営業終了後の締め処理においてビジター貯蓄管理テーブルに存在する持玉数が全てリセットされることにより、無効化される。また、ビジターカードに前日以前の持玉数が記録されている場合には、該持玉数は無効として消去される。

【 0 1 0 7 】

ユニット管理テーブルには、図 17 に示すように、遊技場内に設置された各カードユニット 3 に固有に付与された装置 ID に対応付けて、カードユニット 3 のローカル IP アドレスが格納されるローカル IP と、当該カードユニット 3 が設置されている遊技島の島番号が格納される設置島と、当該カードユニット 3 がカードの受付中であるか待機中であるかが格納される状況と、当該カードユニット 3 が対応するパチンコ機 2 の台番号が格納される対応台番号と、受付中の会員カードまたはビジターカードのカード ID が格納される受付 ID と、その時点における各カードユニット 3 の計数済玉数とが記憶されており、これら計数済玉数のデータは、管理コンピュータ 150 からの送信要求の受信に応じて定期的に各カードユニット 3 から送信されるとともに、計数済玉数の変更後の所定時間後（例えば 5 秒後）に、各カードユニット 3 から送信されることで、最新の計数済玉数が管理されるようになっている。

40

50

【 0 1 0 8 】

振分け履歴テーブルには、図 1 8 に示すように、振分けが実施された日付と、振分けが実施されたカードユニット 3 または振分け装置 5 の装置 I D と、振分け元のカードのカード I D と、振分け先のカードのカード I D と、振分け先がビジターカードである場合に該ビジターカードが発行されたものであるかを示す発行と、振分けされた玉数である振分け玉数と、振分け先のカードが使用するためにカードユニット 3 に受付けられているか否かを示す利用受付けとから成る振分け履歴が格納されており、本実施例では、後述する振分け設定画面の集計対象期間として選択可能な最大期間である 1 ヶ月の振分け履歴が記憶されるようになっている。

【 0 1 0 9 】

なお、「発行」に格納されるデータとしては、ビジターカードの発行があった場合において「1」が格納され、ビジターカードの発行がない場合には「0」が格納される。また、「利用受付け」に格納されるデータとしては、受付け済みである場合において「1」が格納され、受付け済みでない場合において「0」が格納される。

【 0 1 1 0 】

このように、本実施例では、これら振分け履歴テーブルにより、所定期間、例えば一日において該遊技場において振分けされたパチンコ玉の総数を、当日の日付が格納されている全ての履歴の振分け数を合計することで特定できるとともに、同様に、振分け元カードに同一のカード I D が記憶され、当日の日付が記憶されている全ての履歴の振分け数を合計することで、該振分け元カードからその当日において振分けされたパチンコ玉の総数を特定でき、更には、振分け先カードに同一のカード I D が記憶され、当日の日付が記憶されている全ての履歴の振分け数を合計することで、該振分け先カードに対してその当日において振分けされたパチンコ玉の総数も特定できるようになっている。

【 0 1 1 1 】

会員情報テーブルには、図 1 9 (a) に示すように、会員カードを所持する会員遊技者の会員 I D に対応付けて、本人確認のための暗証番号と、会員カードの受付けに応じて一日に 1 回所定の来店ポイントが加算更新される来店ポイントと、来店状況等に基づくランクと、会員の氏名（名字並びに名前）、性別、年齢、誕生日、職業、住所、電子メールアドレスからなる会員属性情報（個人情報）とが登録されている。

【 0 1 1 2 】

また、会員別遊技履歴テーブルには、図 1 9 (b) に示すように、会員 I D 毎に、当該会員遊技者の遊技履歴、具体的には、来店日、遊技を行ったパチンコ機 2 の台番号、機種名、遊技開始時間（時刻）、遊技終了時間（時刻）、遊技開始から終了までの間の遊技時間、始動回数、大当回数、確率変動回数（確変回数）、獲得玉数、支出金額、再プレイ玉数、使用持玉数からなる遊技履歴が格納されている。会員別遊技履歴テーブルの来店日には、R T C 1 5 4 から出力されるカレンダー情報に基づく当該遊技履歴の記憶時点の年月日が格納されるとともに、遊技開始時間、遊技終了時間、遊技時間、始動回数、大当回数、確変回数、獲得玉数、支出金額の遊技履歴は、会員カードの返却時にカードユニット 3 から送信される会員遊技履歴データに基づいて記憶される。

【 0 1 1 3 】

ここで、本実施例の管理コンピュータ 1 5 0 にて実施可能な振分け設定について、図 2 0 に基づいて説明すると、本実施例の管理コンピュータ 1 5 0 では、遊技場内のカードユニット 3 や振分け装置 5 にて実施される振分けについての制限に関する各種の設定が、図 2 0 に示す振分け設定画面において可能とされている。

【 0 1 1 4 】

これら制限の内容としては、具体的には、図 2 0 に示すように、遊技場全体における振分け総数の制限や、1 のビジターカードまたは会員カードから振分けされる総数の制限や、1 のビジターカードまたは会員カードに振分けされる総数の制限や、1 の振分け後において該カードがカードユニット 3 に受付けされる以前における再度の振分けの制限とがあり、これら各制限の内容を、遊技場の所望する内容に設定できるようになっている。

【 0 1 1 5 】

本実施例の振分け設定画面には、図 20 に示すように、画面の上部位置に、「集計対象期間」の設定項目が設けられており、該振分け設定画面において制限する内容と比較するデータを集計する期間を指定できるようになっている。

【 0 1 1 6 】

例えば、振分けの総数等の制限を、時間帯、例えば営業開始から 15 時までにおいて実施したい場合であれば、「始業から 15 時」までの内容を選択すれば良く、一日単位にて制限したい場合には、該「集計対象期間」の設定項目において「一日」を選択すれば良く、また、一週間単位にて制限したい場合であれば、「集計対象期間」の設定項目において「一週間」を選択すれば良い。

10

【 0 1 1 7 】

なお、本実施例では、これら集計期間を制限する各項目において全て共通としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの集計期間を、振分け総数、振分け元上限制限、振分け先上限制限のそれぞれについて、個別に設定できるようにしても良い。

【 0 1 1 8 】

振分け総数制限の項目には、図 20 に示すように、該振分け総数制限の実施 / 非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が設けられており、該振分け総数制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。

20

【 0 1 1 9 】

また、振分け元上限制限の項目には、図 20 に示すように、該振分け元上限制限の実施 / 非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が、会員カードとビジターカードのそれぞれに設けられており、該振分け元上限制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、各カードに対応する入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。

【 0 1 2 0 】

また、振分け先上限制限の項目にも、図 20 に示すように、該振分け先上限制限の実施 / 非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が、会員カードとビジターカードのそれぞれに設けられており、該振分け先上限制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、各カードに対応する入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。

30

【 0 1 2 1 】

また、連続振分け制限の項目には、該連続振分け制限の実施 / 非実施を選択するためのチェックボックスが設けられており、1 回の振分けを実施した際の、該振分け先のカードをカードユニット 3 に挿入して受付けを実施する前に、他の振分けの実施を制限する場合、つまり、カードユニット 3 に挿入して受付けを実施する前の複数の振分けを制限する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良く、カードユニット 3 に挿入して受付けを実施する前の複数の振分けを許容する場合には、「しない」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良い。

40

【 0 1 2 2 】

このように、連続振分け制限を実施した場合には、振分けの都度毎に、振分け先のカードをカードユニットに挿入して受付けを実施しないと、再度の振分けが実施できないことで、振分けの頻度を実質的に低下させることができるようになる一方、連続振分け制限を実施しない場合、つまり、連続振分けを許容する場合には、振分け先の遊技者は、複数の振分け元の遊技者から連続して振分けを受けることができるようになり、遊技者の利便性を向上できるようになる。

【 0 1 2 3 】

50

以上のように、各設定項目において所望する設定内容を指定・入力した後に、該振分け設定画面の下方に設けられている「設定」の選択入力部を選択入力することで、該振分け設定画面の設定内容が更新記憶される。なお、該振分け設定画面の下方に設けられている「リセット」の選択入力部を選択入力した場合には、画面の各項目の内容が所定のデフォルト状態に初期化される。

【 0 1 2 4 】

また、本実施例の管理コンピュータ 1 5 0 は、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け処理がなされたカードユニット 3 の装置 I D を含む振分け履歴や、会員情報テーブルに記憶されている来店ポイント等の会員情報等をシステムコントローラ 1 0 0 やホールコンピュータ 1 4 0 に送信する情報提供機能を有しており、遊技場の係員等が、遊技場内のパチンコ機 2 の遊技情報の確認や監視カメラの映像の確認において利用するホールコンピュータ 1 4 0 において、これら振分け履歴の情報や会員情報を確認できるようになっている。

10

【 0 1 2 5 】

これら情報提供機能について、図 2 9 に基づいて、振分け履歴の情報が提供される場合を例に、説明すると、まず、ホールコンピュータ 1 4 0 において振分け履歴を表示させるための所定の操作を実施すると、該ホールコンピュータ 1 4 0 は、既に、管理コンピュータ 1 5 0 から取得して記憶している振分け履歴のうち、最新の振分け履歴の日時情報を特定し、該特定した最新の振分け履歴の日時情報を含む振分け履歴要求を管理コンピュータ 1 5 0 に対して送信する。

20

【 0 1 2 6 】

この振分け履歴要求の受信に応じて管理コンピュータ 1 5 0 は、受信した振分け履歴要求に含まれる日時情報以降の日時情報を含む振分け履歴を未送信履歴として特定し、該特定した未送信履歴を全て振分け履歴テーブルから読み出して、振分け履歴情報としてホールコンピュータ 1 4 0 に返信する。

【 0 1 2 7 】

該振分け履歴情報を受信に応じてホールコンピュータ 1 4 0 は、受信した振分け履歴を、既に記憶している振分け履歴に追加登録するとともに、該追加登録した振分け履歴を含む振分け履歴の一覧であって、各振分け履歴に含まれる当該振分け処理がなされた装置 I D の表示を含む一覧を表示する。

30

【 0 1 2 8 】

このようにすることで、パチンコ機 2 の遊技情報の確認或いは監視カメラの映像の確認において異常の疑いのあるデータや画像を発見した場合等において、これらが異常であるか否かの判断をするために、振分け処理がなされた装置 I D の表示を含む振分け履歴の情報をホールコンピュータ 1 4 0 において迅速に閲覧できることで、これらの判断を、振分け処理がなされたカードユニット 3 を特定しながら、迅速かつ正確に実施することができるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分け履歴の提供機能を管理コンピュータ 1 5 0 が有しないものであっても良い。

【 0 1 2 9 】

以下、本実施例のカードユニット 3 の動作について、図 2 1 ~ 図 3 0 に基づいて説明する。

40

【 0 1 3 0 】

まず、カードユニット 3 の制御ユニット 3 2 8 は、カードユニット 3 への電源投入により起動されることで、S b 1 の起動処理を実施して、各種テーブルの初期化並びに各部の接続状況の確認や、システムコントローラ 1 0 0 やホールコンピュータ 1 4 0、管理コンピュータ 1 5 0 への接続確認要求の送信、並びに該接続確認要求の送信に応じてシステムコントローラ 1 0 0、ホールコンピュータ 1 4 0、管理コンピュータ 1 5 0 から返信される設定情報に基づく各設定データに初期値等の設定等を実施する。

【 0 1 3 1 】

そして、該起動処理の完了後において S b 2 ~ S b 1 0 の処理を巡回実施することで、

50

カード挿入口 3 0 9 への会員カード或いはビジターカードの挿入であるカード受付け、遊技者（会員またはビジター）による貸出ボタンの操作、紙幣挿入口 3 0 2 からの紙幣の投入による現金受付け、遊技者による返却ボタンの操作、再プレイボタン 3 1 9 の操作（表示制御基板 3 2 9 からの再プレイ操作情報の受信）、払出ボタン 3 1 1 の操作、係員が所持するリモコンにおける離席操作（表示制御基板 3 2 9 からの離席操作情報の受信）、遊技者による振分けメニューの選択操作（表示制御基板 3 2 9 からの振分け操作情報の受信）、メニューボタン 3 1 6 の操作（表示制御基板 3 2 9 からのメインメニュー表示操作情報の受信）、を検知する待機状態となる。

【 0 1 3 2 】

なお、制御ユニット 3 2 8 は、S b 1 の起動処理の後、これら図 2 1 に示す通常処理と平行して、計数払出ユニット 3 4 8 から出力される計数センサ信号の入力を監視する図 2 2 に示す計数センサ信号処理や、リモコンから送信される加算留保要求の受信を監視する処理や、対応するパチンコ機 2 やアウト玉計数器 1 6 から出力される、大当り中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号、打込玉信号の入力や変化を監視する図示しない割込監視処理を、これら通常処理を実施する処理タスクとは個別の処理タスクに基づいて実施することで、各対象状態の発生を監視し、計数済玉数への加算更新や、加算留保設定やその解除、遊技情報の更新処理を、逐次実施できるようになっている。

【 0 1 3 3 】

ここで、カードユニット 3 においてパチンコ玉が計数される流れについて説明すると、パチンコ玉の計数を実施する場合には、まず、遊技者は、パチンコ機 2 から払出されて下皿 2 4 に貯留されているパチンコ玉を、該下皿 2 4 に設けられているレバーを操作して投入部 3 4 5 に投入する。

【 0 1 3 4 】

そして、計数したい量のパチンコ玉を投入部 3 4 5 に投入した後に、計数レバー 3 4 1 を操作して計数通路 3 4 3 への侵入口に設けられている開閉シャッタ 3 4 6 を開放させる。これにより、投入部 3 4 5 に一時貯留されているパチンコ玉が、侵入口から計数通路 3 4 3 へ流入し、該計数通路 3 4 3 を通じて計数払出ユニット 3 4 8 内の計数センサ 3 5 4 により検出され、1 球のパチンコ玉が検出される毎に、所定パルスの計数センサ信号が制御ユニット 3 2 8 に対して出力される。

【 0 1 3 5 】

これら計数センサ信号の入力は、制御ユニット 3 2 8 が実施する図 2 2 に示す計数センサ信号処理における S S 1 のステップにて計数センサ信号の入力ありと判定されて S S 2 のステップに進み、計数払出ユニット 3 4 8 に対して計数禁止指示を出力している計数禁止状態であるか否かを判定する。

【 0 1 3 6 】

計数禁止中である場合には、S S 5 のステップに進んで、計数エラーが発生したことを表示部 3 1 2 に表示するとともに、多機能ランプ 3 0 1 の点灯状態にて報知するエラー報知処理に移行する一方、計数禁止中でない場合には、S S 3 のステップに進んで、係員が所持するリモコンによる加算留保設定が有るか否かを判定する。

【 0 1 3 7 】

加算留保設定がない場合には、S S 4 のステップに進んでカードテーブルの持玉数と表示部 3 1 2 の計数済玉数に 1 を加算更新して S S 1 のステップに戻る一方、加算留保設定がある場合には、S S 4 のステップを実施することなく S S 1 のステップに戻る。つまり、投入部 3 4 5 から計数通路 3 4 3 を通じて計数払出ユニット 3 4 8 内に流入したパチンコ玉は、1 個ずつ計数センサ 3 5 4 により検出されて持玉数と計数済玉数に加算される。

【 0 1 3 8 】

なおカードリーダーライタ 3 2 7 にて会員カード又はビジターカードを受付中でない場合（例えば持玉数が零の状態ビジターカードのプリペイド残額が零になって該ビジターカードが取り込まれた後に、計数が行われた場合）には、カード貯留部 3 7 0 に貯留されているビジターカードの 1 枚をカードリーダーライタ 3 2 7 に搬送し、S S 4 では、該ビジタ

10

20

30

40

50

ーカードから読み取ったカードIDに対応付けてビジターカードテーブルで持玉数を記憶する。

【0139】

これら加算においては、加算終了を検知するための加算終了検知タイマ（本実施例では5秒が設定されている）が、加算の都度毎にリセットされ、該加算終了検知タイマがタイマアップした時点、つまり、最後の加算が実施されてから加算終了検知タイマに設定されている所定時間が経過した時点において、該カードユニット3の装置IDと、受付中のカードのカードIDと該加算後の計数済玉数とを含む持玉数更新要求が管理コンピュータ150に送信されることで、これら加算後の持玉数が管理コンピュータ150の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルの持玉数と、ユニット管理テーブルの計数済玉数とが、該持玉数更新要求に含まれる計数済玉数に遅滞なく更新される。

10

【0140】

また、前述した計数払出ユニット348内の玉貯留部355に貯留されている玉数が少なく、玉貯留部355にパチンコ玉を補充する必要がある場合には、係員が携行している図示しないリモコンを操作して加算留保設定を実施した後、補充するパチンコ球を優入口から投入することで、該投入したパチンコ球が持玉数と計数済玉数に加算されることなく、玉貯留部355に貯留されるようになる。

【0141】

次に、上記したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が、ビジターカードまたは会員カードをカード挿入口309に挿入した場合には、該ビジターカード或いは会員カードの挿入に伴う挿入検知情報がカードリーダーライタ327から制御ユニット328に出力されることで、制御ユニット328は、Sb2においてカード受け取り有りと判断してSb20のステップに進み、カード受け取り処理を実施する。

20

【0142】

このSb20における本実施例のカード受け取り処理においては、カード挿入口309に挿入された会員カードまたはビジターカードの取り込み指示をカードリーダーライタ327に出力して、挿入された会員カード或いはビジターカードをカードリーダーライタ327のカードスロット392内に取り込んで、該会員カード或いはビジターカードに記憶されている記憶データ、具体的には、当該会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと会員ID（会員カードのみ）とプリペイド残額データ、持玉数データ（ビジターカードのみ）、振分けフラグ等を読み出す。

30

【0143】

そして制御ユニット328は、受付けた会員カード又はビジターカードから読み出した（会員）カードIDとプリペイド残額データと装置IDとを含む認証要求をシステムコントローラ100に送信し、システムコントローラ100からの認証結果を受信するカード認証処理を実施する。

【0144】

この認証要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、受信した認証要求に含まれる（会員）カードIDが、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに存在するか否かとともに、利用不可フラグに利用不可「1」が記憶されているか否かを判定し、存在するとともに利用不可「1」が記憶されていない、つまり利用不可フラグに「0」が記憶されている場合には、該（会員）カードIDに対応付けて会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに記憶、管理されているプリペイド残額が、該受信した認証要求に含まれるプリペイド残額データ、すなわち、受付けた会員カード或いはビジターカードから読み出したプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額に一致するか否かを判定し、一致することを条件に、認証結果として「認証OK」を返信する一方、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに当該（会員）カードIDが存在しない場合や、利用不可フラグに利用不可「1」が記憶されている場合並びにプリペイド残額が一致しない場合には「認証NG」を返信する。但し、プリペイド残額が一致しない場合であって、認証要求に含まれるプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額の方が少額の場合に

40

50

は、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルにおけるプリペイド残額を、該少額の金額に更新するとともに、「認証OK」を返信して、当該会員カード又はビジターカードの利用を許諾する。

【0145】

システムコントローラ100から返信された認証結果が「認証NG」である場合にカードユニット3は、受付けた会員カード或いはビジターカードの排出指示をカードリーダーライタ327に出力して、挿入された会員カード或いはビジターカードを返却させてカード受付け処理を終了する一方、返信された認証結果が「認証OK」である場合には、受付けたカードから読み出した(会員)カードIDと会員ID(会員のみ)とプリペイド残額とをカードテーブルに格納するとともに、図28に示すように、管理コンピュータ150に

10

【0146】

このカード受付け通知の受信に応じて管理コンピュータ150は、まず、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数が存在するか否かを判定し、存在する場合には、該持玉数を照合する照合処理を行う。

【0147】

具体的には、受信したカード受付け通知に含まれるカードIDに対応してビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数と

20

【0148】

該照合判定において一致しない場合には、受信したカード受付け通知の送信元のカードユニット3に対し、持玉数の照合がNGである旨の照合エラー情報を返信することで、カードユニット3において該ビジターカードが返却される。

【0149】

一方、該照合判定において一致する場合、或いは、受信したカード受付け通知に持玉数が含まれていない場合(会員カードの場合)には、受信したカード受付け通知に含まれる振分けフラグデータが、振分けの有りを示す「1」であるか否かを判定する。

【0150】

30

該判定において振分けフラグデータが「0」である場合、つまり振分けが無い場合には、通常受付け処理に進む一方、該判定において振分けフラグデータが「1」である場合、つまり振分けが有る場合には、振分け履歴テーブルに受信したカード受付け通知に含まれるカードIDを含む振分け履歴であって、利用受付けに「0」が登録されている履歴が存在するか否か、つまり、受信したカード受付け通知に含まれるカードIDと、利用受付けに「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカードIDとが一致するか否かを判定する。

【0151】

振分け履歴が存在する、つまり、受信したカード受付け通知に含まれるカードIDが、利用受付けに「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカードIDと一致する場合には、該一致した振分け履歴の振分け数を、該カード受付け通知に含まれるカードIDに対応する持玉数、つまり、カードIDが会員カードIDであれば、会員貯蓄管理テーブルにおいて該会員カードIDに対応して記憶されている持玉数に該振分け数を加算更新し、カードIDがビジターカードのカードIDであれば、ビジター貯蓄管理テーブルにおいて該カードIDに対応して記憶されている持玉数に該振分け数を加算更新し、該持玉数の利用を可能化するとともに、該特定した振分け履歴の利用受付けのデータを、利用受付け済みを示す「1」に更新した後、通常受付け処理に進む。

40

【0152】

なお、連続振分けが制限されていない場合であって、特定した振分け履歴が複数存在する場合には、特定した各振分け履歴の振分け数が全て加算更新される。

50

【 0 1 5 3 】

また、振分け履歴の特定に際し、振分け履歴が存在しない場合には、すなわち、振分けフラグデータが「 1 」であるカード受付け通知に含まれるカード I D が、利用受付けに「 0 」が登録されている振分け履歴に含まれるカード I D と一致しない場合には、エラー情報を返信することで、カードユニット 3 において受付けたカードが排出されて返却されて、利用が不可とされるとともに、受信したカード受付け通知に含まれる装置 I D のカードユニット 3 が対応するパチンコ機 2 の台番号を含むエラー情報が、管理コンピュータ 1 5 0 の表示装置 1 5 7 に表示されて報知される。

【 0 1 5 4 】

通常受付け処理において管理コンピュータ 1 5 0 は、まず、受信したカード受付け通知に含まれる装置 I D に対応するユニット管理テーブルの「 状況 」のデータを「 受付中 」に更新するとともに、受信したカード受付け通知に含まれる（ 会員 ）カード I D をユニット管理テーブルの「 受付 I D 」の項目に格納する。

10

【 0 1 5 5 】

次いで、受信したカード受付け通知に含まれる（ 会員 ）カード I D に対応する持玉数、貯玉数（ 会員 のみ ）を、会員貯蓄管理テーブルまたはビジター貯蓄管理テーブルにおいて該（ 会員 ）カード I D に対応して記憶されている各データから特定するとともに、該カード I D が会員カード I D である場合には、該会員カード I D に対応して会員情報テーブルに記憶されている暗証番号と来店ポイントを更に特定し、これら特定した持玉数、貯玉数（ 会員 のみ ）、来店ポイント（ 会員 のみ ）、暗証番号（ 会員 のみ ）と、（ 会員 ）カード I D とを含む受付け処理完了通知を、受信したカード受付け通知の送信元のカードユニット 3 に対して返信する。

20

【 0 1 5 6 】

この受付け処理完了通知の受信に応じてカードユニット 3（ 制御ユニット 3 2 8 ）は、受信した受付け処理完了通知に含まれる持玉数、貯玉数（ 会員 のみ ）、来店ポイント（ 会員 のみ ）、暗証番号（ 会員 のみ ）を、カードテーブルに格納するとともに、受付中のカードの振分けフラグを「 0 」に更新した後、カードテーブルに記憶されているプリペイド残額を対応するパチンコ機 2 の残額表示器に表示するとともに、カードテーブルに記憶されている持玉数を計数済玉数として表示部 3 1 2 に表示して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

30

【 0 1 5 7 】

これら残額表示器にプリペイド残額が表示された後、遊技者が貸出ボタンの操作を実施した場合には、該遊技者による貸出ボタンの操作を検知するための貸出ボタンスイッチからの信号が制御ユニット 3 2 8 に出力されることで、制御ユニット 3 2 8 は、 S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態における S b 3 のステップにおいて貸出ボタンの操作有りと判断して S b 2 1 のステップに進み、貸与処理を実施する。

【 0 1 5 8 】

この貸与処理においては、まず、挿入された会員カード或いはビジターカード（ 紙幣挿入により発行されたビジターカードを含む ）から読み出して R A M 3 2 8 b（ カードテーブル ）に記憶しているプリペイド残額が、対応するパチンコ機 2 における払出単位である 2 5 玉に相当する 1 度数 = 1 0 0 円未満であるか否かを判定し、プリペイド残額が 1 度数 = 1 0 0 円未満である場合には該判定において「 Y e s 」と判定されて、該貸与処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る一方、プリペイド残額が 1 度数 = 1 0 0 円以上である場合には、次のステップに進み、プリペイド残額が本実施例において貸与処理の使用度数として設定されている 5 度数 = 5 0 0 円以上であるか否かを判定する。

40

【 0 1 5 9 】

プリペイド残額が使用度数である 5 度数 = 5 0 0 円以上である場合には、使用金額玉貸処理を実施する一方、使用度数である 5 度数 = 5 0 0 円未満である場合には、表示金額玉貸処理を実施する。

【 0 1 6 0 】

50

この使用金額玉貸処理においては、使用度数となる5度数 = 500円に相当するパチンコ玉数の払出指示、具体的には、1度数である25玉の払出を指示する払出信号(BRQ)を5回出力して、5度数 = 500円分に相当する125玉の払出を、対応するパチンコ機2に実施させる。

【0161】

具体的には、パチンコ機2より出力されるPRDYのHIGH/LOWを判定し、PRDYがHIGHである場合には、所定のエラー処理を実施し、貸与処理を終了する。

【0162】

また、前記PRDYがLOWである場合には、BRDYをLOWに切替えた後、BRQをLOWとして、パチンコ機2からのEXSのHIGHの検出待ちの状態となり、該EXSのLOWの検出に基づきBRQをHIGHに切替え、EXSのHIGHの検出待ちの状態となる。

10

【0163】

次いで、パチンコ機2における1度分の払出が完了され、EXSのHIGHを検出すると、制御ユニット328は、残額表示器に表示されているプリペイド残額と、カードテーブルのプリペイド残額データ並びに受付中の会員カード或いはビジターカードに記憶されているプリペイド残額データから該1度分に相当する100円を減算更新し、BRQの回数をカウントし、該カウントしたBRQの回数を使用度数である5度数に相当する5回と比較する。

【0164】

20

この比較において前記カウントしたBRQの回数が5度数に一致しない場合には、再び前述の1度分の払出処理を実施するようになっており、前記した使用度数との比較においてカウントしたBRQの回数が5度数に一致した場合には、BRDYをHIGHとする。

【0165】

そして、システムコントローラ100に対して、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受付中の会員カード或いはビジターカードの(会員)カードIDと、使用度数に相当する使用額(500円)とを含む貸出完了通知を送信して、システムコントローラ100の会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルにて該(会員)カードIDに対応付けて記憶されているプリペイド残額から該使用額を減算更新させる。

【0166】

30

そして、受付中のカードがビジターカードであるか否かを判定し、ビジターカードでない場合には該貸与処理を終了してSb2~Sb10の待機状態に戻る一方、ビジターカードを受付中である場合には、残額表示器に表示されているプリペイド残額(RAM328bのカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に同一)が0であるか否かを判定する。

【0167】

そして、該判定においてプリペイド残額が0でない場合には、該貸与処理を終了してSb2~Sb10の待機状態に戻る一方、プリペイド残額が0である場合には、更に、カードテーブルの持玉数が存在するか否かを判定する。

【0168】

40

持玉数が存在する場合には、Sb2~Sb10の待機状態に戻る一方、持玉数が存在しない場合には、該プリペイド残額が0となったビジターカードの回収指示をカードリーダーライタ327に出力して、カードリーダーライタ327の内方側のカード貯留部370に回収する取込処理を行うとともに、システムコントローラ100と管理コンピュータ150に対し、該回収したビジターカードのカードIDを含む回収通知を送信することで、システムコントローラ100のビジターカードテーブルの「状況」を「保管中」に更新させるとともに、管理コンピュータ150のユニット管理テーブルの当該カードユニット3のデータを更新させた後、カードテーブルをリセットして、Sb2~Sb10の待機状態に戻る。

【0169】

50

一方、表示金額玉貸処理においては、残額表示器に表示されているプリペイド残額（RAM 328bのカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に同一）を1度数に相当する100円で除した度数分の払出指示、例えば、プリペイド残額が400円であれば、1度数である25玉の払出を指示する払出信号（BRQ）を4回出力して、400円分に相当する4度数＝100玉の払出を、上述した使用度数の払出の場合と同様にして対応するパチンコ機2に実施させるとともに、残額表示器に表示されているプリペイド残額と、カードテーブルのプリペイド残額データ並びに受付中の会員カード或いはビジターカードに記憶されているプリペイド残額データをパチンコ玉の玉貸に使用した4度数分に相当する400円が減算更新された金額、つまり「0」に更新する。

【0170】

10

そして、システムコントローラ100に対して、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受付中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと、使用金額である400円とを含む貸出完了通知を送信して、システムコントローラ100にて（会員）カードIDに対応付けて会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額から使用額である400円を減算更新させる。

【0171】

そして、前述した使用度数の場合と同様に、受付中のカードがビジターカードであってプリペイド残額が0であるか否かを判定し（この場合においては、必ず0であると判定される）、ビジターカードであってプリペイド残額が0である場合には、更に、持玉数が存在しないことを条件にビジターカードを回収した後、該貸与処理を終了してSb2～Sb10の待機状態に戻る。

20

【0172】

また、前述したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が紙幣挿入口302から現金（紙幣）を投入した場合には、該現金（紙幣）の投入に伴う貨幣識別情報が紙幣識別ユニット321から制御ユニット328に出力されることで、制御ユニット328は、Sb4のステップにおいて現金の受け取り有りと判断してSb22のステップに進み、発行・入金処理を実施する。

【0173】

この発行・入金処理においては、まず、入力された貨幣識別情報から投入された貨幣の投入金額を特定するとともに、カードリーダー327に受付中の会員カード或いはビジターカードが存在するか否かを判定する。

30

【0174】

そして、受付中の会員カード或いはビジターカードが存在しないとの判定の場合に制御ユニット328は、カード貯留部370に収納されているビジターカードをカードスロット392上の所定の読み取り位置に移動させて、当該ビジターカードのカードIDを読み出し、該読み出したカードIDと、投入金額と、当該カードユニット3の装置IDとを含む発行要求をシステムコントローラ100に送信する。

【0175】

この発行要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、受信した発行要求に含まれるカードIDが、ビジターカードテーブルに存在するか否かを判定し、存在する場合には、該カードIDに対応するビジターカードテーブルの「状況」を「利用中」に更新し、RTC104から出力されるその時点の日時を最新発行日時に格納するとともに、受信した投入金額を「残存金額」にプリペイド残額として格納して、「発行許諾」を該発行要求の送信元のカードユニット3に対して返信する。なお、受信したカードIDが、ビジターカードテーブルに存在しない場合には、「発行不可」が返信される。

40

【0176】

また、「発行許諾」の送信に伴いシステムコントローラ100は、管理コンピュータ150に対して、格納した最新発行日時と受信した発行要求に含まれるカードIDと装置IDとを含む発行通知を管理コンピュータ150に通知することで、管理コンピュータ150は、受信した発行通知に含まれるカードIDに対応するビジター貯蓄管理テーブルの最

50

新発行日時に、該受信した発行通知に含まれる最新発行日時を格納するとともに、受信した発行通知に含まれる装置IDに対応するユニット管理テーブルの「状況」を「受付け中」に更新するとともに、「受付ID」に当該受信したカードIDを格納してユニット管理テーブルを更新する。

【0177】

上記した「発行許諾」の受信に応じてカードユニット3（制御ユニット328）は、カードスロット392に移動させたビジターカードに、投入金額に相当するプリペイド残額を書き込み記憶するとともに、カードテーブルに、該ビジターカードのカードIDと投入金額に相当するプリペイド残額とを記憶、並びに残額表示器に該プリペイド残額を表示した後、該発行・入金処理を終了してSb2～Sb10の待機状態に戻る。

10

【0178】

なお、システムコントローラ100から「発行不可」を受信した場合、並びに、カード貯留部370にビジターカードが収納されていない場合には、紙幣挿入口302から投入された現金（紙幣）を返却するとともに、多機能ランプ301を所定のエラー報知態様にて点灯させるエラー報知処理を、該エラー状態が解消されるまで実施することで、エラーの発生を報知する。

【0179】

一方、現金（紙幣）の投入時においてカードスロット392に受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在する場合には、上記にて特定した投入金額を、受付け中の会員カード或いはビジターカード並びにカードテーブルに記憶されているプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額に加算して、これら各プリペイド残額データを加算後の新たなプリペイド残額を特定可能なプリペイド残額データに更新した後、該入金金額（投入金額に同じ）と当該カードユニット3の装置IDと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDとを含むカード入金通知をシステムコントローラ100に送信して、該システムコントローラ100の会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルにおいて該（会員）カードIDに対応して記憶されているプリペイド残額に該入金金額を加算更新させる。

20

【0180】

そして、残額表示器に表示されているプリペイド残額を、加算更新後の新たな金額に更新表示して、該入金処理を終了してSb2～Sb10の待機状態に戻る。

30

【0181】

また、前述したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が返却ボタンの操作を実施した場合には、遊技者による返却ボタンの操作を検知するための返却ボタンスイッチからの信号が制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb5において返却ボタンの操作有りと判断して、Sb23aの異常判定処理及びSb23bの返却処理を実施する。

【0182】

ここで異常判定処理を実施するのは、以下の趣旨による。従来、パチンコ玉を景品に交換する時の遊技機毎に異なるパチンコ玉の単価と、遊技機の台番号とを対応付けて記憶するテーブルを備えるようにして、遊技終了時に、各遊技機毎に設置され遊技者が獲得したパチンコ玉の数を計数する各台計数機による計数値を記録した記録媒体を発券し、対応する遊技機毎の単価で記録媒体に記録された計数値に基づいた景品交換を可能とするシステムがあった（例えば特開平10-127911号公報）。しかしながら、このシステムにおいては、第1の単価（例えば1円）が設定された遊技機で払い出されたパチンコ玉が、第1の単価よりも高い第2の単価（例えば4円）が設定された遊技機に移動され、当該遊技機の各台計数機で計数された場合に、本来の景品交換の単価よりも高い単価で景品交換されてしまい、遊技場に損害が発生する恐れがあるといった問題があった。そこで、景品交換時の遊技媒体あたりの単価が異なる遊技機間で遊技媒体が移動されることによって遊技場に損害が発生することを防止することを目的として、異常判定処理を実施するようにしたのである。

40

50

【 0 1 8 3 】

この異常判定処理においては、図 2 3 に示すように、まず S 1 0 1 で、R A M 3 2 8 b で記憶している実測獲得玉数 x を読み出し、次に S 1 0 2 で、該読み出した実測獲得玉数 x が所定数（本例では 1 5 0 玉）未満であるか否かを判定する。この S 1 0 2 で実測獲得玉数 x が所定数以上である（N O）と判定された場合には、S 1 0 3 で、R A M 3 2 8 b で記憶している貸玉数 u 、打込玉数 v 、付与玉数 w 、及び返却玉数 t を読み出し、S 1 0 4 で、該読み出した貸玉数 u 、打込玉数 v 、付与玉数 w 、及び返却玉数 t に基づいて、遊技者が獲得したパチンコ玉数の計算値である計算獲得玉数 y を算出する。この計算獲得玉数 y は、貸玉数 u + 付与玉数 w - 打込玉数 v - 返却玉数 t の式で算出される。これによれば、返却された遊技媒体で遊技が行われる場合であっても、計算獲得玉数 y を正確に算出することができる。

10

【 0 1 8 4 】

次に S 1 0 5 で、前記 S 1 0 1 で読み出した実測獲得玉数 x と前記 S 1 0 4 で算出した計算獲得玉数 y との差分値である判定対象玉数 z を算出する。この判定対象玉数 z は、実測獲得玉数 x - 計算獲得玉数 y の式で算出される。次に S 1 0 6 で、該算出した判定対象玉数 z が異常判定値（本例では 1 5 0 玉）以上であるか否かを判定する。この S 1 0 6 で判定対象玉数 z が異常判定値以上である（Y E S）と判定された場合には、S 1 0 7 で、異常処理として、ホールコンピュータ 1 4 0 に対して当該カードユニット 3 の装置 I D を通知する。この通知を受信したホールコンピュータ 1 4 0 は、該通知された装置 I D を、遊技場の店員が装着しているインカムを介して、該店員に伝達する。これによれば、パチンコ玉が異なる遊技機間で移動された場合には、実測獲得玉数 x と計算獲得玉数 y との差分値（判定対象玉数 z ）が異常判定値以上となり、異常処理が行われるので、そのような異常に的確に対応することができる。その結果、景品交換時の遊技媒体あたりの単価が異なる遊技機間でパチンコ玉が移動されることによって遊技場に損害が発生することを防止することが可能となる。

20

【 0 1 8 5 】

次に S 1 0 8 で、店員による確認操作（例えば店員が操作するリモコンから I R 受光ユニット 3 1 5 で確認信号を受信する）を待機する。この S 1 0 8 で確認操作が無ければ（N O）、返却処理に進まないのので、S 1 0 8 の処理は、異常処理として、カードの返却を禁止する処理に相当する。これによれば、パチンコ玉が異なる遊技機間で移動されて、実測獲得玉数 x と計算獲得玉数 y との差分値（判定対象玉数 z ）が異常判定値以上になると、異常処理として、カードの記録情報から持玉数を特定可能とした当該カードの返却が禁止されるので、該持玉数による景品交換を防止することができる。その結果、景品交換時の遊技媒体あたりの単価が異なる遊技機間でパチンコ玉が移動されることによって遊技場に損害が発生することを的確に防止することができる。

30

【 0 1 8 6 】

この S 1 0 8 で確認操作が有ると（Y E S）、S 1 0 9 で、R A M 3 2 8 b で記憶している実測獲得玉数 x 、貸玉数 u 、打込玉数 v 、付与玉数 w 、及び返却玉数 t をクリアして、返却処理に進む。これによれば、返却操作を受け付けて遊技が終了される毎に、次の遊技における実測獲得玉数 x の計数及び計算獲得玉数 y の算出が可能な状態にされるので、実測獲得玉数 x 及び計算獲得玉数 y を正確に算出することができる。

40

【 0 1 8 7 】

なお前記 S 1 0 2 で実測獲得玉数 x が所定数未満である（Y E S）と判定された場合には、前記 S 1 0 6 の判定を実行せずに、前記 S 1 0 9 の処理を行って、返却処理に進む。これによれば、実測獲得玉数 x が所定数未満であるときは、計算獲得玉数 y と実測獲得玉数 x との差分値（即ち判定対象玉数 z ）が異常判定値以上か否かの判定が行われることなく、カード（会員カード又はビジターカード）を返却することができるので、該カードの返却までの時間を短縮することができる。また前記 S 1 0 6 で判定対象玉数 z が異常判定値未満である（N O）と判定された場合にも、前記 S 1 0 9 の処理を行って、返却処理に進む。

50

【 0 1 8 8 】

次に、返却処理においては、図 2 4 に示すように、まず S 2 0 1 で、カードリーダー 3 2 7 にて受付中のカード（会員カード又はビジターカード）が有るか否かを判定する。この S 2 0 1 で受付中のカードが無い（N O）と判定された場合には、S 2 0 2 で、前記 S b 5 で受け付けた返却操作を無効にして、S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。一方、S 2 0 1 で受付中のカードが有る（Y E S）と判定された場合には、S 2 0 3 で、払出ボタン 3 1 1 の操作を無効とするとともに、計数払出ユニット 3 4 8 に対して計数禁止指示を出力して、新たな計数を禁止する。この計数禁止指示が入力された計数払出ユニット 3 4 8 においては、流入路 3 5 0 が流路切替え板 3 5 3 ' によって塞がれることにより、新たなパチンコ玉の計数が禁止されるとともに、該禁止中に流入してきたパチンコ玉は、環流路 3 5 1 と流出路 3 5 2 並びに返却通路 3 4 4 を介して返却口 3 4 2 に返却されるようになる。

10

【 0 1 8 9 】

次に S 2 0 4 で、カードリーダー 3 2 7 にて受付中のカードが会員カードであるか否かを判定する。この S 2 0 4 で受付中のカードが会員カードである（Y E S）と判定された場合には、S 2 1 0 で、ホールコンピュータ 1 4 0 に対して、当該会員カードの会員カード I D と、会員遊技情報テーブルに記憶されている会員遊技情報データとを含む会員カード返却通知を送信するとともに、S 2 1 1 で、管理コンピュータ 1 5 0 に対して、当該カードユニット 3 の装置 I D と、当該会員カードの会員カード I D と、カードテーブルに記憶されている持玉数及び貯玉数と、を含む会員カード返却通知を送信して、S 2 1 2

20

【 0 1 9 0 】

前記会員カード返却通知を受信したホールコンピュータ 1 4 0 は、会員別遊技履歴テーブルにおいて、受信した会員カード返却通知に含まれる会員カード I D に対応付けて、該会員カード返却通知に含まれる会員遊技情報データを記憶して、会員カード返却通知の送信元のカードユニット 3 に対して更新完了通知を送信する。また前記会員カード返却通知を受信した管理コンピュータ 1 5 0 は、会員貯蓄管理テーブルにおいて、受信した会員カード返却通知に含まれる会員カード I D に対応して記憶されている持玉数及び貯玉数を、受信した会員カード返却通知に含まれる持玉数及び貯玉数に更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて、受信した会員カード返却通知に含まれる装置 I D に対応する「状況」を「待機中」に変更し、「受付け I D」に格納されている会員カード I D を削除して、会員カード返却通知の送信元のカードユニット 3 に対して更新完了通知を送信する。

30

【 0 1 9 1 】

ホールコンピュータ 1 4 0 及び管理コンピュータ 1 5 0 から更新完了通知を受信すると（S 2 1 2 で Y E S）、S 2 1 3 で、受付中の会員カードをカード挿入口 3 0 9 から排出して返却し、S 2 1 4 で、カードテーブル及び会員遊技情報テーブルをリセットし、S 2 1 5 で、払出ボタン 3 1 1 の操作無効と計数払出ユニット 3 4 8 における計数禁止とを解除して、S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。即ちカードユニット 3 にて受付中の会員カードは、後述するビジターカードの場合とは異なり、プリペイド残額が零であるか否か、及び持玉数が単位未満端数であるか否かに拘わらず、常に返却される。

40

【 0 1 9 2 】

前記 S 2 0 4 で受付中のカードがビジターカードである（N O）と判定された場合には、S 2 2 0 で、カードテーブルで記憶しているプリペイド残額（即ち該ビジターカードに記録されているプリペイド残額）が零であるか否かを判定する。この S 2 2 0 でプリペイド残額が零でない（N O）と判定された場合には、S 2 2 1 で、カードテーブルで記憶している持玉数が単位未満端数（本例では 2 4 玉以下）であるか否かを判定する。この S 2 2 1 で持玉数が単位未満端数でない（N O）、即ち持玉数が払出単位以上であると判定された場合には、S 2 2 2 で、該持玉数をビジターカードに記録して、S 2 1 6 に進む。一方、S 2 2 1 で持玉数が単位未満端数である（Y E S）と判定された場合には、S 2 2 3

50

で、該単位未満端数のパチンコ玉を玉貯留部 355 に貯留されているパチンコ玉から払い出して遊技者に返却するための単位未満払出処理を行い、持玉数（ここでは零）をビジターカードに記録して、S216 に進む。この玉貯留部 355 に貯留されているパチンコ玉の払出の詳細については、図 25 の Sh5 で詳述する。なお S221 で持玉数が零であると判定された場合には、S223 の処理を行わずに、S216 に進む。

【0193】

次に S216 で、管理コンピュータ 150 に対して、当該カードユニット 3 の装置 ID と、当該ビジターカードのカード ID と、カードテーブルに記憶されている持玉数とを含むビジターカード返却通知を送信して、S217 で、管理コンピュータ 150 から送信されてくる更新完了通知の受信を待機する。

10

【0194】

前記ビジターカード返却通知を受信した管理コンピュータ 150 は、ビジター貯蓄管理テーブルにおいて、受信したビジターカード返却通知に含まれるカード ID に対応して記憶されている持玉数を、受信したビジターカード返却通知に含まれる持玉数に更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて、受信したビジターカード返却通知に含まれる装置 ID に対応する「状況」を「待機中」に変更し、「受付け ID」に格納されているカード ID を削除して、ビジターカード返却通知の送信元のカードユニット 3 に対して更新完了通知を送信する。

【0195】

管理コンピュータ 150 から更新完了通知を受信すると（S217 で YES）、S218 で、受付中のビジターカードをカード挿入口 309 から排出して返却し、S219 で、カードテーブルをリセットして、前記 S215 に進む。即ちカードユニット 3 にて受付中のビジターカードは、プリペイド残額が零でない場合には、常に返却される。

20

【0196】

前記 S220 でプリペイド残額が零である（YES）と判定された場合には、S231 で、前記 S221 と同様に、カードテーブルで記憶している持玉数が単位未満端数（本例では 24 玉以下）であるか否かを判定する。この S231 で持玉数が単位未満端数でない（NO）、即ち持玉数が払出単位以上であると判定された場合には、S232 で、前記 S222 と同様に、該持玉数をビジターカードに記録して、前記 S216 に進む。即ちカードユニット 3 にて受付中のビジターカードは、プリペイド残額が零である場合には、持玉数が零でないことを条件として、返却される。

30

【0197】

一方、S231 で持玉数が単位未満端数である（YES）と判定された場合には、S233 で、前記 S223 と同様に、該単位未満端数のパチンコ玉を玉貯留部 355 に貯留されているパチンコ玉から払い出して遊技者に返却するための単位未満払出処理を行って、S240 に進む。なお S231 で持玉数が零であると判定された場合には、S233 の処理を行わずに、S240 に進む。

【0198】

S240 では、システムコントローラ 100 に対して、当該ビジターカードのカード ID を含む取込通知を送信し、S241 で、管理コンピュータ 150 に対して、当該カードユニット 3 の装置 ID と、当該ビジターカードのカード ID とを含む取込通知を送信して、S242 で、システムコントローラ 100 及び管理コンピュータ 150 から送信されてくる更新完了通知の受信を待機する。

40

【0199】

前記取込通知を受信したシステムコントローラ 100 は、ビジターカードテーブルにおいて、受信した取込通知に含まれるカード ID に対応する「状況」を「保管中」に変更して、取込通知の送信元のカードユニット 3 に対して更新完了通知を送信する。また前記取込通知を受信した管理コンピュータ 150 は、ビジター貯蓄管理テーブルにおいて、受信した取込通知に含まれるカード ID に対応して記憶されている持玉数を零に更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて、受信した取込通知に含まれる装置 ID に対応する

50

「状況」を「待機中」に変更し、「受付けID」に格納されているカードIDを削除して、取込通知の送信元のカードユニット3に対して更新完了通知を送信する。

【0200】

システムコントローラ100及び管理コンピュータ150から更新完了通知を受信すると(S242でYES)、S243で、受付中のビジターカードを取り込んでカード貯留部370に貯留する取込処理を行って、前記S219に進む。即ちカードユニット3にて受付中のビジターカードは、プリペイド残額が零であり、かつ持玉数が単位未満端数である場合には、返却されずに取り込まれる。これによれば、少ない持玉数が記録されたビジターカードが返却されて捨てられることによる遊技場の損失を防止できる。

【0201】

図21に戻り、前述したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が再プレイボタン319の操作を実施した場合には、該再プレイボタン319の操作を検知した表示制御基板329から再プレイ操作情報が制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb6において再プレイボタン319の操作有りと判断してSb24に進み、再プレイ処理を実施する。

【0202】

この再プレイ処理においては、まず、持玉数が「0」であるか否かを判定し、持玉数が「0」でない場合には、該操作を無効とするとともに、「持玉数がありますので、払出ボタンを操作して下さい。」のメッセージを表示部312に表示した後、Sb2～Sb10の待機状態に戻る一方、持玉数が「0」である場合には、更に、RAM328b内に記憶されている暗証番号の照合済みの有無を示す照合済みフラグが、照合済みを示す「1」であるか否かを判定し、「1」でない場合(照合済みでない場合)には、暗証番号の受付け処理を実施する。

【0203】

このように、本実施例では、当日において会員遊技者が獲得した持玉数は、貯玉数と異なり、手数料を必要とせずに払出しが実施されることから、これら手数料がかからない持玉数が存在する場合において再プレイ操作を無効とすることで、手数料がかからない持玉数が存在するにもかかわらず、手数料のかかる貯玉数が使用されてしまうことによる会員遊技者の不利益の発生を解消することができるようになっている。

【0204】

本実施例の暗証番号の受付け処理においては、まず、テンキーを含む暗証番号の受付け画面並びに暗証番号の入力を促すアナウンス表示を表示部312に表示して、暗証番号の受付けを行う。

【0205】

そして、受付けた暗証番号とカードテーブルに格納している暗証番号とを比較し、双方が一致した場合において、RAM328b内の所定領域の照合済みフラグを、照合済みを示す「1」に更新するとともに、カードテーブルに格納している貯玉数が所定の再プレイ単位玉数(135玉)以上であることを条件に、再プレイ玉貸処理を実施する。

【0206】

一方、照合済みを示す「1」である場合には、さらに、LED320aが点灯状態であるか否か、つまり、貯玉数が所定の再プレイ単位玉数以上であるか否かを判定し、LED320aが点灯状態である場合には、カードテーブルに記憶されている貯玉数から、再プレイ単位数である135玉を減算更新し、再プレイ表示部320(LED320a)を消灯した後、再プレイ玉貸処理を実施する。この本実施例の再プレイ玉貸処理においては、再プレイ単位数(135玉)に対応するパチンコ玉数、具体的には、再プレイ単位数(135玉)から手数料10玉を除いた125玉のパチンコ玉の払出しを、上述した貸与処理の場合と同様に、対応するパチンコ機2における払出単位である25玉の払出を指示する信号を5回出力することでパチンコ機2に実施させる。

【0207】

なお、再プレイ単位玉数の減算更新後の貯玉数が、再プレイ単位玉数以上である場合に

10

20

30

40

50

は、再プレイ玉貸処理の終了後において、再度、再プレイ表示部 3 2 0 (L E D 3 2 0 a) が点灯状態とされる。

【 0 2 0 8 】

そして、管理コンピュータ 1 5 0 に対して、カードテーブルに記憶されている会員カード I D 並びに会員 I D と、貯玉数から減算した再プレイ単位数 (1 3 5 玉) とを含む再プレイ完了通知を送信した後、該再プレイ処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

【 0 2 0 9 】

なお、再プレイ完了通知を受信した管理コンピュータ 1 5 0 は、会員貯蓄管理テーブルにおいて、該再プレイ完了通知に含まれる会員カード I D 並びに会員 I D に対応付けて記憶されている貯玉数から再プレイ単位数 (1 3 5 玉) を減算更新する。

10

【 0 2 1 0 】

また、前述した S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態において、払出ボタン 3 1 1 を操作した場合には、払出ボタンスイッチ 3 1 1 ' からの操作信号が制御ユニット 3 2 8 に入力されることで、制御ユニット 3 2 8 は、S b 7 において払出ボタン 3 1 1 の操作有りと判断して S b 2 5 に進み、図 2 5 に示す払出処理を実施する。なお、払出操作が無効とされている場合には、S b 2 5 に進むことなく、S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態を継続する。

【 0 2 1 1 】

本実施例の払出処理においては、まず、図 2 5 に示すように、計数済玉数、つまり、カードテーブルの持玉数が存在するか否かを判定する (S h 1) 。

20

【 0 2 1 2 】

この S h 1 のステップにおける判定において、計数済玉数 (持玉数) が存在しない場合には、S h 6 のステップに進んで、表示部 3 1 2 に、例えば、「計数済玉数がありません。」のエラーメッセージを表示して、計数済玉数 (持玉数) が存在しないことを遊技者に報知した後、該払出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

【 0 2 1 3 】

一方、計数済玉数 (持玉数) が存在する場合には S h 2 のステップに進み、計数済玉数が予め設定されている所定の払出設定数である 5 度数に相当する 1 2 5 玉以上であるかを判定する。

【 0 2 1 4 】

30

該判定において 1 2 5 玉以上である場合には、S h 8 に進み、払出設定数払出処理を実施する。

【 0 2 1 5 】

具体的に、該払出設定数払出処理においては、前述した使用度数貸与処理の場合と同じく、パチンコ機 2 より出力される P R D Y の H I G H / L O W を判定し、P R D Y が L O W であることを条件に、B R D Y を L O W に切替えた後、B R Q を L O W として、パチンコ機 2 からの E X S の H I G H の検出待ちの状態となり、該 E X S の L O W の検出に基づき B R Q を H I G H に切替えることにより、1 払出単位である 1 度数に相当する 2 5 玉のパチンコ玉の払出しを実施させ、E X S の H I G H の検出待ちの状態となる。

【 0 2 1 6 】

40

次いで、パチンコ機 2 における 1 払出単位の払出が完了され、E X S の H I G H を検出すると、制御ユニット 3 2 8 は、B R Q の回数をカウントし、該カウントした B R Q の回数を払出設定数である 5 度数に相当する 5 回と比較する。

【 0 2 1 7 】

この比較において前記カウントした B R Q の回数が 5 度数に一致しない場合には、再び前述の 1 度分の払出処理を実施するようになっており、前記した比較においてカウントした B R Q の回数が払出設定数である 5 度数に一致した場合には、B R D Y を H I G H とする。

【 0 2 1 8 】

そして、制御ユニット 3 2 8 は、表示部 3 1 2 の計数済玉数とカードテーブルの持玉数

50

(受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数)とから125玉の玉数を減算更新するとともに、管理コンピュータ150に対して、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの(会員)カードIDと、払出した玉数(125玉)とを含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ150の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルにて該(会員)カードIDに対応付けて記憶されている持玉数から払出した玉数(125玉)を減算更新させた後、Sh20のカード回収判定処理に進む。

【0219】

このカード回収判定処理においては、受付け中のカードが、減算更新後の計数済玉数(持玉数)が「0」であるビジターカードであるか否かを判定し、計数済玉数(持玉数)が「0」であるビジターカードである場合には、さらに、プリペイド残額も「0」であることを条件に、前述の貸与処理におけるプリペイド残額が「0」である場合と同じく、当該ビジターカードを回収した後、該払出処理を終了してSb2~Sb10の待機状態に戻る。

10

【0220】

一方、Sh2のステップにおける判定結果が、払出設定数以上でないとの判定結果である場合には、Sh3のステップに進んで、計数済玉数が対応するパチンコ機2における払出単位数である25玉以上であるか否かを判定する。

【0221】

該判定において25玉以上でないと判定された場合、例えば、計数済玉数が20玉である場合には、Sh4のステップに進んで、計数払出ユニット348から出力される前述の貯留玉数出力から特定される玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉の玉数(残数)が、該計数済玉数である20玉以上であるか否か、つまり、計数済玉数である20玉の払出しが可能であるか否かを判定する。

20

【0222】

該判定において、玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉の玉数(残数)が、該計数済玉数である20玉以上でないと判定した場合、つまり、20玉のパチンコ玉の払出しが不能である場合には、Sh7のステップに進んで、表示部312に、「玉不足のため払出しができません。係員を呼んで下さい。」のメッセージを表示するとともに、多機能ランプ301の点灯状態を、貯玉残数エラーが発生したことを報知する所定の点灯態様にて点灯させる貯玉残数エラー報知処理を実施する。

30

【0223】

この報知により玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉の玉数(残数)が少ないことを把握した係員は、前述したように、リモコンを用いて、加算留保設定を実施して玉貯留部355にパチンコ玉を補充することで、玉貯留部355からのパチンコ玉の払出しが可能とされる。

【0224】

一方、Sh4のステップにおける判定において、玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉の玉数(残数)が、該計数済玉数である20玉以上であると判定した場合にはSh5のステップに進んで、該計数済玉数である20玉の払出指示を計数払出ユニット348に対して出力する。

40

【0225】

この払出指示の入力に応じて計数払出ユニット348は、流路切替え用ソレノイド353によって流路切替え板353'を、流入路350を塞ぐ位置に回動させて新たなパチンコ玉の計数を禁止するとともに、シャッタ357を、払出センサ356が20玉のパチンコ玉の通過を検出するまで開状態として、20玉のパチンコ玉を計数して流出路352に払出す。なお、シャッタ357は、詳細には、払出センサ356にて16玉の通過を検出した段階において一度閉じられ、17玉、18玉、19玉、20玉と、1玉ずつシャッタ357を開くことで20玉のパチンコ玉が玉貯留部355から払出される。

【0226】

50

これら払出されたパチンコ玉は、流出路 3 5 2 並びに返却通路 3 4 4 を通じて返却口 3 4 2 に流下するので、該返却口 3 4 2 の開閉シャッタ 3 4 2 ' を遊技者が開放することで、これら払出された 2 0 玉のパチンコ玉を取り出すことができる。

【 0 2 2 7 】

そして、払出指示に基づく 2 0 玉のパチンコ玉の払出しが完了した段階において計数払出ユニット 3 4 8 は、制御ユニット 3 2 8 に対して完了通知を出力する。

【 0 2 2 8 】

この完了通知の入力に応じて制御ユニット 3 2 8 は、表示部 3 1 2 の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）とから、払出した玉数を減算更新する。これにより、計数済玉数および持玉数は「 0 」となる。

【 0 2 2 9 】

そして、管理コンピュータ 1 5 0 に対して、当該カードユニット 3 に固有に付与された装置 I D と、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カード I D と、返却した玉数（ 2 0 玉）とを含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ 1 5 0 の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルにて該（会員）カード I D に対応付けて記憶されている持玉数から返却した玉数（ 2 0 玉）を減算更新させて「 0 」とした後、上述した S h 2 0 のカード回収判定処理を実施した後、該払出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

【 0 2 3 0 】

つまり、計数済玉数（持玉数）が払出単位である 1 度数に対応する 2 5 玉未満の端数である場合には、遊技者が払出ボタン 3 1 1 を操作することにより、該端数のパチンコ玉が計数払出ユニット 3 4 8 内の玉貯留部 3 5 5 に貯留されているパチンコ玉から払出されることで遊技者に返却されるようになっている。

【 0 2 3 1 】

一方、S h 3 における判定において、計数済玉数（持玉数）が 2 5 玉以上であると判定された場合には、S h 9 のステップに進んで、該計数済玉数の範囲において払出が可能な最大払出単位と払出単位未満の端数とを特定した後、S h 1 0 のステップに進むことで、該特定した最大払出単位の玉数を対応するパチンコ機 2 から払出させるとともに、上述した S h 4 と S h 5 のステップを実施することで、特定した端数のパチンコ玉が計数払出ユニット 3 4 8 から払出される。

【 0 2 3 2 】

具体的に、例えば、持玉数（計数済玉数）が 1 1 0 玉である場合であれば、S h 9 のステップにおいては、持玉数である 1 1 0 玉を払出単位である 2 5 玉で除した値の整数値である 4 を最大払出単位に相当する払出度数として特定するとともに、該払出単位である 2 5 玉で除した値の余りとなる払出単位未満の 1 0 玉を端数として特定する。

【 0 2 3 3 】

そして、S h 1 0 において、パチンコ機 2 より出力される P R D Y の H I G H / L O W を判定し、P R D Y が L O W であることを条件に、B R D Y を L O W に切替えた後、B R Q を L O W として、パチンコ機 2 からの E X S の H I G H の検出待ち状態となり、該 E X S の L O W の検出に基づき B R Q を H I G H に切替えることにより、1 払出単位である 1 度数に相当する 2 5 玉のパチンコ玉の払出しを実施させ、E X S の H I G H の検出待ち状態となる。

【 0 2 3 4 】

次いで、パチンコ機 2 における 1 払出単位の払出しが完了され、E X S の H I G H を検出すると、制御ユニット 3 2 8 は、B R Q の回数をカウントし、該カウントした B R Q の回数を、S h 8 のステップにて特定した払出度数である 4 度数に相当する 4 回と比較する。

【 0 2 3 5 】

この比較において前記カウントした B R Q の回数が 4 度数に一致しない場合には、再び前述の 1 度分の払出処理を実施する一方、前記した比較においてカウントした B R Q の回

10

20

30

40

50

数が払出設定数である4度数に一致した場合には、B R D YをH I G Hとする。

【0236】

そして、制御ユニット328は、表示部312の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）とから、払出した4度数に相当する100玉を減算更新するとともに、管理コンピュータ150に対して、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと、払出した玉数（100玉）とを含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ150の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルにて該（会員）カードIDに対応付けて記憶されている持玉数から払出した玉数（100玉）を減算更新させた後、Sh4とSh5のステップを実施することで、残りの端数である10玉のパチンコ玉が計数払出ユニット348から払出されるとともに、これら払出された端数の玉数が減算更新されて、表示部312の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）が全て「0」とされるとともに、管理コンピュータ150における当該受付け中のカードの持玉数も「0」とされる。

10

【0237】

つまり、計数済玉数（持玉数）が、払出単位である1度数に相当する25玉以上であって、払出設定数に対応する125玉未満であり、端数が存在する場合には、これら端数の払出するために、個別に払出ボタン311を操作することなく、該端数のパチンコ玉が計数払出ユニット348内の玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉から払出されることが遊技者に返却されるようになっている。

20

【0238】

また、遊技者が所用で離席したい場合には、係員を呼んで、該係員が所持するリモコンにおいて離席操作を実施してもらい、離席モードに移行させることが必要となる。

【0239】

このリモコンにおいて離席操作があった場合には、該リモコンから離席操作に応じた所定の赤外線信号が出力されることで、該赤外線信号がIR受光ユニット315にて離席操作を特定可能な所定の電気信号に変換されて表示制御基板329に出力されることで、表示制御基板329から制御ユニット328に対し、離席操作があった旨の離席操作情報が出力される。

30

【0240】

この離席操作情報の出力は、前述したSb2～Sb10の待機状態におけるSb8において検知されることで離席操作有りと判断され、Sb26に進んで離席処理を実施する。

【0241】

この離席処理において制御ユニット328は、まず、全ての操作を無効とするとともに、計数払出ユニット348に対して計数禁止指示を出力して、新たなパチンコ玉の計数を禁止する。

【0242】

そして制御ユニット328は、カードリーダーライタ327に受付け中の（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）と持玉数とを、長い電源遮断等によりRAM328bのカードデータが消失しても、これらの（会員）カードID並びに会員IDの記憶が残るように、EEPROM328cの所定記憶領域に記憶した後、排出指示をカードリーダーライタ327に出力して受付け中の会員カード或いはビジターカードをカード挿入口309から排出させ、表示部312に「離席中」の表示と経過時間（所定の離席時間の残り時間）の表示を開始するとともに、カード挿入可能化指示をカードリーダーライタ327に出力することにより、該排出に伴って、シャッタ用ソレノイド399によりカード挿入口309のシャッタが没状態とされることで、カード挿入口309からのカード挿入のみを許可する離席モードに移行する。

40

【0243】

なお、本実施例では、前述したように、制御ユニット328のRAM328bは、電池

50

によりバックアップされているため、(会員)カードID並びに会員ID(会員のみ)を離席モードの解消対象とするカードの情報として、RAM 328b内の所定領域に改めて記憶しても良いし、或いは、本実施例のように、会員カード或いはビジターカードの受付け時においてカードテーブルに(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)が既に記憶されている場合には、これら新たな(会員)カードID並びに会員IDの記憶の実施を省略して、該カードテーブルに既に記憶されている(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)を利用するようにしても良い。

【0244】

遊技者は、カード挿入口309から排出された会員カード或いはビジターカードを持参して離席すれば良い。

【0245】

なお、上述した離席モードへの移行に際して制御ユニット328は、装置IDと排出したカードの(会員)カードIDとを含む離席通知をシステムコントローラ100並びに管理コンピュータ150に送信することで、これら(会員)カードIDが離席カードとして登録されることにより、これら排出したカードが他のカードユニット3や振分け装置5や景品交換用POS端末170において受け付けられても、該カードに使用が不可とされて返却されるようになっている。

【0246】

そして、遊技者が所用を終えて遊技を再開する場合には、離席時に排出された会員カードまたはビジターカードをカード挿入口309に挿入すれば良く、該会員カードまたはビジターカードの挿入があった場合に制御ユニット328は、挿入された会員カードまたはビジターカードから(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)を読み出して、EEPROM 328cの所定記憶領域に記憶した(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)と一致するか否かを判定する。

【0247】

(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)が一致しない場合には、挿入された該会員カードまたはビジターカードを排出して離席モードを継続する一方、(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)が一致した場合には、EEPROM 328cの所定記憶領域に記憶した(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)を消去するとともに、該離席モードの移行において実施した操作の禁止と計数禁止とを解除することで、離席モードから通常モードに移行して、Sb2～Sb10の待機状態に戻る。

【0248】

なお、離席した遊技者が所定の離席時間を経経しても戻らない場合等においては、離席モードを強制的に解除することができるようになっており、このように、離席モードの強制解除を行う場合において係員は、所持しているリモコンに設けられている強制解除ボタンを操作すれば良く、該強制解除ボタンの操作により、該リモコンから強制解除ボタンの操作(強制解除操作)に応じた所定の赤外線信号が出力されることで、該赤外線信号がIR受光ユニット315にて該強制解除操作を特定可能な所定の電気信号に変換されて表示制御基板329に出力されることで、表示制御基板329から制御ユニット328に対し、強制解除操作があった旨の強制解除操作情報が出力される。

【0249】

これら離席モード中において該強制解除操作情報の入力があった場合において制御ユニット328は、EEPROM 328cの所定記憶領域に記憶した(会員)カードID並びに会員ID(会員カードのみ)と持玉数のデータを、強制解除履歴データとしてEEPROM 328cの他の所定領域に記憶した後、該データを消去するとともに、カードテーブルをリセットする。

【0250】

そして、離席モードの移行において実施した操作の禁止と計数禁止を解除することで、離席モードから通常モードに移行して、Sb2～Sb10の待機状態に戻り、新たな会員カード或いはビジターカード並びに紙幣の受け付けが可能とされる。

10

20

30

40

50

【 0 2 5 1 】

また、強制解除履歴データは、システムコントローラ 1 0 0 並びに管理コンピュータ 1 5 0 からの送信要求に応じて、或いは営業終了時の締め処理においてシステムコントローラ 1 0 0 並びに管理コンピュータ 1 5 0 の双方に送信され、該システムコントローラ 1 0 0 並びに管理コンピュータ 1 5 0 にて記憶・管理されることで、離席者によるクレームがあった場合でも、これらシステムコントローラ 1 0 0 或いは管理コンピュータ 1 5 0 に記憶・管理されている強制解除履歴データにより、システムコントローラ 1 0 0 或いは管理コンピュータ 1 5 0 のいずれかに障害が発生しても、当該離席者が所有する持玉数を確実に保証することができるようになっている。

【 0 2 5 2 】

また、前述した S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態において、遊技者が表示部 3 1 2 に表示されている図 5 に示すメインメニュー中の「振分け」メニューを選択入力した場合には、該「振分け」メニューの選択入力を検知した表示制御基板 3 2 9 から振分け操作情報が制御ユニット 3 2 8 に入力されることで、制御ユニット 3 2 8 は、S b 9 において振分け操作有りと判断して、S b 2 7 a の異常判定処理及び S b 2 7 b の振分け処理を実施する。

【 0 2 5 3 】

ここで異常判定処理は、前記図 2 3 で説明したのと略同様の処理であるが、振分け操作有りの場合において、前記 S 1 0 8 で確認操作が無ければ (N O)、振分け処理に進まないのので、S 1 0 8 の処理は、異常処理として、振分けを禁止する処理に相当する。これによれば、パチンコ玉が異なる遊技機間で移動されて、実測獲得玉数 x と計算獲得玉数 y との差分値 (判定対象玉数 z) が異常判定値以上になると、異常処理として、持玉数の振分けが禁止されるので、該持玉数による景品交換を防止することができる。その結果、景品交換時の遊技媒体あたりの単価が異なる遊技機間でパチンコ玉が移動されることによって遊技場に損害が発生することを的確に防止することができる。また振分け操作有りの場合には、前記 S 1 0 9 の処理は行わない。該 S 1 0 9 の処理を行うと、次の振分け操作があった場合に、異常判定処理を行うことができなくなってしまうからである。なお振分け処理が行われると、持玉数から振分けされた振分け玉数が、R A M 3 2 8 b で記憶している返却玉数 t に加算更新されることにより、次の振分け操作があった場合に、正確な異常判定処理を行うことができる。

【 0 2 5 4 】

振分け処理において、制御ユニット 3 2 8 は、図 2 6 に示すように、まず計数済玉数 (持玉数) が変化しないように、払出ボタン 3 1 1 の操作を無効とするとともに、計数払出ユニット 3 4 8 に対して計数禁止指示を出力して新たなパチンコ玉の計数を禁止する (S f 0)。

【 0 2 5 5 】

そして、計数済玉数、つまり、カードテーブルの持玉数が 0 で有るか否か、つまり、持玉数が存在するか否かを判定する (S f 1)。

【 0 2 5 6 】

計数済玉数 (持玉数) が 0 である場合には、S f 2 1 のステップに進み、受付け中のカードが会員カードであるか否かを判定する。

【 0 2 5 7 】

そして、会員カードでない場合には、該振分け処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る一方、会員カードである場合には、S f 2 2 のステップに進んで、カードテーブルに記憶されている貯玉数の表示部と、該貯玉数から持玉数に加算する玉数の入力を受付ける加算貯玉数入力部と、暗証番号とを受付けるための暗証番号受付け部と、加算貯玉数入力部に加算貯玉数を入力するためのテンキー部とを有する図示しない貯玉利用画面を表示部 3 1 2 に表示して、持玉数への加算に使用する貯玉数を会員遊技者から受付ける。なお、該貯玉利用画面には、「決定」と「キャンセル」の選択入力部が設けられており、振分けを実施するために貯玉数から持玉数への加算を実施しない遊技者は、該「キャンセル」の選択入力部を選択入力することで、該振分け処理が終了される。

【 0 2 5 8 】

また、貯玉数から持玉数への加算を実施したい場合において会員遊技者は、貯玉利用画面の下方に設けられているテンキーを操作して、持玉数への加算に使用する貯玉数を加算貯玉数入力部に入力した後、「決定」の選択入力部を選択入力する。

【 0 2 5 9 】

この「決定」の選択入力に応じて制御ユニット 3 2 8 は、S f 2 3 のステップに進み、持玉数加算処理を実施した後、S f 2 のステップに戻る。

【 0 2 6 0 】

この持玉数加算処理において制御ユニット 3 2 8 は、まず、加算貯玉数入力部に入力された玉数が、カードテーブルに記憶されている貯玉数の範囲内であるか否かを判定し、範囲内でない場合には、エラーを表示部 3 1 2 に表示して、持玉数加算処理を中止し、S f 2 のステップに戻る一方、加算貯玉数入力部に入力された玉数が、カードテーブルに記憶されている貯玉数の範囲内である場合には、受付けた暗証番号がカードテーブルに記憶されている暗証番号と一致するか否かを判定する。

【 0 2 6 1 】

そして、暗証番号が一致する場合において、当該カードユニット 3 の装置 I D と受付け中の会員カード I D と加算貯玉数入力部に入力された玉数である持玉加算貯玉数とを含む持玉数加算要求を管理コンピュータ 1 5 0 に対して送信する。

【 0 2 6 2 】

この持玉数加算要求の受信に応じて管理コンピュータ 1 5 0 は、受信した持玉数加算要求に含まれる持玉加算貯玉数が、該受信した持玉数加算要求に含まれる会員カード I D に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数の範囲内であることを確認するとともに、該貯玉数の範囲内であることを条件に、該貯玉数から持玉加算貯玉数を減算更新するとともに、該玉加算貯玉数から所定の手数料（本実施例では、上述した再プレイ手数料と同じ）を差し引いた玉数を、該会員カード I D に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に加算更新し、加算更新後の持玉数と減算更新後の貯玉数と、受信した持玉数加算要求に含まれる会員カード I D とを含む持玉数加算完了通知を、持玉数加算要求の送信元のカードユニット 3 に対して返信する。なお、この際管理コンピュータ 1 5 0 は、受信した持玉数加算要求に含まれる装置 I D に対応してユニット管理テーブルに記憶されている計数済玉数を加算更新後の持玉数に更新する。

【 0 2 6 3 】

該持玉数加算完了通知の受信に応じて制御ユニット 3 2 8 は、カードテーブルの持玉数と貯玉数とを、該受信した持玉数加算完了通知に含まれる持玉数と貯玉数とに更新する。

【 0 2 6 4 】

このようにすることで、会員遊技者は、再プレイ操作により、貯玉数を一旦パチンコ機 2 において払出し、該払出したパチンコ玉を、下皿 2 4 から投入部 3 4 5 に投入して計数させて計数済玉数に加算をすることなく、簡便かつ迅速に、希望する貯玉数を持玉数に加算して、振分けに使用することができるようになる。

【 0 2 6 5 】

一方、S f 1 のステップにおける判定において、計数済玉数（持玉数）が 0 でない場合には、S f 2 のステップに進み、図 3 0 (a) に示す振分け玉数受付け画面を表示部 3 1 2 に表示して、持玉数から振り分ける玉数（振分け玉数）を遊技者から受付ける振分け玉数受付け処理を実施する。

【 0 2 6 6 】

この本実施例の振分け玉数受付け画面には、図 3 0 (a) に示すように、振分けに使用可能なその時点における計数済玉数（持玉数）が表示される持玉数表示部と、振分け玉数を入力するための振分け玉数入力部と、「決定」の選択入力部と、処理を中断するための「キャンセル」の選択入力部と、受付け中のカードが会員カードであるときに、貯玉数を持玉数に加算する際に操作される「貯玉利用」の選択入力部と、0 ~ 9 までのテンキーと

10

20

30

40

50

、「半分」、「1 / 4」、「端数」のキーから成る操作部とが設けられており、遊技者は、これらテンキーや、半分」、「1 / 4」、「端数」の各キーを選択入力して、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力する。

【0267】

なお、「半分」キーを選択入力した場合には、持玉数表示部に表示されている計数済玉数（持玉数）の半分の玉数（割り切れない場合の端数は切り捨て）が振分け玉数入力部に自動入力され、「1 / 4」キーを選択入力した場合には、計数済玉数（持玉数）の1 / 4の玉数（割り切れない場合の端数は切り捨て）が振分け玉数入力部に自動入力され、「端数」キーを選択入力した場合には、計数済玉数（持玉数）の1000玉未満の端数の玉数が振分け玉数入力部に自動入力される。

10

【0268】

また、振分け玉数受付け画面において「貯玉利用」の選択入力部が選択入力された場合には、該「貯玉利用」の選択入力がSf3のステップにおいて検知されてSf21に進むことで、前述したように、受付け中のカードが会員カードであることを条件に、貯玉数を持玉数に加算する持玉数加算処理（Sf23）が実施されることにより、振分けに使用できる持玉数を、簡便かつ迅速に増やすことができるようになっている。

【0269】

また、遊技者が、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力した後に、「決定」の選択入力部を選択入力した場合には、該「決定」の選択入力に応じてSf4のステップにおいて、該振分け玉数入力部にて受付けた振分け玉数が、計数済玉数（持玉数）以下であるか否かを判定し、計数済玉数（持玉数）以下でない場合には、Sf25のステップに進んで、図30（e）の計数済玉数エラー画面を表示して計数済玉数が不足していることを遊技者に報知するとともに、該計数済玉数エラー画面の「確認」の選択入力部が、遊技者により選択入力されることに応じて、Sf2のステップに戻ることで、再度、振分け玉数の受付けが実施される。なお、処理を終了させたい場合には、計数済玉数エラー画面において「キャンセル」を選択入力すれば良い。

20

【0270】

一方、Sf4のステップの判定において、該振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数が、計数済玉数（持玉数）以下である場合には、Sf5のステップに進み、図27（a）に示すように、管理コンピュータ150に対して、当該カードユニット3の装置IDと、受付け中のカードの（会員）カードIDと、振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数と、カードテーブルに記憶されているその時点の計数済玉数（持玉数）とを含む振分け許諾要求を送信する。

30

【0271】

この振分け許諾要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードIDに対応付けて会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信した振分け許諾要求に含まれる計数済玉数（持玉数）とを比較し、双方が一致しないときには、会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルの持玉数、並びにユニット管理テーブルにおける受信した装置IDに対応する計数済玉数を、受信した振分け許諾要求に含まれる計数済玉数（持玉数）に更新する。

40

【0272】

そして、前述した振分け設定画面（図20参照）において、振分け総数制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け総数制限に「する」が設定されている場合には、振分け設定画面において集計対象期間として設定されている期間、例えば1日において当該遊技場において振分けされたパチンコ玉の振分け総数（全体）を、振分け履歴テーブルにおいて、その当日の日付を含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。なお、本実施例では、これら振分け総数（全体）の集計を、振分け許諾要求の受信時に実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの集計を事前に実施しておくようにしても良い。

50

【 0 2 7 3 】

そして、該特定した振分け総数（全体）に、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数（全体）が、振分け設定画面において振分け総数制限の項目にて設定されている制限数を超過しているか否かを判定する。

【 0 2 7 4 】

更に、前述した振分け設定画面において、振分け元上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け元上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば1日において、振分け元カードとなる受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードIDから特定されるカードから振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け元）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードIDを含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。

10

【 0 2 7 5 】

なお、これら振分け総数（振分け元）を集計する場合において、カードIDがビジターカードのIDである場合には、該カードIDに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時から、該ビジターカードが最後に発行された日時を特定し、該特定した最後に発行された日時以降の日時情報を含む振分け履歴のみを集計対象とするようになっており、このようにすることで、繰返し利用されるビジターカードが最後に発行された遊技者から振分けされた振分け総数（振分け元）を正確に特定するようになっている。

20

【 0 2 7 6 】

そして、該特定した振分け総数（振分け元）に、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数（振分け元）が、振分け設定画面において振分け元上限制限の項目にて設定されている制限数を超過しているか否かを判定する。

【 0 2 7 7 】

これら判定において、いずれかの制限数を超過している場合には、受信した振分け許諾要求に含まれるカードIDを含む振分け不可を返信する。なお、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数（全体）と制限数との差数（全体）と、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数（振分け元）と制限数との差数（振分け元）とをそれぞれ算出し、これら差数が共に正の値であるときに、これら差数の内の少ない方の差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信する。

30

【 0 2 7 8 】

一方、振分け総数制限並びに振分け元上限制限に、共に「しない」が設定されている場合、振分け総数制限および／または振分け元上限制限に「する」が設定されている場合であって、制限数を超過していないと判定した場合には、受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カードIDを含む振分け許諾を返信する。

【 0 2 7 9 】

制御ユニット328は、管理コンピュータ150からの返信が、振分け許諾であるか否かをSf6のステップにて判定し、振分け不可である場合には、Sf6のステップにて「No」と判定されてSf24のステップに進んで制限玉数エラー画面表示を実施することにより、表示部312には、図30（f）に示すように、振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、Sf2のステップに戻る。

40

【 0 2 8 0 】

これにより遊技者は、振分け可能玉数を認識することができるので、該振分け可能玉数をSf2のステップにおいて再度、振分け玉数として入力することで、繰返し、制限玉数エラーとなってしまうことを回避できる。

【 0 2 8 1 】

一方、管理コンピュータ150からの返信が振分け許諾である場合には、Sf6のステ

50

ップにて「Yes」と判定されてS f 7のステップに進み、カード挿入可能化指示をカードリーダーライタ3 2 7に出力することで、カード挿入口3 0 9への新たなカードの挿入を許可するとともに、図3 0 (b)に示すように、振分け玉数の表示部と、振分け先のカードの挿入を促すメッセージの表示部と、振分け先のカードが無い場合におけるビジターカードの新規発行の操作を受付ける新規発行選択入力部を有する新規発行受付画面を表示部3 1 2に表示した後、S f 8のステップとS f 9のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力があるか、カード挿入口3 0 9への新たなカードの挿入があるかを監視する。

【0 2 8 2】

振分け先の遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していない場合には、新規発行選択入力部を選択入力すれば良く、該新規発行選択入力部の選択入力があるS f 8のステップにて発行受付ありと検知されてS f 1 0のステップに進んで、受け付け中のカードが会員カードであるか否かを判定し、会員カードでない場合、つまり、受け付け中のカードがビジターカードである場合には、S f 1 1に進んでビジター用発行振分け処理を実施する一方、受け付け中のカードが会員カードである場合には、S f 1 2に進んで会員用発行振分け処理を実施する。

【0 2 8 3】

S f 1 1のビジター用発行振分け処理において制御ユニット3 2 8は、まず、受け付け中のビジターカードを、カードリーダーライタ3 2 7のカード挿入口3 0 9側の退避位置に退避させて保持するとともに、カードリーダーライタ3 2 7内の所定の読み出し位置に、カード貯留部3 7 0に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードIDの読み出しを実施して一時記憶する。

【0 2 8 4】

そして、該読み出したカードID（新）と、カードテーブルに記憶されている退避位置に退避させたビジターカードのカードID（旧）と振分け玉数と、当該カードユニット3の装置IDを含む発行振分け要求を管理コンピュータ1 5 0に対して送信する。

【0 2 8 5】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ1 5 0は、受信した発行振分け要求にビジターカードのカードID（新）とカードID（旧）とが含まれる、つまり、2つのビジターカードのカードIDが含まれることにより、ビジターカードの交換が行われるビジター用発行振分け処理であると判定し、受信した発行振分け要求に含まれるカードID（旧）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と最新発行日時とを特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、該減算更新後の持玉数と特定した最新発行日時とを、受信した発行振分け要求に含まれるカードID（新）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と最新発行日時に記憶し、カードID（旧）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「0」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

【0 2 8 6】

さらに、ユニット管理テーブルにおいて受信した発行振分け要求に含まれる装置IDに対応する「受け付けID」のデータにカードID（新）を更新記憶するとともに、「計数済玉数」のデータに振分け玉数が減算された持玉数を更新記憶する。

【0 2 8 7】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとしてカードID（旧）と、振分け元のカードとしてカードID（新）と、発行を示す「1」と、振分け玉数と、利用受け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

【0 2 8 8】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット3 2 8は、一時記憶しているカードID（新）と、カードテーブルに記憶されているカードID（旧）とプリペイド残額と

10

20

30

40

50

を含むカード交換要求をシステムコントローラ 100 に送信する。

【0289】

このカード交換要求の受信に応じてシステムコントローラ 100 は、ビジターカードテーブルにカード ID (旧) に対応付けて記憶されているプリペイド残額と最新発行日時とを特定し、該特定したプリペイド残額が受信したプリペイド残額とが一致することを条件に、該特定したプリペイド残額と最新発行日時とを、受信した発行振分け要求に含まれるカード ID (新) に対応するプリペイド残額と最新発行日時とに記憶し、対応する「状況」を「利用中」に更新するとともに、カード ID (旧) に対応付けて記憶されているプリペイド残額を「0」に、最新発行日時にその時点の日時を更新記憶した後、カード交換完了通知を返信する。

10

【0290】

つまり、カード貯留部 370 に貯留されているビジターカードを振分け元のカードとし、それまで受付けていたビジターカードを新たに発行して振分け先のカードとするために、データの対応付けの付け替えを実施する。

【0291】

このカード交換完了通知の受信に応じて制御ユニット 328 は、一時記憶しているカード ID (新) を、カードテーブルのカード ID に更新記憶するとともに、該カード ID (新) のカードに対して、カードテーブルに記憶されているプリペイド残額と持玉数とを書き込み記憶した後、該カード ID (新) のカードを、一旦、カード貯留部 370 に退避させることで、カード挿入口 309 側の待機位置に保持しているカード ID (旧) のビジターカードを所定の読み出し位置まで移動させ、プリペイド残額と持玉数とを「0」に更新するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新する。

20

【0292】

そして、これらの更新が完了した後、カード ID (旧) のビジターカード、つまり、振分け操作の受付け時点において受付け中であつたビジターカードをカード挿入口 309 から排出するとともに、カード貯留部 370 に退避させていたカード ID (新) のカードを、所定の読み出し位置まで移動させ、表示部 312 に、図 30 (c) に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージを、該排出したビジターカードがカード挿入口 309 から取り出されるまで表示して、当該ビジター用発行振分け処理を終了する。なお、処理終了においては、S f 0 にて実施した計数禁止と払出ボタン 311

30

【0293】

このように、本実施例のビジター用発行振分け処理においては、振分け操作の受付け時点において受付け中であつたビジターカードを振分け先のビジターカードとして発行するようにしているので、遊技者は、新たなビジターカードを発行するために、振分け操作の受付け時点において受付け中であつたビジターカードを一度排出して、新たなビジターカードを発行させ、該発行の終了後に再度、ビジターカードを挿入する必要(手間)がなく、これらビジターカードの発行をスムーズに行うことができるとともに、一度排出したビジターカードが紛失されてしまうこともない。

【0294】

40

なお、これら発行されたビジターカードは、前述したように、他のカードユニット 3 に挿入することで、振分けされた振分け玉数が持玉数に加算されて計数済玉数として表示部 312 に表示されることで、該持玉数を、払出ボタン 311 を操作して払出すことができる。

【0295】

また、S f 12 の会員用発行振分け処理において制御ユニット 328 は、まず、受付け中の会員カードを、カードリーダーライタ 327 のカード挿入口 309 側の退避位置に退避させて保持するとともに、カードリーダーライタ 327 内の所定の読み出し位置に、カード貯留部 370 に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカード ID の読み出しを実施して一時記憶する。

50

【 0 2 9 6 】

そして、該読み出したカード I D と、カードテーブルに記憶されている会員カード I D と振分け玉数と当該カードユニット 3 の装置 I D を含む発行振分け要求を管理コンピュータ 1 5 0 に対して送信する。

【 0 2 9 7 】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ 1 5 0 は、受信した発行振分け要求にビジターカードのカード I D と会員カード I D とが含まれることにより、会員用発行振分け処理であると判定し、受信した発行振分け要求に含まれる会員カード I D に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、受信した発行振分け要求に含まれるビジターカードのカード I D に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「 0 」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。

10

【 0 2 9 8 】

さらに、ユニット管理テーブルにおいて受信した発行振分け要求に含まれる装置 I D に対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【 0 2 9 9 】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行振分け要求に含まれる装置 I D と、振分け先のカードとしてカード I D と、振分け元のカードとして会員カード I D と、発行を示す「 1 」と、振分け玉数と、利用受け無しを示す「 0 」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。

20

【 0 3 0 0 】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット 3 2 8 は、一時記憶しているビジターカードのカード I D を含む振分け発行要求をシステムコントローラ 1 0 0 に送信する。

【 0 3 0 1 】

この振分け発行要求の受信に応じてシステムコントローラ 1 0 0 は、受信した振分け発行要求に含まれるカード I D に対応付けてビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「 0 」を、最新発行日時にその時点の日時を、「状況」に「使用中」を更新記憶した後、振分け発行完了通知を返信する。

【 0 3 0 2 】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御ユニット 3 2 8 は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「 0 」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「 1 」に更新する。

30

【 0 3 0 3 】

そして、システムコントローラ 1 0 0 に対して、カードテーブルに記憶されている会員カード I D を含む使用留保要求を送信して、該会員カードの他のカードユニット 3 における利用を不可とした後、カード挿入口 3 0 9 側の待機位置に保持している会員カードを、カード挿入口 3 0 9 から排出するとともに、図 3 0 (d) に示すように、「返却された会員カードを取り出すと、振分け用のビジターカードが発行されます。」のメッセージを表示部 3 1 2 に表示して、排出した会員カードの取り出しを促す。

40

【 0 3 0 4 】

このメッセージの表示に応じて会員遊技者が、自身の会員カードをカード挿入口 3 0 9 から取り出すと、該取り出しに応じてビジターカードが即座にカード挿入口 3 0 9 から排出されるとともに、図 3 0 (c) に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージが表示部 3 1 2 に表示される。

【 0 3 0 5 】

会員遊技者は、カード挿入口 3 0 9 に排出されたビジターカードを取り出して振分けをする他の遊技者に手渡すとともに、自身の会員カードを再度カード挿入口 3 0 9 から挿入する。

【 0 3 0 6 】

50

この会員カードの挿入に応じて制御ユニット328は、該再挿入された会員カードから読み出した会員カードIDが、カードテーブルに記憶されている会員カードIDに一致するか否かを判定し、一致しないときには該カードを返却してエラーを係員に報知するエラー報知状態に移行する一方、一致するときには該会員用発行振分け処理を終了する。

【0307】

一方、Sf8とSf9のステップによる監視状態においてカード挿入口309への新たなカードの挿入があった場合には、該カードの挿入がSf9のステップにおいて検知されてSf14のステップに進み、受付中のカードを貯留部370に移動して退避させるとともに、新たに挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。

【0308】

新たに挿入されたカードが会員カードである場合にはSf15のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Sf16にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードも会員カードである会員対会員振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Sf17のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードが会員カードであるビジター対会員振分け処理を実施する。

【0309】

一方、新たに挿入されたカードがビジターカードである場合にはSf18のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Sf19にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードがビジターカードである会員対ビジター振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Sf20のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードもビジターカードであるビジター対ビジター振分け処理を実施する。

【0310】

本実施例のSf16の会員対会員振分け処理において制御ユニット328は、図27(b)に示すように、当該カードユニット3の装置IDと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードID(振分け先)と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードID(振分け元)と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

【0311】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け先)を振分け先カードとして含み、利用受け付けのデータが非受け付けを示す「0」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【0312】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば1日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け先)から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数(振分け先)を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け先)を振分け先カードとして含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。

10

20

30

40

50

【 0 3 1 3 】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上制限の項目にて設定されている制限数を超過しているか否かを判定する。

【 0 3 1 4 】

該判定において、制限数を超過している場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID（振分け元）を含む振分け不可を返信する。なお、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット3においては、図30（c）と同様のエラー画面が表示された後、S f 2のステップに戻り、これらS f 2のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

10

【 0 3 1 5 】

一方、制限数を超過していない場合並びに振分け先上制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置IDに対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

20

【 0 3 1 6 】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとして会員カードID（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードID（振分け元）と、非発行を示す「0」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれる会員カードID（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【 0 3 1 7 】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新してカード挿入口309から返却し、カード貯留部370に一時退避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部312に、図30（g）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該会員対会員振分け処理を終了する。なお、処理終了においては、S f 0にて実施した計数禁止と払出ボタン311の操作無効が解除される。

30

【 0 3 1 8 】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット3に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け玉数が持玉数に加算されて使用可能となる。

【 0 3 1 9 】

本実施例のS f 17のビジター対会員振分け処理において制御ユニット328は、図27（b）に示すように、当該カードユニット3の装置IDと、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カードID（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元のビジターカードのカードID（振分け元）と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

40

【 0 3 2 0 】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID（振分け先）を含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「0」である振分け履歴が存在するかを検索する。

50

【 0 3 2 1 】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば１日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。

10

【 0 3 2 2 】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上制限の項目にて設定されている制限数を超過しているか否かを判定する。

【 0 3 2 3 】

該判定において、制限数を超過している場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。なお、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット３においては、図３０（ｃ）と同様のエラー画面が表示された後、Ｓｆ２のステップに戻り、これらＳｆ２のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

20

【 0 3 2 4 】

一方、制限数を超過していない場合並びに振分け先上制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

30

【 0 3 2 5 】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとして会員カードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとしてカードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「０」と、振分け玉数と、利用受付無しを示す「０」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【 0 3 2 6 】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット３２８は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「１」に更新してカード挿入口３０９から返却し、カード貯留部３７０に一時退避させていた振分け元のビジターカードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部３１２に、図３０（ｇ）に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。なお、処理終了においては、Ｓｆ０にて実施した計数禁止と払出ボタン３１１の操作無効が解除される。

40

【 0 3 2 7 】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット３に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け玉数が持玉数に加算されて使用可能となる。

【 0 3 2 8 】

本実施例のＳｆ１９の会員対ビジター振分け処理において制御ユニット３２８は、図２

50

7 (b) に示すように、当該カードユニット 3 の装置 I D と、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカード I D (振分け先) と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カード I D (振分け元) と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ 1 5 0 に対して送信する。

【 0 3 2 9 】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ 1 5 0 は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け先) を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「 0 」である振分け履歴が存在するかを検索する。

10

【 0 3 3 0 】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カード I D (振分け元) を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば 1 日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け先) から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数 (振分け先) を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け先) を振分け先カードとして含む振分け履歴であって、該カード I D (振分け先) に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時以降の日時情報を含む振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。

20

【 0 3 3 1 】

そして、該特定した振分け総数 (振分け先) に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数 (振分け先) が、振分け設定画面において振分け先上制限の項目にて設定されている制限数を超過しているか否かを判定する。

【 0 3 3 2 】

該判定において、制限数を超過している場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カード I D (振分け元) を含む振分け不可を返信する。なお、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数 (振分け先) と制限数との差数 (振分け先) とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット 3 においては、図 3 0 (c) と同様のエラー画面が表示された後、S f 2 のステップに戻り、これら S f 2 のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

30

【 0 3 3 3 】

一方、制限数を超過していない場合並びに振分け先上制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カード I D (振分け元) に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置 I D に対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

40

【 0 3 3 4 】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置 I D と、振分け先のカードとしてカード I D (振分け先) と、振分け元のカードとして会員カード I D (振分け元) と、非発行を示す「 0 」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「 0 」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれる会員カード I D (振分け元) を含む振分け完了通知を返信する。

【 0 3 3 5 】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット 3 2 8 は、振分け先のビジターカード

50

の振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新してカード挿入口309から返却し、カード貯留部370に一時退避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部312に、図30(g)に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該会員対ビジター振分け処理を終了する。なお、処理終了においては、Sf0にて実施した計数禁止と払出ボタン311の操作無効が解除される。

【0336】

本実施例のSf20のビジター対ビジター振分け処理において制御ユニット328は、図27(b)に示すように、当該カードユニット3の装置IDと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードID(振分け先)と、カードテーブルに記憶している振分け元のビジターカードのカードID(振分け元)と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

10

【0337】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け先)を振分け先カードとして含み、利用受け付けのデータが非受け付けを示す「0」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【0338】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け元)を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば1日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け先)から特定されるビジターカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数(振分け先)を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け先)を振分け先カードとして含む振分け履歴であって、該カードID(振分け先)に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時以降の日時情報を含む振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。

20

30

【0339】

そして、該特定した振分け総数(振分け先)に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数(振分け先)が、振分け設定画面において振分け先上制限の項目にて設定されている制限数を超過しているか否かを判定する。

【0340】

該判定において、制限数を超過している場合には、受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け元)を含む振分け不可を返信する。なお、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数(振分け先)と制限数との差数(振分け先)とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット3においては、図30(c)と同様のエラー画面が表示された後、Sf2のステップに戻り、これらSf2のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

40

【0341】

一方、制限数を超過していない場合並びに振分け先上制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け元)に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置IDに対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

50

【 0 3 4 2 】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置 I D と、振分け先のカードとしてカード I D (振分け先)と、振分け元のカードとしてカード I D (振分け元)と、非発行を示す「 0 」と、振分け玉数と、利用受付無しを示す「 0 」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け元)を含む振分け完了通知を返信する。

【 0 3 4 3 】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット 3 2 8 は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「 1 」に更新してカード挿入口 3 0 9 から返却し、カード貯留部 3 7 0 に一時退避させていた振分け元のビジターカードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部 3 1 2 に、図 3 0 (g) に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該ビジター対ビジター振分け処理を終了する。なお、処理終了においては、S f 0 にて実施した計数禁止と払出ボタン 3 1 1 の操作無効が解除される。

【 0 3 4 4 】

また、前述した S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態において、遊技者がメニューボタン 3 1 6 の操作を実施した場合には、該メニューボタン 3 1 6 の操作を検知した表示制御基板 3 2 9 からメインメニュー表示操作情報が制御ユニット 3 2 8 に入力されることで、制御ユニット 3 2 8 は、S b 1 0 においてメニューボタン 3 1 6 の操作有りと判断して S b 2 8 に進み、図示しないメニュー表示処理を実施する。

【 0 3 4 5 】

このメニュー表示処理において制御ユニット 3 2 8 は、まず、カードテーブルに記憶されているデータに基づいて、対応するパチンコ機 2 で遊技中の遊技者が会員であるか否か(会員 I D が記憶されているか否か)を判定し、遊技者が会員でない場合(会員 I D が記憶されていない場合)には、会員固有のメニュー項目を含まない「台データ」、「ランキング」、「お知らせ」、「振分け」の各メニュー項目のみを含むビジターメインメニュー(図 5 参照)を、ビジターメインメニュー表示指示を表示制御基板 3 2 9 に出力することにより、表示部 3 1 2 に表示させる一方、遊技者が会員である場合には、会員固有のメニュー項目である「ポイント表示」、「再プレイ」のメニュー項目とをさらに含む、図 5 に示す会員メインメニューを、会員メインメニュー表示指示を表示制御基板 3 2 9 に出力することにより表示部 3 1 2 に表示させる。

【 0 3 4 6 】

これら表示部 3 1 2 に表示された各メニュー項目は、遊技者が選択操作可能とされており、所定時間内にいずれかのメニュー項目が選択されない場合には、メニュー表示終了指示を表示制御基板 3 2 9 に出力することでメインメニューの表示を終了させた後、S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る一方、所定時間内にいずれかのメニュー項目が選択された場合には、該選択されたメニュー項目に該当する処理を実行した後、S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

【 0 3 4 7 】

なお、メインメニュー中の「再プレイ」メニューが選択された場合には、前述した S b 2 4 の再プレイ処理が実行される。

【 0 3 4 8 】

また、「台データ」のメニューが選択された場合には、遊技情報テーブルに記憶されている本日の各データが表示され、「ランキング」のメニューが選択された場合には、ランキングの種別、具体的には、出玉ランキング、大当りランキング、連荘ランキング等を選択するサブメニュー画面が表示され、該サブメニュー画面にて選択された種別のランキングデータがホールコンピュータ 1 4 0 から取得されて表示部 3 1 2 に表示される。

【 0 3 4 9 】

また、「ポイント表示」のメニューが選択された場合には、カードテーブルに記憶されている来店ポイントのポイント数(来店ポイントの記憶がない場合には、来店ポイント取

10

20

30

40

50

得要求を管理コンピュータ 150 に対して送信することにより、該管理コンピュータ 150 から来店ポイント数を取得する)が表示部 312 に表示され、「お知らせ」のメニューが選択された場合には、RAM 328b 内に記憶されているお知らせ情報が表示部 312 に表示される。

【0350】

なお、表示部 312 の下方の「計数済玉数」の表示は、メインメニューとは異なり、常に表示部 312 の下方において表示されることで、遊技者は、常時、計数済玉数の数値を確認できるようになっている。

【0351】

以上、本実施例 1 によれば、計数済玉数が端数のみとなった場合には、該端数の払出しが、払出ボタン 311 の操作に応じて実施されるので、遊技者は、これら端数のパチンコ玉を払出すことも、これら端数のパチンコ玉を払出さずに残すことも、これら払出ボタン 311 の操作の実施 / 非実施によって選択することができる。

【0352】

また、本実施例 1 によれば、遊技用装置であるカードユニット 3 において、端数のパチンコ玉を遊技者に返却するための返却通路 344 が、対応するパチンコ機 3 にて払出されたパチンコ玉を計数払出ユニット 348 に流入させるための計数通路の下方位置に設けられているので、これら返却通路 344 が遊技の障害や邪魔となることを回避できる。

【0353】

また、本実施例 1 によれば、遊技用装置であるカードユニット 3 において、返却通路 344 の終端における返却口 342 を遊技者が開閉可能な開閉部材となる開閉シャッタ 342' を備えているので、不意な払出しがなされた場合でも、払出されたパチンコ玉の返却口 342 からの落下を防止することができる。

【0354】

また、本実施例 1 によれば、遊技用装置であるカードユニット 3 において、投入部 345 を上部に有する箱体となる終端ボックス 340a の前面に開閉部材となる開閉シャッタ 342' を備えているので、該開閉シャッタ 342' の操作性を向上できる。

【0355】

次に、本実施例 1 の変形例 (以下「変形例 1」と称する)について説明する。上記の実施例 1 では、ビジターカードの返却操作が有った場合において、図 24 に示すように、プリペイド残額が零でなく (S220 で NO)、かつ持玉数が単位未満端数である (S221 で YES) 場合に、単位未満払出処理 (S223) を行ったが、この変形例 1 では、プリペイド残額が零でなく (S220 で NO)、かつ持玉数が単位未満端数である (S221 で YES) 場合に、単位未満払出処理を行うことなく、S222 に進んで、該単位未満端数の持玉数をビジターカードに記録して、前記 S216 に進む点が、実施例 1 と異なる。即ち変形例 1 において、カードユニット 3 にて受付中のビジターカードは、プリペイド残額が零でない場合には、常に持玉数が記録されて返却される。なお、この変形例において、S221 の判定を行わずに、S220 で YES S222 と進むようにしても良い。

【実施例 2】

【0356】

次に、本発明の実施例 2 について、図 32 に基づいて以下に説明する。この図 32 に示す実施例 2 の返却処理は、前記図 24 に示す実施例 1 の返却処理に代えて行われ、上記の実施例 1 では、ビジターカードの返却操作が有った場合において、図 24 に示すように、持玉数が払出単位 (25 玉) 未満の単位未満端数である (S221 又は S231 で YES) 場合に、単位未満払出処理 (S223 又は S233) を行ったが、この変形例 2 では、図 32 に示すように、持玉数が所定の景品を交換するための交換玉数 (例えば 100 玉) 未満の交換未満端数である (S221' 又は S231' で YES) 場合に、該交換未満端数のパチンコ玉を払い出して遊技者に返却するための交換未満払出処理として、前記払出信号 (BRQ) を出力することにより該交換未満端数のうちの前記払出単位のパチンコ玉をパチンコ機 2 から払い出して遊技者に返却するための単位払出処理 (S225' 又は S

10

20

30

40

50

235')、及び/又は、該交換未満端数のうちの前記単位未満端数のパチンコ玉を玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉から払い出して遊技者に返却するための単位未満払出処理(S227'又はS237')を行う点が、実施例1と異なる。

【0357】

ここで交換玉数は、例えば当該遊技場において提供される景品のうちの最も安価な景品の交換玉数(例えば100玉)が、管理コンピュータ150において予め設定され、各カードユニット3に配信されて記憶される。以下、図32のうち、前記図24と異なる点について説明する。

【0358】

ビジターカードの返却操作が有った場合において、前記S201でYES S203 S210でYES S220と進み、該S220でプリペイド残額が零でない(NO)と判定された場合には、S221'で、カードテーブルで記憶している持玉数が交換未満端数(本例では99玉以下)であるか否かを判定する。このS221'で持玉数が交換未満端数でない(NO)、即ち持玉数が交換玉数以上であると判定された場合には、前記S222で、該持玉数をビジターカードに記録して、前記S216に進む。

【0359】

一方、S221'で持玉数が交換未満端数である(YES)と判定された場合には、S224'で、該交換未満端数が払出単位(本例では25玉)以上であるか否かを判定する。このS224'で交換未満端数が払出単位以上である(YES)と判定された場合には、S225'で、交換未満払出処理として、前記払出信号(BRQ)を出力することにより、交換未満端数のうちの払出単位のパチンコ玉をパチンコ機2から払い出して遊技者に返却するための単位払出処理を行い、S226'で、交換未満端数から単位払出処理で払い出された玉数を減算した残存玉数が単位未満端数であるか否かを判定する。このS226'で残存玉数が単位未満端数である(YES)と判定された場合には、S227'で、交換未満払出処理として、該単位未満端数のパチンコ玉を玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉から払い出して遊技者に返却するための単位未満払出処理を行い、持玉数(ここでは零)をビジターカードに記録して、前記S216に進む。この流れを具体的に説明すると、例えば持玉数が99玉である場合には、S221'でYES S224'でYESと判定されて、S225'で、払出単位25玉のパチンコ玉をパチンコ機2から払い出す単位払出処理が3回行われ、かつS226'でYESと判定されて、S227'で、残存玉数24玉のパチンコ玉を玉貯留部355から払い出す単位未満払出処理が行われる。

【0360】

また前記S226'で残存玉数が零である(NO)と判定された場合には、持玉数(ここでは零)をビジターカードに記録して、前記S216に進む。この流れを具体的に説明すると、例えば持玉数が25玉である場合には、S221'でYES S224'でYESと判定されて、S225'で、払出単位25玉のパチンコ玉をパチンコ機2から払い出す単位払出処理が1回行われ、S226'でNOと判定されて、S227'の単位未満払出処理は行われない。

【0361】

さらに前記S224'で交換未満端数が払出単位未満である(NO)と判定された場合には、前記S227'の単位未満払出処理を行い、持玉数(ここでは零)をビジターカードに記録して、前記S216に進む。この流れを具体的に説明すると、例えば持玉数が24玉である場合には、S221'でYES S224'でNOと判定されて、S225'の単位払出処理は行われず、S227'で、該持玉数24玉のパチンコ玉を玉貯留部355から払い出す単位未満払出処理が行われる。

【0362】

このように、交換未満端数のパチンコ玉を払い出す際に、払出単位のパチンコ玉は単位払出処理によりパチンコ機2から払い出し、単位未満端数のパチンコ玉は単位未満払出処理により玉貯留部355から払い出すので、遊技機設置島からパチンコ玉の供給を受ける

ための補給路を設けることによるカードユニット3の複雑化を解消することができる。また玉貯留部355は単位未満端数の最大値(本例では24玉)のパチンコ玉を貯留できれば良いので、交換未満端数の全てを玉貯留部355から払い出す場合と比較して該玉貯留部355の貯留容量を少なくすることができる。具体的には、景品交換時のパチンコ玉あたりの単価が比較的低額(例えば1円)に設定されている場合には、払出単位以上の交換玉数が設定されることが比較的多くなるが、このような場合において交換未満端数の全てを玉貯留部355から払い出すこととすると、玉貯留部355は該交換未満端数の最大値のパチンコ玉を貯留していなければならないため、該玉貯留部355の貯留容量を多くしておかなければならないが、実施例2の如く、払出単位のパチンコ玉は単位払出処理によりパチンコ機2から払い出し、単位未満端数のパチンコ玉は単位未満払出処理により玉貯留部355から払い出すようにすれば、玉貯留部355は単位未満端数の最大値(本例では24玉)のパチンコ玉を貯留できれば良いので、該玉貯留部355の貯留容量を少なくすることができるのである。

10

【0363】

なおS221'で持玉数が零であると判定された場合には、S224'~S227'の処理を行わずに、S216に進む。

【0364】

前記S220でプリペイド残額が零である(YES)と判定された場合には、S231'で、前記S221'と同様に、カードテーブルで記憶している持玉数が交換未満端数(本例では99玉以下)であるか否かを判定する。このS231'で持玉数が交換未満端数でない(NO)、即ち持玉数が交換玉数以上であると判定された場合には、前記S232で、前記S222と同様に、該持玉数をビジターカードに記録して、前記S216に進む。即ちカードユニット3にて受付中のビジターカードは、プリペイド残額が零である場合には、持玉数が零でないことを条件として、返却される。

20

【0365】

一方、S231'で持玉数が交換未満端数である(YES)と判定された場合には、S234'で、前記S224'と同様に、該交換未満端数が払出単位(本例では25玉)以上であるか否かを判定する。このS234'で交換未満端数が払出単位以上である(YES)と判定された場合には、S235'で、前記S225'と同様に、交換未満払出処理としての単位払出処理を行い、S236'で、前記S226'と同様に、交換未満端数から単位払出処理で払い出された玉数を減算した残存玉数が単位未満端数であるか否かを判定する。このS236'で残存玉数が単位未満端数である(YES)と判定された場合には、S237'で、前記S227'と同様に、交換未満払出処理としての単位未満払出処理を行って、前記S240に進む。またS236'で残存玉数が零である(NO)と判定された場合には、前記S240に進む。さらにS234'で交換未満端数が払出単位未満である(NO)と判定された場合には、S237'の単位未満払出処理を行って、前記S240に進む。即ちカードユニット3にて受付中のビジターカードは、プリペイド残額が零であり、かつ持玉数が交換未満端数である場合には、返却されずに取り込まれる(前記S243)。これによれば、少ない持玉数が記録されたビジターカードが返却されて捨てられることによる遊技場の損失を防止できる。

30

40

【0366】

なおS231'で持玉数が零であると判定された場合には、S234'~S237'の処理を行わずに、S240に進む。

【0367】

次に、本実施例2の変形例(以下「変形例2」と称する)について説明する。上記の実施例2では、図32に示すように、ビジターカードの返却操作があった場合において、プリペイド残額が零でなく(S220でNO)、かつ持玉数が交換未満端数である(S221'でYES)場合に、交換未満払出処理として、単位払出処理(S225')及び/又は単位未満払出処理(S227')を行ったが、この変形例2では、プリペイド残額が零でなく(S220でNO)、かつ持玉数が交換未満端数である(S221'でYES)場

50

合に、交換未満払出処理を行うことなく、S 2 2 2 に進んで、該交換未満端数の持玉数をビジターカードに記録して、前記 S 2 1 6 に進む点が、実施例 2 と異なる。即ち変形例 2 において、カードユニット 3 にて受付中のビジターカードは、プリペイド残額が零でない場合には、常に持玉数が記録されて返却される。なお、この変形例において、S 2 2 1 ' の判定を行わずに、S 2 2 0 で Y E S S 2 2 2 と進むようにしても良い。

【実施例 3】

【0368】

次に、本発明の実施例 3 について、図 3 3 ~ 図 3 7 に基づいて以下に説明する。なお、上記実施例 1 と同一構成で重複する構成は省略するものとし、実施例 1 と異なる本実施例 3 の特徴部分、具体的には、カードユニット 3 の計数払出ユニット並びに連結ボックスと

10

【0369】

カードユニット 3 の最も下方位置に設けられている計数払出ユニット 3 4 8 ' には、図 3 5 に示すように、実施例 1 と同様に、パチンコ機 2 の下皿 2 4 と、遊技島の繻板 1 との間に配置される横長の箱状とされた連結ボックス 4 4 0 が連結されるようになっている。

【0370】

この連結ボックス 4 4 0 は、連結ボックス 4 4 0 の終端側に形成された、高さ方向の厚みが比較的大きな終端ボックス 4 4 0 a と、高さ方向の厚みが比較的小さく、終端ボックス 4 4 0 a と計数払出ユニット 3 4 8 ' との連結部とを繋ぐように形成された経路ボックス 4 4 0 b とから構成されている。

20

【0371】

連結ボックス 4 4 0 は、計数払出ユニット 3 4 8 ' に連結することで、終端ボックス 4 4 0 a が下皿 2 4 の下方に位置するようになっており、該終端ボックス 4 4 0 a の上面には、下皿 2 4 から排出されるパチンコ玉が投入されるホッパ形状とされた投入部 4 4 5 が形成されている。投入部 4 4 5 の前面位置には、遊技者がスライド操作可能とされた計数レバー 4 4 1 が設けられており、該計数レバー 4 4 1 を付勢に抗してスライドさせることで、投入部 4 4 5 から計数通路 4 4 3 への侵入口に設けられた開閉シャッタ 4 4 6 が開放されるようになっている。

【0372】

投入部 4 4 5 の前部下方位置には、計数払出ユニット 3 4 8 ' から払出（返却）される端数のパチンコ玉を貯留可能な返却皿 4 4 2 が手前側に引き出し自在に収納されており、図 3 6 並びに図 3 7 中 2 点鎖線で示すように返却皿 4 4 2 を収納位置から手前側の取り出し位置まで引き出すことで、端数のパチンコ玉を取り出すことができるようになっている。

30

【0373】

経路ボックス 4 4 0 b の内部上方位置には、計数払出ユニット 3 4 8 ' に向けて下方に傾斜するように設けられ、投入部 3 4 5 に投入されたパチンコ玉を自然流下にて計数払出ユニット 3 4 8 ' に導く 1 条の流路から成る計数通路 4 4 3 と、該計数通路 4 4 3 の下方位置に返却皿 4 4 2 に向けて下方に傾斜するように設けられ、計数払出ユニット 3 4 8 ' から払出されたパチンコ玉を自然流下にて返却皿 4 4 2 に導く返却通路 4 4 4 が設けられている。

40

【0374】

返却通路 4 4 4 は連結ボックス 4 4 0 内部まで延設され、該返却通路 4 4 4 の終端における返却口 4 4 4 a は、連結ボックス 4 4 0 a 内に収納された返却皿 4 4 2 の側壁外面に対向するように配置されている。そして、返却皿 4 4 2 が収納位置にあるときには、返却通路 4 4 4 の側壁外面により返却口 4 4 4 a が閉塞され、返却通路 4 4 4 内を流下してきたパチンコ玉の返却皿 4 4 2 内への流出が阻止されるようになっており、また、返却皿 4 4 2 が引き出されて取り出し位置にあるときには、該返却皿 4 4 2 の側壁後部に形成された切欠部 4 4 2 a が返却口 4 4 4 a の対向位置に配置され、返却通路 4 4 4 内を流下してきたパチンコ玉が返却皿 4 4 2 内へ流出するようになっている。つまり、返却通路 4 4 4

50

の側壁は、返却口 4 4 4 a を開閉可能とする開閉部材を構成している。

【 0 3 7 5 】

また、計数通路 4 4 3 の下流位置には、図 3 6 に示すように、返却通路 4 4 4 に繋がる環流路 4 8 0 の上流側端部が連結されている。そして計数通路 4 4 3 と環流路 4 8 0 との分岐部には、ほぼ直角に回転することで計数通路 4 4 3 または環流路 4 8 0 の入口を塞ぐ流路切替え板 4 8 1 ' と、該流路切替え板 4 8 1 ' を回転させるための流路切替え用ソレノイド 4 8 1 とが設けられており、パチンコ玉の流路を計数通路 4 4 3 または環流路 4 8 0 に切替えることができるようになっている。

【 0 3 7 6 】

なお、通常においてパチンコ玉の流路は計数通路 4 4 3 側とされており、制御ユニット 3 2 8 から計数禁止指示が出力されることに応じて、パチンコ玉の流路が環流路 4 8 0 側に切替えられてパチンコ玉の計数が禁止される。

【 0 3 7 7 】

連結ボックス 3 4 0 が連結される本実施例 3 の計数払出ユニット 3 4 8 ' の内部には、図 3 6 並びに図 3 7 に示すように、計数通路 4 4 3 と連結される装置の前面側から装置の内部後側に向けて下方に傾斜するように設けられた流入路 4 5 0 と、該流入路 4 5 0 の終端が下部位置にて接続され、該流入路 4 5 0 を流下してきたパチンコ玉を揚送する揚送ユニット 4 5 1 と、該揚送ユニット 4 5 1 の上部位置に始端が接続され、返却通路 4 4 4 に繋がる装置の前側に向けて下方に傾斜するように設けられた流出路 4 5 2 と、を有している。つまり、これら流入路 4 5 0 と流出路 4 5 2 とは、装置の後側に設置された揚送ユニット 4 5 1 で連結されている。

【 0 3 7 8 】

揚送ユニット 4 5 1 は、特に図 3 7 に示すように、上下方向を向く筒状のケース 4 7 0 と、ケース 4 7 0 内にて上下方向を向く軸周りに回転自在に軸支されたスクリュー部材 4 7 1 と、ケース 4 7 0 の上端部に設けられ、スクリュー部材 4 7 1 を正逆駆動する揚送モータ 4 7 2 と、から主に構成されている。ケース 4 7 0 の内部には、スクリュー部材 4 7 1 が収容される収容部と、上下方向に延設され、パチンコ玉を移送するための横断面略凹溝状の移送通路と、が形成されている。また、ケース 4 7 0 における移送通路の周面下部位置には、流入路 4 5 0 の終端が接続される流入口 4 7 0 a が形成され、移送通路の周面上部位置には、流出路 4 5 2 の始端が接続される流出口 4 7 0 b が形成され、ケース 4 7 0 の下端面における移送通路に対向する箇所には、後述する排出路 4 6 0 に連通する排出穴 4 7 0 c が形成されている。

【 0 3 7 9 】

スクリュー部材 4 7 1 は、揚送モータ 4 7 2 に連結された駆動軸 4 7 1 a と、該駆動軸 4 7 1 a の外周に形成された螺旋状凸部 4 7 1 b と、からなり、揚送モータ 4 7 2 の駆動により正逆回転することにより、流入口 4 7 0 a から移送通路内に進入したパチンコ玉を、上方に揚送して流出口 4 7 0 b から流出または下方に移送して排出穴 4 7 0 c から排出させることができるようになっている。

【 0 3 8 0 】

流入路 4 5 0 の終端位置には、該流入路 4 5 0 内を流下するパチンコ玉を検出して計数する計数センサ 4 5 4 が設けられており、計数通路 4 4 3 を通じて該計数払出ユニット 3 4 8 ' に流入したパチンコ玉が、該計数センサ 4 5 4 により検出されて計数されることにより、実施例 1 と同じく、1 個のパチンコ玉の検出に応じて 1 パルスの計数センサ信号が出力されるようになっている。

【 0 3 8 1 】

流出路 4 5 2 における計数払出ユニット 3 4 8 ' 内の前方位置には、図 3 7 に示すように、パチンコ玉の流下を阻止するシャッタ 4 5 7 と、該シャッタ 4 5 7 の出沒を行うシャッタ用ソレノイド 4 5 8 と、該シャッタ 4 5 7 を通過するパチンコ玉を検出する払出センサ 4 5 6 とが設けられており、該シャッタの上流部位置が玉貯留部 4 5 5 とされており、図 3 6 及び図 3 8 (a) に示すように、計数センサ 4 5 4 により計数され、揚送ユニット

４５１にて揚送された計数済みのパチンコ玉が、該玉貯留部４５５に貯留されるようになっている。

【０３８２】

なお、本実施例の玉貯留部４５５は、図３６に示すように、下流側に向けて左右方向に蛇行する蛇行通路とされ、流下方向に向けてパチンコ玉をスペース効率よく貯留できるようになっている。玉貯留部４５５に貯留できるパチンコ玉の数は２４個とされており、パチンコ機２における払出単位である２５個未満の最大の端数である２４個の端数玉であっても、該玉貯留部４５５に貯留されているパチンコ玉から払出すことができるようになっている。

【０３８３】

また、この玉貯留部４５５に２４個のパチンコ玉が既に貯留されている場合においては、図３８（ｂ）に示すように、計数センサ４５４により計数された計数済みのパチンコ玉は、玉貯留部４５５に流入できないので、排出路４６０側に流下して該排出路４６０を通じてカードユニット３外の遊技島内に排出される。

【０３８４】

図３８（ａ）に示すように、玉貯留部４５５に２４個のパチンコ玉が貯留されている状態において、例えば、端数として２０玉の払出（返却）がなされる場合には、払出センサ４５６によって該２０玉のパチンコ玉が計数されるまでシャッタ４５７が開放されて、合計で２０玉のパチンコ玉が玉貯留部４５５から計数されて払出され、該払出されたパチンコ玉が流出路４５２と返却通路４４４とを自然流下して返却皿４４２に返却されて、玉貯留部４５５には合計４玉のパチンコ玉が残るようになる。

【０３８５】

なお、これら玉貯留部４５５の各パチンコ玉が存在する位置の上方部には、玉貯留部４５５に貯留されている各パチンコ玉を検出するための図示しない玉センサが、各パチンコ玉毎に設けられており、その時点において玉貯留部４５５に貯留されているパチンコ玉の玉数を計数払出ユニット３４８'が把握し、貯留玉数出力として外部出力できるようになっており、これら貯留玉数出力が制御ユニット３２８に入力されることで、制御ユニット３２８が、計数払出ユニット３４８'にて払出（返却）が可能なパチンコ玉数を把握できるようになっている。

【０３８６】

遊技者が計数レバー４４１を操作すると、開閉シャッタ４４６が開放され、投入部４４５内のパチンコ玉が計数通路４４３に流出する。このとき、貯留部４４５に２４個のパチンコ玉が貯留されてなければ、揚送モータ４７２が駆動してスクリー部材４７１が正転する。そして図３８（ａ）に示すように、計数通路４４３、流入路４５０を流下し、計数センサ４５４により検出されて計数されたパチンコ玉は、流入口４７０ａから移送通路内に進入した後、正転するスクリー部材４７１により揚送され、流出口４７０ｂから流出し、玉貯留部４５５内に貯留されていく。

【０３８７】

そして図３８（ｂ）に示すように、玉貯留部４５５に２４個のパチンコ玉が貯留されたときに、揚送モータ４７１が逆駆動し、スクリー部材４７１が逆転を開始する。これにより、その時点で移送通路内に進入したパチンコ玉が下方に向けて移送されて排出穴４７０ｃから排出路４６０に排出され、全てのパチンコ玉が排出された後は、流入口４７０ａから新たに進入されるパチンコ玉が下方に向けて移送され、排出穴４７０ｃから排出路４６０に排出されていく。最後は、計数センサ４５４によりパチンコ玉が検出されない状態が所定時間継続したときに、揚送モータ４７２の駆動が停止される。

【０３８８】

また、計数センサ４５４によって計数を行うことができない場合には、特に図示はしないが、上述したように、制御ユニット３２８からの計数禁止指示の入力に基づいて流路切替え板４８１'を回動させて計数通路４４３を塞ぐことにより、計数通路４４３０に侵入したパチンコ玉が、環流路４８０並びに返却通路４４４を流下して返却口４４４ａに返却

10

20

30

40

50

される一方、計数を行うことができる場合には、制御ユニット 3 2 8 からの指示に基づいて流路切替え板 4 8 1 ' が環流路 4 8 0 の入口を塞ぐことで、該環流路 4 8 0 への入口をパチンコ球が通過できるようになることで、該通過したパチンコ玉が計数センサ 3 5 4 によって計数される。

【 0 3 8 9 】

次に、本実施例 3 のカードユニット 3 ' が実施する計数終了時処理と払出処理とについて、図 3 3、図 3 4 に基づいて説明する。

【 0 3 9 0 】

本実施例 3 の計数終了時処理は、実施例 1 の計数センサ信号処理と同じく、図 2 1 に示す通常処理と平行して実施される処理であり、該計数センサ信号処理において、計数済玉数の変化から所定時間が経過したか否か、つまり、計数センサ信号処理における計数済玉数への加算が実施される都度後にリセットされる前述した加算終了検知タイマのタイマアップがあったか否かを、常時監視している (S p 1) 。

10

【 0 3 9 1 】

加算終了検知タイマのタイマアップがあった場合、つまり、最後の加算が実施されてから加算終了検知タイマに設定されている所定時間が経過した場合には、該算終了検知タイマのタイマアップが S p 1 のステップにて検知されて S p 2 のステップに進み、計数済玉数が端数を有するか否かを判定する。

【 0 3 9 2 】

具体的には、計数済玉数を対応するパチンコ機 2 における払出単位である 1 度数に対応する 2 5 玉により除した余りが存在するか否かを判定するとともに、該余りの玉数である端数を特定する。

20

【 0 3 9 3 】

例えば、計数済玉数が 5 5 5 玉であれば、2 5 で除した場合の余りが 5 であるので、端数が存在し、端数が 5 であることを特定する。

【 0 3 9 4 】

そして S p 3 のステップに進み、該特定した端数である 5 玉を計数払出ユニット 3 2 8 ' から払出す端数払出処理を行う。

【 0 3 9 5 】

この端数払出処理においては、まず、計数払出ユニット 3 4 8 ' から出力される前述の貯留玉数出力から特定される玉貯留部 4 5 5 に貯留されているパチンコ玉の玉数 (残数) が、特定した端数である 5 玉以上であるか否か、つまり、端数である 5 玉の払出し (返却) が可能であるか否かを判定する。

30

【 0 3 9 6 】

該判定において、玉貯留部 4 5 5 に貯留されているパチンコ玉の玉数 (残数) が、端数である 5 玉以上でないと判定した場合、つまり、5 玉のパチンコ玉の払出しが不能である場合には、表示部 3 1 2 に、「玉不足のため払出しができません。係員を呼んで下さい。」のメッセージを表示するとともに、多機能ランプ 3 0 1 の点灯状態を、貯玉残数エラーが発生したことを報知する所定の点灯態様にて点灯させる貯玉残数エラー報知処理を実施する。

40

【 0 3 9 7 】

この報知により玉貯留部 4 5 5 に貯留されているパチンコ玉の玉数 (残数) が少ないことを把握した係員は、実施例 1 の場合と同じく、リモコンを用いて、加算留保設定を実施した後、パチンコ玉を投入部 4 4 5 から計数通路 4 4 3 へ流入させて玉貯留部 4 5 5 にパチンコ玉を補充することで、玉貯留部 4 5 5 からのパチンコ玉の払出しが可能とされる。

【 0 3 9 8 】

一方、玉貯留部 4 5 5 に貯留されているパチンコ玉の玉数 (残数) が、端数である 5 玉以上であると判定した場合には、5 玉の払出指示を計数払出ユニット 3 4 8 ' に対して出力する。

【 0 3 9 9 】

50

この払出指示の入力に応じて計数払出ユニット348'は、流路切替え用ソレノイド481によって流路切替え板481'を、計数通路443を塞ぐ位置に回転させて新たなパチンコ玉の計数を禁止するとともに、シャッタ457を、払出センサ456が5玉のパチンコ玉の通過を検出するまで開状態として、5玉のパチンコ玉を計数して流出路452に払出す。なお、シャッタ457は、詳細には、払出し玉数が5玉以下であるので、1玉の通過毎に一度閉じられ、2玉、3玉、4玉、5玉と、1玉ずつシャッタ457を開くことで5玉のパチンコ玉が玉貯留部455から払出される。

【0400】

これら払出されたパチンコ玉は、流出路452並びに返却通路444を通じて返却口444aに流下するので、返却皿442を手前側に引き出すことで、これら払出された5玉のパチンコ玉を取り出すことができる。

【0401】

そして、払出指示に基づく5玉のパチンコ玉の払出しが完了した段階において計数払出ユニット348'は、制御ユニット328に対して完了通知を出力する。

【0402】

この完了通知の入力に応じて制御ユニット328は、表示部312の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）とから、払出した端数を減算更新する。これにより、計数済玉数および持玉数は、常時、端数を有さない払出単位である度数の倍数とされる。

【0403】

なお、この際、制御ユニット328は、実施例1と同様に、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと、返却した玉数（5玉）とを含む払出完了通知を、管理コンピュータ150に対して送信する。

【0404】

一方、Sp2のステップにおける判定において余りが無い場合、つまり、計数済玉数が25玉で割り切れる場合には、Sp3の端数払出処理を行うことなくSp1のステップに戻る。

【0405】

このように、本実施例では、計数が終了した段階において、遊技者による払出ボタン311の操作に依ることなく、端数を払出すようにしており、このようにすることは、計数によって玉貯留部455には、該計数されたパチンコ玉が貯留されているので、端数を返却するのに必要な玉数が玉貯留部455に存在する確率が非常に高く、よって、端数を払出すのに玉貯留部455のパチンコ玉が不足して、端数の払出し（返却）ができないことが非常に少なくできる。

【0406】

次に、遊技者による払出ボタン311の操作に応じて実施される本実施例の払出処理について、図34に基づき説明する。

【0407】

本実施例3の払出処理は、図34に示すように、実施例1とほぼ同様とされているが、払出単位未満の端数については、上記した計数終了時処理において払出しされているため、これら端数のパチンコ玉の払出しを行う必要がないので、端数を払出すためのステップが削除されたものとされている。

【0408】

本実施例3のカードユニット3'も実施例1と同じく、Sb2～Sb10の待機状態において、遊技者が払出ボタン311を操作した場合には、払出ボタンスイッチ311'からの操作信号が制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb7において払出ボタン311の操作有りと判断してSb25に進み、図34に示す払出処理を実施する。

【0409】

10

20

30

40

50

本実施例 3 の払出処理においては、計数済玉数、つまり、カードテーブルの持玉数が存在するか否かを判定する (S h 1)。

【 0 4 1 0 】

計数済玉数 (持玉数) が存在しない場合には、S h 6 のステップに進んで、表示部 3 1 2 に、例えば、「計数済玉数がありません。」のエラーメッセージを表示して、計数済玉数 (持玉数) が存在しないことを遊技者に報知した後、該払出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

【 0 4 1 1 】

一方、計数済玉数 (持玉数) が存在する場合には S h 2 のステップに進み、計数済玉数が予め設定されている所定の払出設定数である 5 度数に相当する 1 2 5 玉以上であるかを判定する。

10

【 0 4 1 2 】

該判定において 1 2 5 玉以上である場合には、S h 8 に進み、実施例 1 と同じく払出設定数払出処理を実施して、1 2 5 玉のパチンコ玉を対応するパチンコ機 2 から払出させた後、カード回収判定処理を実施して処理を終了する。

【 0 4 1 3 】

一方、S h 2 のステップにおける判定結果が、払出設定数以上でないとの判定結果である場合には、S h 9 ' のステップに進んで、計数済玉数を払出単位で除して払出度数を特定する。

【 0 4 1 4 】

20

そして、S h 1 0 のステップに進み、実施例 1 と同じく、B R Q のカウント回数が払出度数に達するまで繰返すことで、特定した払出度数のパチンコ玉数を対応するパチンコ機 2 から払出させた後、カード回収判定処理を実施して処理を終了する。

【 0 4 1 5 】

以上、本実施例 3 によれば、遊技用装置であるカードユニット 3 において、計数通路 4 4 3 の下流部が、端数のパチンコ玉を遊技者に返却するための返却通路 4 4 4 の上流部よりも低い位置とされ、該計数通路 4 4 3 の下流部に流下してきたパチンコ玉が揚送手段である揚送ユニット 4 5 1 により、返却通路の上流部の高さ位置の上流となる玉貯留部 4 5 5 に揚送されるので、計数通路 4 4 3 の下流部の高い位置を低くできることに伴って、該計数通路 4 4 3 の上流部の高さ位置も低くできるようになるので、投入部 4 4 5 の深さを大きく取れるようになり、よって、投入部 4 4 5 の容量を増やすことができる。

30

【 0 4 1 6 】

また、本実施例 3 によれば、遊技用装置であるカードユニット 3 において、返却通路 4 4 4 の終端に、返却される端数のパチンコ玉を貯留可能な返却皿 4 4 2 を備えているので、不意な払出しがなされた場合でも、払出されたパチンコ玉の落下を防止することができるばかりか、これら払出された端数のパチンコ玉を、遊技者が必要に応じて容易に取り出すことができる。

【 0 4 1 7 】

また、本実施例 3 によれば、遊技用装置であるカードユニット 3 において、投入部 4 4 5 を上部に有する箱体となる 4 4 0 a の前面に返却皿 4 4 2 を備えているので、該返却皿 4 4 2 の操作性を並びに端数のパチンコ玉の取り出し性を向上できる。

40

【 0 4 1 8 】

また、上記した各本実施例によれば、遊技用装置であるカードユニット 3 において、計数したパチンコ玉を貯留する貯留部となる玉貯留部 3 5 5、4 5 5 を有し、該玉貯留部 3 5 5、4 5 5 に貯留されているパチンコ玉から端数のパチンコ玉が払出されるので、これら端数のパチンコ玉を払出しに使用するためのパチンコ玉を供給するための補給路を、カードユニット 3 内に設ける必要がないので、これら補給路を設けることによる装置の複雑化を解消することができる。

【 0 4 1 9 】

以上、本発明の実施例を図面により説明してきたが、具体的な構成はこれら実施例に限

50

られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれる。

【0420】

例えば、前記実施例3では、計数通路443及び流入路450と、返却通路444及び流出路452とは、流下方向がそれぞれ逆向きであるため、互いにぶつかりあうことがないように横方向に並設されていたが、例えば図39に示すように、計数通路443と返却通路444（または流入路450と流出路452）との交差部490を形成するとともに、該交差部490においてパチンコ玉の流路を計数通路443または返却通路444のいずれかに選択的に切替えるようにしてもよい。

【0421】

具体的には、流下方向がそれぞれ異なる計数通路443と返却通路444とを、平面視で上下方向に重なり合うように交差させて配置し、その交差部490に、1本の切替通路492が貫通形成された円盤状の流路切替部材491を回動自在に配置する。

【0422】

そして、例えば計数通路443をパチンコ玉が流下する場合には、図39(a)に示すように、切替通路492の両端開口を上流側及び下流側の計数通路443の開口に合致させることで、計数通路443内をパチンコ玉が流下することになる。このとき、返却通路444の上流側から流下するパチンコ玉は、流路切替部材491の周面により流下が規制されるため、返却通路444内のパチンコ玉が計数通路443に逆流して再度計数されることがない。

【0423】

また、返却通路444をパチンコ玉が流下する場合には、図39(b)に示すように、切替通路492の両端開口を上流側及び下流側の返却通路444の開口に合致させることで、返却通路444内をパチンコ玉が流下することになる。このとき、計数通路443の上流側から流下するパチンコ玉は、流路切替部材491の周面により流下が規制されるため、計数通路443内のパチンコ玉が返却通路444に逆流して返却されてしまうことがない。

【0424】

また、前記実施例では、計数レバー341、441の操作により、開閉シャッタ346、446が開放されることで、投入部345、445のパチンコ玉が計数通路343、443に流入するようになっているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら開閉シャッタ346、446に代えて、投入部345、445の下面を揺動可能に軸支し、通常においては、計数通路343、443への侵入口が露出しないように、計数通路343、443とは反対側に傾くように付勢され、計数レバー341、441の操作によって投入部345、445の下面が、計数通路343、443への侵入口が露出するように計数通路343、443側に傾くようにしても良い。

【0425】

また、前記実施例では、玉貯留部355、455からのパチンコ玉の払出しを、シャッタ357、457にて実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらシャッタ357、457に代えて、スクリューやスプロケットを用いるようにしても良い。

【0426】

また、前記実施例では、計数センサ354、454を、計数払出ユニット348、348'の内方側に設けるようにしており、このようにすることは、ワイヤー等を挿入されることによる不正をされ難くできることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら計数センサ354、454を、計数通路343、443と連結される計数払出ユニット348、348'前方側に設けるようにしても良い。

【0427】

また、前記実施例3の返却皿442を着脱自在としても良い。

【0428】

また、前記実施例では、ビジターカードと会員カードに振分けフラグを記憶する形態を例示したが、このようにすることは、これらビジターカードと会員カードが、利用受付けが完了していない、振分け後に初めて受付けられたカードであって、これら利用受付けが完了していない振分け履歴の振分け履歴テーブルにおける検索が必要であるカードであるか否かを容易に特定できるようになり、これら検索が必要であるカードである場合のみにおいて振分け履歴の検索を実施することで振分け履歴の検索負荷を低減できるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分けフラグをビジターカードや会員カードに記録せずに、カードの受付け通知の受信時において、振分け後に初めて受付けられたカードであるか否かを、受信したカードの受付け通知のカードIDを含み、利用受付けが完了していない振分け履歴が振分け履歴テーブルに存在するか否かを一義的に検索して特定するようにしても良い。

10

【0429】

また、前記実施例では、振分けられた振分け玉数の加算更新を、振分け先のビジターカードや会員カードがカードユニット3に受付けられた時点において実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分け玉数の加算更新を、振分け元の持玉数からの減算と同時に実施するようにしても良く、この場合にあっては、これら振分け玉数の加算更新された振分け先の持玉数の使用を、振分けフラグの記録に該当する利用受付けが完了していない当該ビジターカードや会員カードがカードユニット3の（会員）カードIDを含む振分け履歴が振分け履歴テーブルに登録されているか否かを判定し、該振分け履歴が登録されていることを条件に持玉数の使用を許可するようにすれば良い。

20

【0430】

また、前記実施例では、「半分」キーを選択入力した場合や、「1/4」キーを選択入力した場合において、割り切れない場合の端数は切り捨てるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらを切り上げるようにしたり、四捨五入、或いは五捨六入等としたりするようにしても良い。

【0431】

また、前記実施例では、ビジターカードには持玉数データを記憶する一方、会員カードには、持玉数データや貯玉数データを記憶しないようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、ビジターカードと同じく、これら持玉数データや貯玉数データを会員カードに記録して、会員カードと管理コンピュータ150の双方にて、これら持玉数データや貯玉数データを管理するようにしても良いし、或いは、会員カード或いはビジターカードのみに持玉数データや貯玉数データを記憶して、管理コンピュータ150においては持玉数データや貯玉数データを管理しない構成としても良い。

30

【0432】

また、前記実施例では、計数センサ354によって計数を行うことができない場合には、流路切替え板353'を回動させて流入路350を塞ぐことにより、流入路350に侵入したパチンコ玉が、環流路351と流出路352並びに返却通路344を流下して返却口342に返却されるようにしているが、これら計数できない場合としては、具体的には、計数センサ354の異常（故障）がある場合や、ビジターカードや会員カードが挿入されていない場合等が、例示される。

40

【0433】

また、前記実施例では、遊技媒体を使用して遊技を実行する遊技機が、パチンコ玉を使用して遊技を実行する遊技機2である例について説明したが、これに限らず、該遊技機は、メダルを使用して遊技を実行するスロットマシンであっても良い。

【0434】

また、前記実施例では、カードユニット3の制御ユニット328のRAM328bにおいて、貸玉数u、打込玉数v、付与玉数w、及び返却玉数tを記憶する例について説明したが、これに限らず、これらの玉数に基づいて算出される計算獲得玉数yを記憶するようにして、図23のS104では、該記憶している計算獲得玉数yを読み出すようにしても

50

良く、これによれば、予め計算獲得玉数 y が算出されているので、異常判定処理を迅速に行うことができる。

【0435】

また、前記実施例では、図23のS109に示すように、返却操作を受け付けたことを条件として、カードユニット3の制御ユニット328のRAM328bで記憶している実測獲得玉数 x 、貸玉数 u 、打込玉数 v 、付与玉数 w 、及び返却玉数 t をクリアする例について説明したが、これに限らず、返却操作が有ってもこれらの玉数をクリアせずに累積記憶するようにしても良い。この場合には、S109で、返却操作時のこれらの玉数を記憶するようにして、次の返却操作が行われたときの異常判定処理では、今回の返却操作時のこれら玉数と、前記記憶された前回の返却操作時のこれら玉数との差を、それぞれ今回の遊技の実測獲得玉数 x 、貸玉数 u 、打込玉数 v 、付与玉数 w 、及び返却玉数 t として、S104及びS105の処理で用いるようにしても良い。即ち返却操作を受け付けたことを条件として、実測獲得玉数 x 及び計算獲得玉数 y の算出にて用いられた値を、次の遊技における実測獲得玉数 x 及び計算獲得玉数 y の算出が可能な状態にするものであれば良い。

10

【0436】

また、前記実施例では、図23のS105において、 $z = x - y = x - (u + w - v - t)$ 150が成立するか否かを判定する例について説明したが、これに限らず、各パラメータの順番を並べ替えた式で判定するようにしても良いし、両辺に -1 を掛けた式である $-z = y - x = u + w - v - t - x$ 150の式で判定するようにしても良い。

20

【0437】

また、前記実施例では、図23のS105において、実測獲得玉数 x と計算獲得玉数 y と差分値である判定対象玉数 $z (= x - y)$ が異常判定値以上であるか否かの判定が、カードユニット3にて行われる例について説明したが、これに限らず、実測獲得玉数 x 及び計算獲得玉数 y が例えば管理コンピュータ150に送信されるように構成し、該管理コンピュータ150にて $x - y = z$ が算出されて、判定対象玉数 z が異常判定値以上であるか否かの判定が行なわれるようにしても良く、また実測獲得玉数 x 及び計算獲得玉数 y を算出するための値（貸玉数 u 、打込玉数 v 、付与玉数 w 、返却玉数 t ）が獲得玉管理サーバ8に送信されるように構成し、該獲得玉管理サーバ8にて、 $x - (u + w - v - t) = z$ が算出されて、判定対象玉数 z が異常判定値以上であるか否かの判定が行なわれるようにしても良い。

30

【0438】

また、前記実施例では、玉貸があるごとに貸玉数 u が加算され、玉が遊技領域に打ち込まれるごとに打込玉数 v が加算され、賞球があるごとに付与玉数 w が加算され、返却操作時に、実測獲得玉数 x と計算獲得玉数 $y (= u + w - v)$ との差分値を判定対象玉数 z として算出して、該判定対象玉数 z が異常判定値（本例では150玉）以上であれば異常（玉が他から持ち込まれた）と判断するようにした。

【0439】

しかし、これに限定されず、玉が遊技領域に打ち込まれるごとに打込玉数 v が加算されて、賞球があるごとに付与玉数 w が加算されて、付与玉数 w と打込玉数 v との差が判定対象玉数 z' として計算されて、判定対象玉数 z' がマイナスまたは0の状態での玉貸では、玉貸があるごとに判定対象玉数 z' が0クリアされて、判定対象玉数 z' がプラスの状態での玉貸では、玉貸があるごとに判定対象玉数 z' に貸玉数が加算されて、計数操作がされたときに、実測された獲得玉数 x と判定対象玉数 z' との差が異常判定値（本例では150玉）以上であれば異常（玉が他から持ち込まれた）と判断するようにした。

40

【0440】

ここで、総玉貸数を u として、判定対象玉数 z' がプラスの状態での玉貸数を s とした場合、理論的な実測獲得玉数は、 $x = u - v + w$ である。また、判定対象玉数 $z' = w - v + s$ である。このため、実測獲得玉数 x と判定対象玉数 z' との差は、 $u - v + w - (w - v + s) = u - s$ である。

50

【 0 4 4 1 】

また、他から r 個の玉が持込まれた場合、理論的な実測獲得玉数は、 $x = u - v + w + r$ である。この場合、実測された獲得玉数 x と判定対象玉数 z' との差は、 $u - v + w + r - (w - v + s) = u - s + r$ である。

【 0 4 4 2 】

このため、総玉貸数 u と判定対象玉数 z' がプラスの状態での玉貸数 s との差が大きくなればなるほど、実測された獲得玉数 x と判定対象玉数 z' との差が大きくなってしまい、持込まれた玉数 r の検出に支障をきたしてしまう。このため、前述した実施の形態のようにすることが好ましい。

【 0 4 4 3 】

なお、上述した変形例では、判定対象玉数 z' がマイナスまたは 0 の状態での玉貸では、玉貸があるごとに判定対象玉数 z' が 0 クリアするようにしたが、この場合でも、判定対象玉数 z' がプラスの状態での玉貸と同様、玉貸があるごとに判定対象玉数 z' に貸玉数が加算されるようにしても良い。

【 0 4 4 4 】

また、前記実施例では、図 2 4 に示すように、店員への報知処理 (S 1 0 7) 及びカードの排出を禁止する処理 (S 1 0 8) の両方を行う例について説明したが、これに限らず、該異常処理として、いずれかの処理を行うようにしても良い。また、他の異常処理として、例えばカードに異常があった旨を記録する処理を行うようにしても良い。

【 0 4 4 5 】

また、前記実施例 2 では、図 3 2 に示すように、交換未満払出処理として、払出信号 (B R Q) を出力することにより交換未満端数のうちの払出単位のパチンコ玉をパチンコ機 2 から払い出して遊技者に返却するための単位払出処理 (S 2 2 5' 又は S 2 3 5')、及び / 又は、該交換未満端数のうちの単位未満端数のパチンコ玉を玉貯留部 3 5 5 に貯留されているパチンコ玉から払い出して遊技者に返却するための単位未満払出処理 (S 2 2 7' 又は S 2 3 7') を行う例について説明したが、これに限らず、玉貯留部 3 5 5 を交換未満端数の最大値を貯留可能に構成し、交換未満端数のパチンコ玉の全てを玉貯留部 3 5 5 から払い出すようにしても良く、また遊技機設置島から補給路を介してカードユニット 3 にパチンコ玉が供給されるように構成し、交換未満端数のパチンコ玉の全てを該カードユニット 3 からノズルを介してパチンコ機 2 の打球供給皿 2 3 又は下皿 2 4 に払い出すようにしても良い。

【 0 4 4 6 】

また、前記実施例において、玉貯留部 3 5 5, 4 5 5 に、外部からパチンコ玉を供給できる手段を設けるようにしても良い。例えば遊技機設置島からパチンコ機 2 にパチンコ玉を供給するシュートから分岐して玉貯留部 3 5 5, 4 5 5 に供給したり、パチンコ機 2 から排出されるアウト玉を揚送して玉貯留部 3 5 5, 4 5 5 に供給するようにしても良い。

【 0 4 4 7 】

また、前記実施例では、カードリーダーライタ 3 2 7 にて会員カード又はビジターカードを受付中でない場合に、カード貯留部 3 7 0 に貯留されているビジターカードの 1 枚をカードリーダーライタ 3 2 7 に搬送して、持玉数を該ビジターカードから読み取ったカード ID に対応付けてビジターカードテーブルで記憶する例について説明したが、カード貯留部 3 7 0 に貯留されているビジターカードが無い場合には、その旨を表示して計数を可能にするとともに、計数値は制御ユニット 3 2 8 の R A M 3 2 8 b で記憶しておき、外部からカードリーダーライタ 3 2 7 にビジターカードが挿入されると、前記記憶している計数値を該ビジターカードから読み取ったカード ID に対応付けてビジターカードテーブルで記憶するようにしても良い。

【 0 4 4 8 】

また、前記実施例では、図 2 4 又は図 3 2 の S 2 2 0 で、ビジターカードのプリペイド残額が零であるか否かを判定する例について説明したが、これに限らず、該プリペイド残額が所定額 (例えば 5 0 0 円) 以上であるか否かを判定するようにしても良い。この場合

10

20

30

40

50

において、プリペイド残額が所定額以上であれば、S 2 2 1 又は S 2 2 1 ' に進む一方、プリペイド残額が所定額未満であれば、S 2 3 1 又は S 2 3 1 ' に進み、該 2 3 1 又は S 2 3 1 ' で Y E S と判定されると、該プリペイド残額に相当するパチンコ玉を貸与する貸与処理を行ってから、S 2 3 3 又は S 2 3 4 ' に進むようにすれば良い。これによれば、プリペイド残額が所定額未満であり、かつ計数遊技媒体数が単位未満端数又は交換未満端数である場合には、遊技用記録媒体を返却せずに取り込むので、少ない計数遊技媒体数を特定可能な遊技用記録媒体が返却されて捨てられることによる遊技場の損失を防止できる。

【 0 4 4 9 】

最後に、上記の実施形態で説明した他の発明について説明する。

10

【 0 4 5 0 】

[第 1 の発明]

従来、遊技者が所有する所有遊技媒体を、他の遊技者に振分けることのできる遊技用システムとしては、1の遊技装置にて獲得した遊技媒体の遊技媒体データを、各遊技装置に接続された管理コンピュータに登録することで、他の遊技装置においても、該遊技媒体データを共有して使用できるようにするものがある（例えば先行技術文献1：特開2004-141524号公報）。

【 0 4 5 1 】

しかしながら、先行技術文献1にあっては、他の遊技装置と遊技媒体データを共有する場合には、共有する遊技者の氏名等を入力しなければならず、面倒であるばかりか、同姓同名の会員が存在する場合には、正しく共有することができなくなってしまうという問題があるとともに、これら遊技媒体データを共有するには、双方の遊技者が、共に、予め遊技場に会員登録することで会員カードの発行を受けている会員であることが必要であり、会員カードを所持しない一般の遊技者は、遊技媒体データを共有を受けることも、遊技媒体データの共有を他者とすることもできず、これら一般遊技者の共有したいという要望に応えることができないという問題もあった。

20

【 0 4 5 2 】

そこで、同一の遊技媒体データによる所有遊技媒体数を複数の遊技者にて使用できるようにする振分けを、一般の遊技者であっても、面倒な入力を行うことなく（簡便）、且つ間違いなく（正確）実施することのできる遊技用システムを提供することを目的として、以下の第1の発明を構成した。

30

【 0 4 5 3 】

上記課題を解決するために、第1の発明（その1）の遊技用システムは、

遊技者に対して発行される遊技用記録媒体（ビジターカード、会員カード）を受付けて、該受付けた遊技用記録媒体に記録されている当該遊技者の所有する所有遊技媒体数（持玉数）を特定可能な所有遊技媒体数特定情報（カードID、持玉数データ（ビジターカードのみ））の読み出しを行う記録媒体読み出し手段（カードリーダーライタ327）と、該記録媒体読み出し手段により読み出した所有遊技媒体数特定情報を送信する所有遊技媒体数特定情報送信手段（通信部334、制御ユニット328；カード受け付け処理）と、該所有遊技媒体数特定情報から特定される所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理（払出処理）を行う使用処理手段（制御ユニット328）と、を備え、遊技機（パチンコ機2）に1対1に対応して設けられた遊技用装置（カードユニット3）と、

40

前記遊技用記録媒体である振分け元遊技用記録媒体と振分け先遊技用記録媒体とを受付けて、該受付けた振分け元遊技用記録媒体と振分け先遊技用記録媒体に記録されている所有遊技媒体数特定情報（カードID、持玉数データ（ビジターカードのみ））の読み出しを行う記録媒体処理手段（第1カードリーダーライタ508、第2カードリーダーライタ509）と、前記振分け元遊技用記録媒体から該記録媒体処理手段により読み出された所有遊技媒体数特定情報から特定される所有遊技媒体数（持玉数）の少なくとも一部である振分け遊技媒体数を他の遊技者の所有遊技媒体数（持玉数）として振分けするための振分け操作を受付ける振分操作受け付け手段（振分け玉数受け付け画面における「決定」の選択入力を受

50

付ける透明タッチパネル 502) と、該振分け操作の受付けに応じて、前記振分け元遊技用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け元所有遊技媒体数特定情報(カード ID (振分け元)) と、前記振分け先遊技用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け先所有遊技媒体数特定情報(カード ID (振分け先)) とを少なくとも含む振分け要求を送信する振分け要求送信手段(Sf16、Sf17、Sf19、Sf20の各振分け処理を実施する制御部510) と、を備える振分け装置(振分け装置5) と、

前記遊技用装置並びに前記振分け装置とデータ通信可能に接続され、各所有遊技媒体数特定情報(カード ID) に対応付けて所有遊技媒体数(持玉数)を管理する管理装置(管理コンピュータ150) と、

から成る遊技用システムであって、

前記管理装置は、

前記振分け要求送信手段から送信される振分け要求の受信に応じて、該受信した振分け要求に含まれる振分け元所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数から前記振分け遊技媒体数(振分け玉数)を減算更新する処理(振分け要求に含まれるカード ID (振分け元) に対応付けて会員貯蓄管理テーブルまたはビジター貯蓄管理テーブルに記憶委されている持玉数から振分け玉数を減算する処理) と、該受信した振分け要求に含まれる振分け先所有遊技媒体数特定情報を振分け先遊技用記録媒体の所有遊技媒体数特定情報として登録する処理(振分け先カードとして振分け要求に含まれるカード ID (振分け先) を含む振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録する処理) と、該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数に前記振分け遊技媒体数を加算更新するための処理(カード受け通知の受信において実施する図26の処理) とを含む振分け処理を行う振分け処理手段(CPU152) と、

前記所有遊技媒体数特定情報送信手段から送信されてくる所有遊技媒体数特定情報が、前記振分け先遊技用記録媒体として登録されている振分け先所有遊技媒体数特定情報に一致するか否かを判定(カード受け通知の受信時における図26の処理において、受信したカード受け通知に含まれるカード ID と、利用受けに「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカード ID とが一致するか否かを判定) し、一致することを条件に該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数の使用を許諾する使用許諾(受け付け処理完了通知)を返信する使用許諾手段と、を備え、

前記遊技用装置の使用処理手段(制御ユニット328) は、前記使用許諾を受信したことを条件に、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数(持玉数(計数済玉数))を遊技に使用するための処理を行うことを特徴としている。

この特徴によれば、同一の遊技媒体データによる所有遊技媒体数を複数の遊技者に使用できるようにする振分けが、一般の遊技者が所有できる遊技用記録媒体を受け付けることにより実施されるので、会員用記録媒体(会員カード)を所持していない一般の遊技者であっても、これらの振分けを受けることができるばかりか、これらの振分けを簡便且つ正確に実施することができる。

【0454】

また第1の発明(その2)の遊技用システムは、

遊技者に対して発行される遊技用記録媒体(ビジターカード、会員カード)を受け付けて、該受け付けた遊技用記録媒体に記録されている当該遊技者の所有する所有遊技媒体数(持玉数)を特定可能な所有遊技媒体数特定情報(カード ID、持玉数データ(ビジターカードのみ))の読み出しを行う記録媒体読出し手段(カードリーダー327) と、該記録媒体読出し手段により読み出した所有遊技媒体数特定情報を送信する所有遊技媒体数特定情報送信手段(通信部334、制御ユニット328; カード受け処理) と、該所有遊技媒体数特定情報から特定される所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理(払出処理)を行う使用処理手段(制御ユニット328) と、を備え、遊技機(パチンコ機2)に1対1に対応して設けられた遊技用装置(カードユニット3) と、

前記遊技用記録媒体である振分け元遊技用記録媒体を受付けて、該受付けた振分け元遊技用記録媒体に記録されている所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ、持玉数データ（ビジターカードのみ））の少なくとも読み出しを行うとともに、前記遊技用記録媒体を貯留するための遊技用記録媒体貯留部（カード貯留部）を有し、該遊技用記録媒体貯留部に貯留している遊技用記録媒体（ビジターカード）を振分け先遊技用記録媒体として発行する記録媒体処理手段（第２カードリーダーライタ５０９）と、該記録媒体処理手段により読み出された所有遊技媒体数特定情報から特定される所有遊技媒体数（持玉数）の少なくとも一部である振分け遊技媒体数を他の遊技者の所有遊技媒体数（持玉数）として振分けするための振分け操作を受付ける振分操作受け手段（振分け玉数受け画面における「決定」の選択入力を受付ける透明タッチパネル５０２）と、該振分け操作の受け付けに応じて、前記振分け元遊技用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け元所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ（振分け元））と、発行する振分け先遊技用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け先所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ（振分け先））とを少なくとも含む振分け要求を送信する振分け要求送信手段（Ｓｆ１１、Ｓｆ１２の各発行振分け処理を実施する制御部５１０）と、を備える振分け装置（振分け装置５）と、

10

前記遊技用装置並びに前記振分け装置とデータ通信可能に接続され、各所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ）に対応付けて所有遊技媒体数（持玉数）を管理する管理装置（管理コンピュータ１５０）と、

から成る遊技用システムであって、

20

前記管理装置は、

前記振分け要求送信手段から送信される振分け要求の受信に応じて、該受信した振分け要求に含まれる振分け元所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数から前記振分け遊技媒体数（振分け玉数）を減算更新する処理（振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルまたはビジター会員貯蓄管理テーブルに記憶委されている持玉数から振分け玉数を減算する処理）と、該受信した振分け要求に含まれる振分け先所有遊技媒体数特定情報を振分け先遊技用記録媒体の所有遊技媒体数特定情報として登録する処理（振分け先カードとして振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を含む振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録する処理）と、該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数に前記振分け遊技媒体数を加算更新するための処理（カード受け付け通知の受信において実施する図２６の処理）とを含む振分け処理を行う振分け処理手段（ＣＰＵ１５２）と、

30

前記所有遊技媒体数特定情報送信手段から送信されてくる所有遊技媒体数特定情報が、前記振分け先遊技用記録媒体として登録されている振分け先所有遊技媒体数特定情報に一致するか否かを判定（カード受け付け通知の受信時における図２６の処理において、受信したカード受け付け通知に含まれるカードＩＤと、利用受け付けに「０」が登録されている振分け履歴に含まれるカードＩＤとが一致するか否かを判定）し、一致することを条件に該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数の使用を許諾する使用許諾（受け付け処理完了通知）を返信する使用許諾手段と、を備え、

40

前記遊技用装置の使用処理手段（制御ユニット３２８）は、前記使用許諾を受信したことを条件に、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数（持玉数（計数済玉数））を遊技に使用するための処理を行うことを特徴としている。

この特徴によれば、同一の遊技媒体データによる所有遊技媒体数を複数の遊技者にて使用できるようにする振分けが、振分け先遊技用記録媒体を新たに発行することにより実施されるので、会員用記録媒体（会員カード）を所持していない一般の遊技者であっても、これらの振分けを受けることができるばかりか、これらの振分けを簡便且つ正確に実施することができる。

【０４５５】

また第１の発明（その３）の遊技用システムは、

50

遊技者に対して発行される遊技用記録媒体（ビジターカード、会員カード）を受付けて、該受付けた遊技用記録媒体に記録されている当該遊技者の所有する所有遊技媒体数（持玉数）を特定可能な所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ、持玉数データ（ビジターカードのみ））の読み出しを行う記録媒体読み出し手段（カードリーダーライタ３２７）と、該記録媒体読み出し手段により読み出した所有遊技媒体数特定情報を送信する所有遊技媒体数特定情報送信手段（通信部３３４、制御ユニット３２８；カード受付け処理）と、該所有遊技媒体数特定情報から特定される所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理（払出処理）を行う使用処理手段（制御ユニット３２８）と、遊技媒体（パチンコ玉）を計数するための計数手段（計数払出ユニット３４８）と、を備え、遊技機（パチンコ機２）に１対１に対応して設けられた遊技用装置（カードユニット３）と、

10

前記遊技用装置とデータ通信可能に接続され、各所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ）に対応付けて所有遊技媒体数（持玉数（計数済玉数））を管理する管理装置（管理コンピュータ１５０）と、

から成る遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

遊技者から、前記計数手段にて計数された計数遊技媒体数（計数済玉数）に基づく振分け元所有遊技媒体数（持玉数）の少なくとも一部である振分け遊技媒体数を他の遊技者の所有遊技媒体数（持玉数）として振分けするための振分け操作を受付ける振分操作受付手段（メインメニューの「振分け」の選択入力を受付ける透明タッチパネル３１４）と、

20

該振分け操作の受付に応じて、前記振分け元所有遊技媒体数を特定可能な振分け元所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ（振分け元））と、振分け先の遊技者に発行された振分け先遊技用記録媒体から前記記録媒体読み出し手段により読み出した振分け先所有遊技媒体数特定情報（カードＩＤ（振分け先））とを少なくとも含む振分け要求を送信する振分け要求送信手段（Ｓｆ１６、Ｓｆ１７、Ｓｆ１９、Ｓｆ２０の各振分け処理を実施する制御ユニット３２８）と、を備え、

前記管理装置は、

前記振分け要求送信手段から送信される振分け要求の受信に応じて、受信した振分け要求に含まれる振分け元所有遊技媒体数特定情報から特定される振分け元所有遊技媒体数から前記振分け遊技媒体数（振分け玉数）を減算更新するための処理（振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルまたはビジターで会員貯蓄管理テーブルに記憶委されている持玉数から振分け玉数を減算する処理）と、該受信した振分け要求に含まれる振分け先所有遊技媒体数特定情報を振分け先遊技用記録媒体の所有遊技媒体数特定情報として登録する処理（振分け先カードとして振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を含む振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録する処理）と、該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数に前記振分け遊技媒体数を加算更新するための処理（カード受付け通知の受信において実施する図２６の処理）とを含む振分け処理を行う振分け処理手段（ＣＰＵ１５２）と、

30

前記所有遊技媒体数特定情報送信手段から送信されてくる所有遊技媒体数特定情報が、前記振分け先遊技用記録媒体として登録されている振分け先所有遊技媒体数特定情報に一致するか否かを判定（カード受付け通知の受信時における図２６の処理において、受信したカード受付け通知に含まれるカードＩＤと、利用受付けに「０」が登録されている振分け履歴に含まれるカードＩＤとが一致するか否かを判定）し、一致することを条件に該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数の使用を許諾する使用許諾（受付け処理完了通知）を返信する使用許諾手段と、を備え、

40

前記使用処理手段は、前記使用許諾を受信したことを条件に、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数（持玉数（計数済玉数））を遊技に使用するための処理を行うことを特徴としている。

この特徴によれば、同一の遊技媒体データによる所有遊技媒体数を複数の遊技者にて使用できるようにする振分けが、一般の遊技者が所有できる遊技用記録媒体を受付けること

50

により実施されるので、会員カードを所持していない一般の遊技者であっても、これらの振分けを受けることができるばかりか、これの振分けを簡便且つ正確に実施することができる。

【 0 4 5 6 】

また第 1 の発明（その 4）の遊技用システムは、

遊技者に対して発行される遊技用記録媒体（ビジターカード、会員カード）を受付けて、該受付けた遊技用記録媒体に記録されている当該遊技者の所有する所有遊技媒体数（持玉数）を特定可能な所有遊技媒体数特定情報（カード ID、持玉数データ（ビジターカードのみ））の読み出しを行うとともに、前記遊技用記録媒体を貯留するための遊技用記録媒体貯留部を有し、該遊技用記録媒体貯留部に貯留している遊技用記録媒体を振分け先遊技用記録媒体として発行する記録媒体処理手段（カードリーダライタ 3 2 7）と、該記録媒体処理手段により読み出した所有遊技媒体数特定情報を送信する所有遊技媒体数特定情報送信手段（通信部 3 3 4、制御ユニット 3 2 8；カード受付け処理）と、該所有遊技媒体数特定情報から特定される所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理（払出処理）を行う使用処理手段（制御ユニット 3 2 8）と、遊技媒体（パチンコ玉）を計数するための計数手段（計数払出ユニット 3 4 8）と、を備え、遊技機（パチンコ機 2）に 1 対 1 に対応して設けられた遊技用装置（カードユニット 3）と、

前記遊技用装置とデータ通信可能に接続され、各所有遊技媒体数特定情報（カード ID）に対応付けて所有遊技媒体数（持玉数（計数済玉数））を管理する管理装置（管理コンピュータ 1 5 0）と、

から成る遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

遊技者から、前記計数手段にて計数された計数遊技媒体数（計数済玉数）に基づく振分け元所有遊技媒体数（持玉数）の少なくとも一部である振分け遊技媒体数を他の遊技者の所有遊技媒体数（持玉数）として振分けするための振分け操作を受付ける振分操作受付手段（メインメニューの「振分け」の選択入力を受付ける透明タッチパネル 3 1 4）と、

該振分け操作の受付に応じて、前記振分け元所有遊技媒体数を特定可能な振分け元所有遊技媒体数特定情報（カード ID（振分け元））と、発行する振分け先遊技用記録媒体から前記記録媒体処理手段により読み出した振分け先所有遊技媒体数特定情報（カード ID（振分け先））とを少なくとも含む振分け要求を送信する振分け要求送信手段（S f 1 1、S f 1 2 の各発行振分け処理を実施する制御ユニット 3 2 8）と、を備え、

前記管理装置は、

前記振分け要求送信手段から送信される振分け要求の受信に応じて、受信した振分け要求に含まれる振分け元の所有遊技媒体数特定情報から特定される振分け元の所有遊技媒体数から前記振分け遊技媒体数（振分け玉数）を減算更新するための処理（振分け要求に含まれるカード ID（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルまたはビジターで会員貯蓄管理テーブルに記憶委されている持玉数から振分け玉数を減算する処理）と、該受信した振分け要求に含まれる振分け先所有遊技媒体数特定情報を振分け先遊技用記録媒体の所有遊技媒体数特定情報として登録する処理（振分け先カードとして振分け要求に含まれるカード ID（振分け先）を含む振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録する処理）と、該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数に前記振分け遊技媒体数を加算更新するための処理（カード受付け通知の受信において実施する図 2 6 の処理）とを含む振分け処理を行う振分け処理手段（C P U 1 5 2）と、

前記所有遊技媒体数特定情報送信手段から送信されてくる所有遊技媒体数特定情報が、前記振分け先遊技用記録媒体として登録されている振分け先所有遊技媒体数特定情報に一致するか否かを判定（カード受付け通知の受信時における図 2 6 の処理において、受信したカード受付け通知に含まれるカード ID と、利用受付に「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカード ID とが一致するか否かを判定）し、一致することを条件に該振分け先所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数の使用を許諾する使用許諾（受付け処理完了通知）を返信す

10

20

30

40

50

る使用許諾手段と、を備え、

前記使用処理手段は、前記使用許諾を受信したことを条件に、前記振分け遊技媒体数が加算更新された所有遊技媒体数（持玉数（計数済玉数））を遊技に使用するための処理を行うことを特徴としている。

この特徴によれば、同一の遊技媒体データによる所有遊技媒体数を複数の遊技者にて使用できるようにする振分けが、振分け先遊技用記録媒体を新たに発行することにより実施されるので、会員カードを所持していない一般の遊技者であっても、これらの振分けを受けることができるばかりか、これの振分けを簡便且つ正確に実施することができる。

【 0 4 5 7 】

また第 1 の発明（その 5）の遊技用システムは、前記その 1 ～ 4 のいずれかに記載の遊技用システムであって、

前記管理装置（管理コンピュータ 1 5 0）は、前記振分け要求の受信に応じて、予め定められた所定期間（1 日）において、該受信した振分け要求に含まれる振分け元所有遊技媒体数特定情報（カード ID（振分け元））から特定される振分け元所有遊技媒体数から振分けられた振分け遊技媒体数の合計（振分け総数（振分け元））と、該振分け要求の受信に応じて振分けられる振分け遊技媒体数（振分け玉数）との総数が、予め定められた上限数（制限値）を超過しているか否かを判定する超過判定手段（振分け玉数を加算した振分け総数（振分け元）が制限値を超えているか否かを判定する CPU 1 5 2）を備え、

前記振分け処理手段は、前記超過判定手段による判定結果が超過していないとの判定結果であることを条件に、前記振分け処理を実施することを特徴としている。

この特徴によれば、所定期間において振分けされる振分け遊技媒体数を制限することができるので、過度に振分けが実施されることによる遊技場の不利益、例えば売上の減少等の発生を回避することができる。

【 0 4 5 8 】

また第 1 の発明（その 6）の遊技用システムは、前記その 1 ～ 5 のいずれかに記載の遊技用システムであって、

前記遊技用装置（カードユニット 3）には、各遊技用装置を個々に識別可能な装置識別情報（装置 ID）が記憶されており、前記振分け要求送信手段は、当該遊技用装置の装置識別情報を含む振分け要求を送信し、

前記管理装置（管理コンピュータ 1 5 0）は、受信した振分け要求に含まれる装置識別情報を含む振分け履歴を記憶する振分け履歴記憶手段（記憶装置 1 5 5；振分け履歴テーブル）と、前記遊技機の遊技情報を管理する遊技情報管理装置（ホールコンピュータ 1 4 0）からの振分け履歴要求の受信に応じて、前記振分け履歴記憶手段に記憶されている振分け履歴を返信する振分け履歴送信手段（未送信の振分け履歴を特定した送信する処理を行う CPU 1 5 2）とを備えることを特徴としている。

この特徴によれば、遊技情報管理装置において振分け履歴を確認することができる。

【 0 4 5 9 】

さらに第 1 の発明（その 7）の遊技用システムは、前記その 1 ～ 6 のいずれかに記載の遊技用システムであって、

前記振分操作受付け手段（透明タッチパネル 3 1 4、5 0 2）は、振分け遊技媒体数（振分け玉数）を遊技者から受付け、

前記振分け要求送信手段は、前記振分操作受付け手段にて受付けた振分け遊技媒体数を含む振分け要求を送信し、

前記振分け処理手段は、受信した振分け要求に含まれる振分け元所有遊技媒体数特定情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数（持玉数）が、受信した振分け要求に含まれる振分け遊技媒体数以上であることを条件に、前記振分け処理を実施することを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者は、所望する遊技媒体数を振分けることができる。

【 0 4 6 0 】

[第 2 の発明]

10

20

30

40

50

近年、遊技者が獲得した遊技球を計数機に運ぶ手間を低減するとともに、遊技場において必要とされる遊技球数を削減すること等を目的として、各遊技機毎に計数装置を設けて獲得された遊技球数を計数して回収するとともに、該計数した遊技球を遊技者の操作により、必要に応じて遊技者に返却するために払出す遊技用装置が実用化されている（例えば先行技術文献 2 - 1：特開 2 0 0 1 - 1 1 3 0 1 2 号公報，先行技術文献 2 - 2：特開 2 0 0 4 - 1 4 1 5 2 4 号公報）。

【 0 4 6 1 】

また、対応する遊技機に遊技球を払出す遊技用装置としては、遊技島の上部に設けられたパチンコ玉搬送機構から供給される遊技球が流下する放出ダクト 2 2（補給路）を装置内部に有し、該放出ダクト 2 2（補給路）に供給された遊技球を計数して、装置前面に設けられた供給ノズルを通じて対応する遊技機の上皿に供給するものがある（例えば先行技術文献 3：特開 2 0 0 0 - 3 1 7 1 2 6 号公報）。

【 0 4 6 2 】

計数した遊技球を遊技者に返却するために払出す遊技用装置は、対応する遊技機が周知のクレジットリーダ（C R）パチンコ機のように、払出単位として予め定められた複数個、例えば 2 5 個の遊技球を払出す機能を有する遊技機である場合には、これら対応する遊技機の払出し機能を利用することで、払出単位の整数倍に対応する遊技球を払出すことはできるものの、これら払出単位に満たない端数の遊技球を払出すことができないため、上記した先行技術文献 1 に示されるように、対応する遊技機に端数の遊技球を払出すための供給ノズルを設け、遊技島上部から供給される遊技球から端数の遊技球を計数して該供給ノズルに供給するための補給路を装置内部に設けなければならない、装置が複雑化してしまうという問題があった。

【 0 4 6 3 】

そこで、遊技島上部から供給される遊技球から端数の遊技球を計数して供給ノズルに供給するための補給路を設けることによる装置の複雑化を解消することのできる遊技用装置を提供することを目的として、以下の第 2 の発明を構成した。

【 0 4 6 4 】

上記課題を解決するために、第 2 の発明（その 1）の遊技用装置は、

外部からの払出信号（台端末貸出要求完了確認信号（B R Q））の入力により払出単位として予め定められた複数個（2 5 玉）の遊技媒体（パチンコ玉）を遊技者に対して払出す遊技機（パチンコ機 2）に 1 対 1 に対応して設けられ、前記払出信号を出力することにより前記払出単位の遊技媒体の貸与に対応する遊技機に行わせるとともに、遊技媒体を計数し、該計数された遊技媒体数（計数済玉数）の範囲内の遊技媒体を遊技者に返却するために払出す遊技用装置（カードユニット 3）であって、

前記遊技機において払出された遊技媒体を貯留する受皿（下皿 2 4）の下方に配置され、該受皿から排出される遊技媒体が投入される投入部（投入部 3 4 5）と、

遊技媒体を計数する計数手段（計数センサ 3 5 4）と、

前記投入部に投入された遊技媒体を前記計数手段に誘導する計数通路（計数通路 3 4 3）と、

前記計数手段にて計数された遊技媒体を貯留する貯留部（玉貯留部 3 5 5）と、

前記計数手段が計数した計数遊技媒体数を記憶する計数遊技媒体数記憶手段（R A M 3 2 8 b；カードテーブル）と、

遊技者より前記計数遊技媒体数から払出すための計数払出操作を受付ける計数払出操作部（払出ボタン 3 1 1）と、

前記計数遊技媒体数記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数が前記払出単位以上であるときに、前記計数払出操作の受付に応じて前記払出信号を出力する単位払出処理手段（制御ユニット 3 2 8；払出処理、S h 8、S h 1 0）と、

前記計数遊技媒体数記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数が前記払出単位未満の端数であるときに、該端数の遊技媒体を前記貯留部に貯留されている遊技媒体から払出す端数払出処理手段（計数払出ユニット 3 4 8）と、

10

20

30

40

50

前記単位払出処理手段および前記端数払出処理手段により払出された遊技媒体数を、前記計数遊技媒体数記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数から減算更新する減算更新手段（制御ユニット３２８）と、を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、計数した遊技媒体を貯留する貯留部を有し、該貯留部に貯留されている遊技媒体から端数の遊技媒体が払出されるので、補給路を設けることによる装置の複雑化を解消することができる。

【０４６５】

また第２の発明（その２）の遊技用装置は、前記その１の遊技用装置であって、

前記端数払出処理手段（制御ユニット３２８；払出処理、Ｓｈ５）は、前記計数払出操作の受付に応じて端数の遊技媒体の払出しを実施することを特徴としている。

この特徴によれば、端数の遊技媒体を払出すことも、端数の遊技媒体を残すことも、計数払出操作の実施／非実施により、遊技者が選択できる。

【０４６６】

また第２の発明（その３）の遊技用装置は、

外部からの払出信号（台端末貸出要求完了確認信号（ＢＲＱ））の入力により払出単位として予め定められた複数個（２５玉）の遊技媒体（パチンコ玉）を遊技者に対して払出す遊技機（パチンコ機２）に１対１に対応して設けられ、前記払出信号を出力することにより前記払出単位の遊技媒体の貸与に対応する遊技機に行わせるとともに、遊技媒体を計数し、該計数された遊技媒体数（計数済玉数）の範囲内の遊技媒体を遊技者に返却するために払出す遊技用装置（カードユニット３）であって、

前記遊技機において払出された遊技媒体を貯留する受皿（下皿２４）の下方に配置され、該受皿から排出される遊技媒体が投入される投入部（投入部４４５）と、

遊技媒体を計数する計数手段（計数センサ４５４）と、

前記投入部に投入された遊技媒体を前記計数手段に誘導する計数通路（計数通路４４３）と、

前記計数手段にて計数された遊技媒体を貯留する貯留部（玉貯留部４５５）と、

前記計数手段が計数した計数遊技媒体数を記憶する計数遊技媒体数記憶手段（ＲＡＭ３２８ｂ；カードテーブル）と、

遊技者より前記計数遊技媒体数から払出するための計数払出操作を受付ける計数払出操作部（払出ボタン３１１）と、

前記計数遊技媒体数記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数が該計数遊技媒体数を前記払出単位にて除することによる剰余である該払出単位未満の端数を有するときに、該端数の遊技媒体を、前記計数払出操作の受付にかかわることなく前記貯留部に貯留されている遊技媒体から払出す端数払出処理手段（計数払出ユニット３４８'）と、

前記計数遊技媒体数記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数が前記払出単位以上であるときに、前記計数払出操作の受付に応じて前記払出信号を出力する単位払出処理手段（制御ユニット３２８；払出処理、Ｓｈ８、Ｓｈ１０）と、

前記端数払出処理手段および単位払出処理手段により払出された遊技媒体数を、前記計数遊技媒体数記憶手段に記憶されている計数遊技媒体数から減算更新する減算更新手段（制御ユニット３２８）と、を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、計数した遊技媒体を貯留する貯留部を有し、該貯留部に貯留されている遊技媒体から端数の遊技媒体が払出されるので、補給路を設けることによる装置の複雑化を解消することができる。

【０４６７】

また第２の発明（その４）の遊技用装置は、前記その１～３のいずれかの遊技用装置であって、

前記端数払出処理手段（計数払出ユニット３４８）は、端数の遊技媒体を遊技者に返却するための返却通路（返却通路３４４）を有し、該返却通路が、前記計数通路（計数通路３４３）の下方位置に設けられていることを特徴としている。

この特徴によれば、返却通路が計数通路の下方に位置することで、これら返却通路が遊

10

20

30

40

50

技の障害や邪魔となることを回避できる。

【0468】

また第2の発明(その5)の遊技用装置は、前記その1~3のいずれかの遊技用装置であって、

前記端数払出処理手段(計数払出ユニット348')は、端数の遊技媒体を遊技者に返却するための返却通路(返却通路444)を有し、該返却通路の上流部が前記計数通路(計数通路443)の下流部よりも高い位置とされ、該計数通路の下流部に流下してきた遊技媒体を少なくとも該返却通路の上流部の高さ位置に揚送する揚送手段(揚送ユニット451)を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、計数通路の下流部の高い位置を低くできることに伴って、該計数通路の上流部の高さ位置も低くできるようになるので、投入部の深さを大きく取れるようになるため、投入部の容量を増やすことができる。

【0469】

また第2の発明(その6)の遊技用装置は、前記その1~5のいずれかの遊技用装置であって、

前記返却通路(返却通路344)の終端における返却口(返却口342)を遊技者が開閉可能な開閉部材(開閉シャッタ342')を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、不意な払出しがなされた場合でも、払出された遊技媒体の返却口からの落下を防止することができる。

【0470】

また第2の発明(その7)の遊技用装置は、前記その6の遊技用装置であって、

前記投入部(投入部345)を上部に有する箱体(終端ボックス340a)を備え、該箱体の前面に前記開閉部材(開閉シャッタ342')を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、開閉部材が箱体の前面にあるので、該開閉部材の操作性を向上できる。

【0471】

また第2の発明(その8)の遊技用装置は、前記その1~5のいずれかの遊技用装置であって、

前記返却通路(返却通路444)の終端に、返却される端数の遊技媒体を貯留可能な返却皿(返却皿442)を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、不意な払出しがなされた場合でも、払出された遊技媒体の落下を防止することができるばかりか、これら払出された端数の遊技媒体を、遊技者が必要に応じて容易に取り出すことができる。

【0472】

さらに第2の発明(その9)の遊技用装置は、前記その8の遊技用装置であって、

前記投入部(投入部445)を上部に有する箱体(終端ボックス440a)を備え、該箱体の前面に前記返却皿(返却皿442)を備えることを特徴としている。

この特徴によれば、返却皿が箱体の前面にあるので、該返却皿の操作性並びに端数の遊技媒体の取り出し性を向上できる。

【符号の説明】

【0473】

2...パチンコ機

3...カードユニット

24...下皿

311...払出ボタン

327...カードリーダライタ

328...制御ユニット

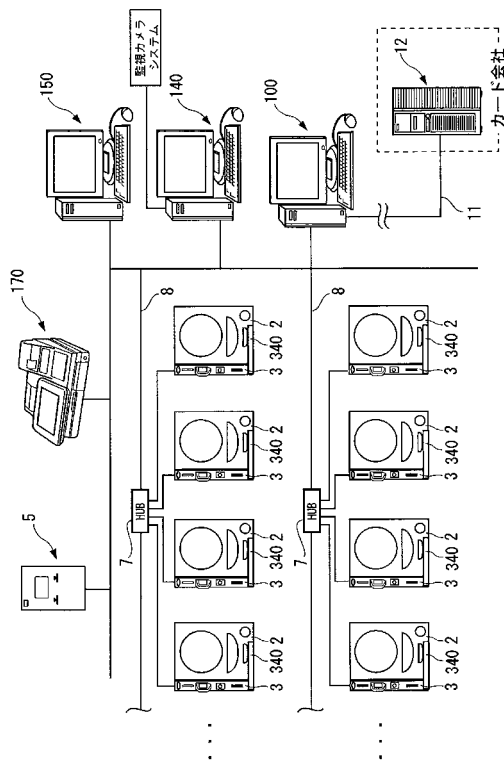
328b...RAM

343...計数通路

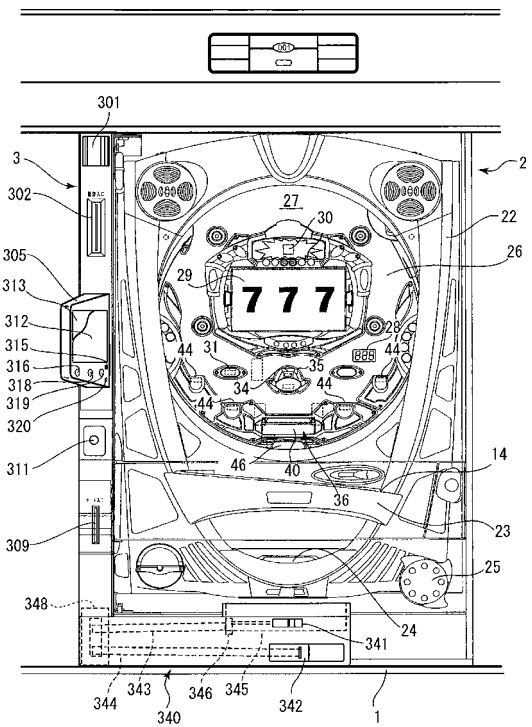
345...投入部

- 3 4 8 ... 計数払出ユニット
 3 5 4 ... 計数センサ
 3 5 5 ... 玉貯留部

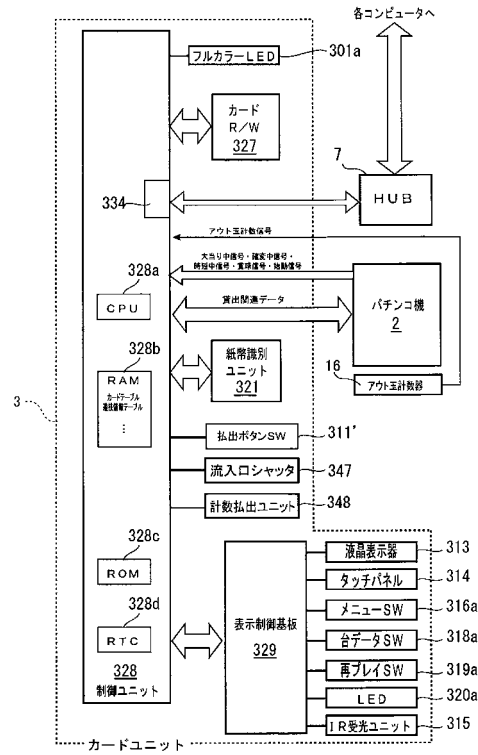
【図 1】



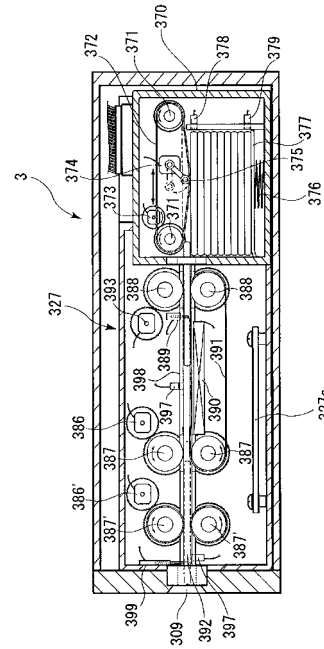
【図 2】



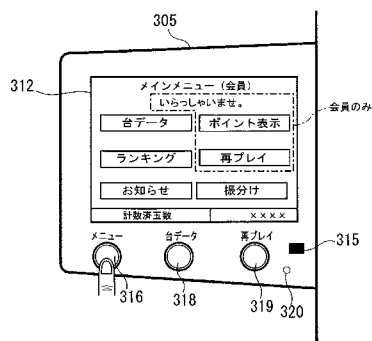
【図 3】



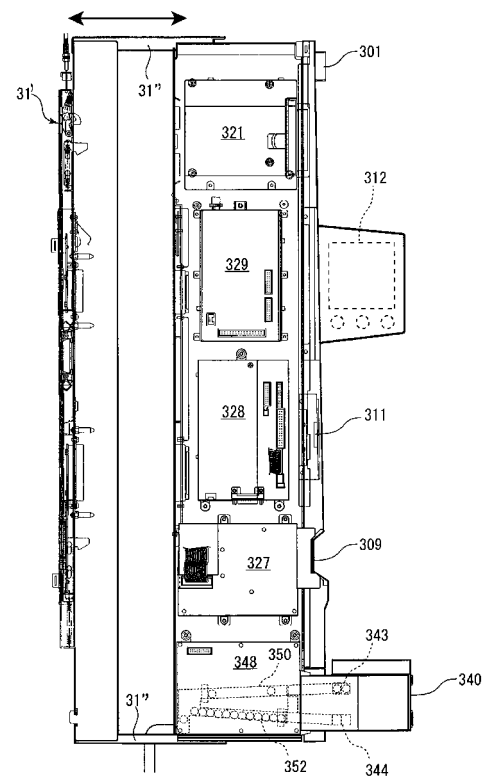
【図 4】



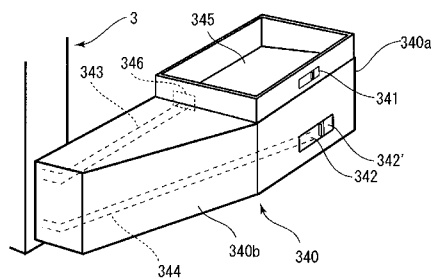
【図 5】



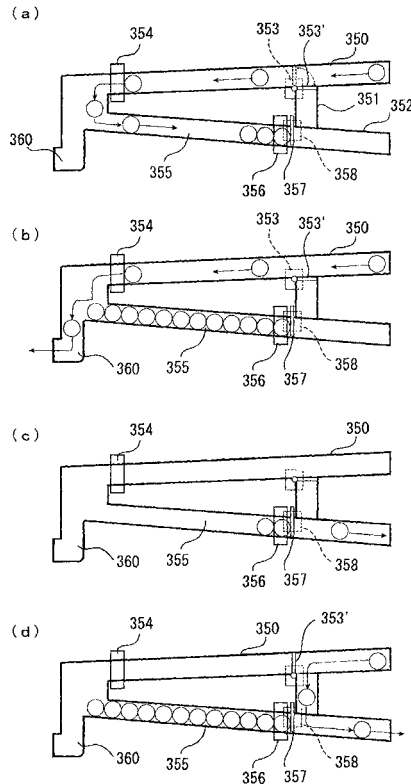
【図 7】



【図 6】



【図 8】



【図 9】

(a) カードテーブル

カードID	会員ID	暗証番号	プレイド回数	持玉数	貯玉数	未回収心数
0000-000000000000	K-00000000	000000	000000	000000	000000	000000

(b) 遊技情報テーブル

情報項目	本日データ	前日データ	前々日データ
遊技状態(現在)	通常(低確中)	—	—
遊技状態データ(現在)	000	—	—
遊技状態データ(前日)	100	—	—
総打込玉数	*****	*****	*****
総賞球数	*****	*****	*****
差玉数	*****	*****	*****
総始動回数	*****	*****	*****
当り後始動回数	**	**	**
大当り回数	**	**	**
確変回数	**	**	**
時短回数	**	**	**
連荘回数	*	—	—

(c) 会員遊技情報

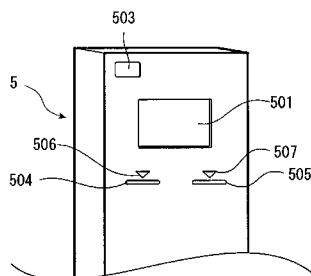
開始時間	終了時間	遊技時間	始動回数	大当り回数	確変回数	獲得玉数	支出金額	再プレイ玉数	使用持玉数
00:00-00:00	00:00-00:00	00:00-00:00	0000	0	0	000000	000000	000000	—

【図 10】

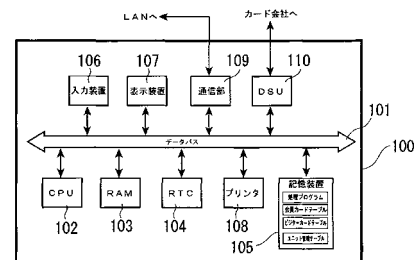
送信データ列

データヘッダ	装置ID	台番号	本日データ	EOC
--------	------	-----	-------	-----

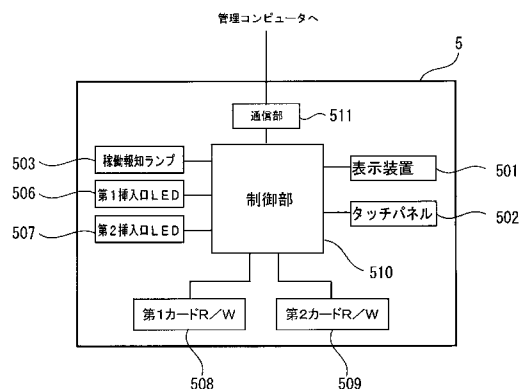
【図 11】



【図 13】



【図 12】



【図 14】

(a) 会員カードテーブル

カードID	会員ID	プレイド回数	使用不可
KC-XXXXXXX1	K-00001	*****	0
KC-XXXXXXX2	K-00002	*****	0
:	:	:	:
:	:	:	:

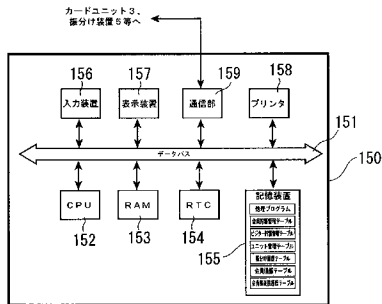
使用不可データ: 「1」は使用不可、「0」は使用可

(b) ビジターカードテーブル

カードID	状況	最新発行日時	プレイド回数	使用不可
VC-00000001	利用中	01/01/14:14:14	10000	0
VC-00000002	利用中	01/01/14:14:14	3000	0
:	:	:	:	:
VC-000000XX	利用中	01/01/14:14:14	1000	1
:	:	:	:	:
VC-00027777	保管中	—	0	0

使用不可データ: 「1」は使用不可、「0」は使用可

【 図 1 5 】



【 図 1 7 】

ユニット管理テーブル

番号ID	口一カールP	設置局	状況	対応会議番号	受付ID	計数済玉数
CJ-001	000 000 000 000	01	受付中	001	KC-***000000000	***000
CJ-002	000 000 000 000	01	受付中	002	VC-***000000000	***000
.
CJ-101	000 000 000 000	10	受付中	101	KC-***000000000	***000
.

【 図 1 8 】

振分け履歴テーブル

[illegible]

【 図 1 6 】

(a) 会員貯蓄管理テーブル

カードID	会員ID	持玉数	貯玉数
KC-XXXXXXX1	K-00001	—	*****
KC-XXXXXXX2	K-00002	*****	*****
:	:	:	:
:	:	:	:

(b) ピジター貯蓄管理テーブル

カードID	最新発行日時	特玉数
VC-00000001	01/01/※※-※※	※※※※
VC-00000002	01/01/※※-※※	0
⋮	⋮	⋮
VC-00000XXX	01/01/※※-※※	※※※※
⋮	⋮	⋮
VC-000ZZZZ	—	0

【 図 1 9 】

(a) 会員情報テーブル

会員の ID番号	姓・名	生年月日	性別	年齢	職業	住所	Eメールアドレ ス
K-0001	O O 太郎	1980	M	5/6	会社員	東京都 中央区.....	***@***** ****@*****
K-0002	A A 次子	2001	F	17/11	高校生	千葉県 市川市.....	*****@***** *****@*****

(b) 会員別遊技履歴テーブル

社員ID	来日ID	生年月日	姓名字	職名	勤務時間	就業時間	退社時間	出勤時間	休日・休暇
K-0001	1回所	2002/07/01	張建忠	機修工	8時 - 16時	8時 - 16時	8時 - 16時	8時 - 16時	--- --
K-0002	1回所	2002/09/29	張建忠	機修工	8時 - 16時	8時 - 16時	8時 - 16時	8時 - 16時	--- --

【 図 2 0 】

157

振分け設定

・ 振替対象期間

1日

▽

設定

・ 振分け総数制限

☒ する

☐ しない

五

・ 振分け元上乗制限

☒ する

10000

☐ しない

五

・ 振分け先上乗制限

☒ する

10000

☐ しない

五

・ 連続振分け制限

☒ する

5000

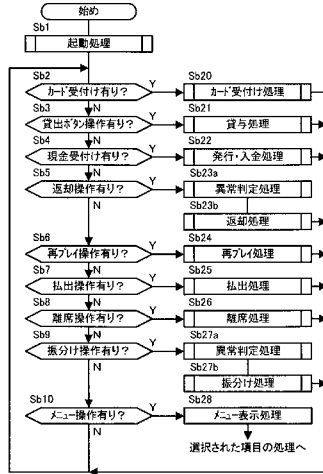
☐ しない

五

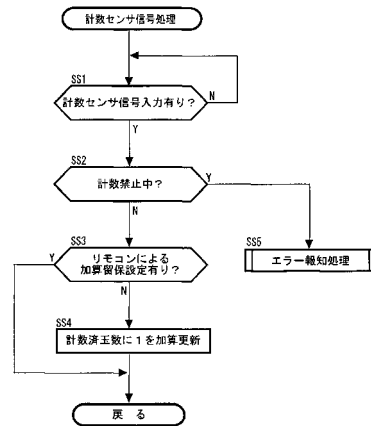
リセット

設定

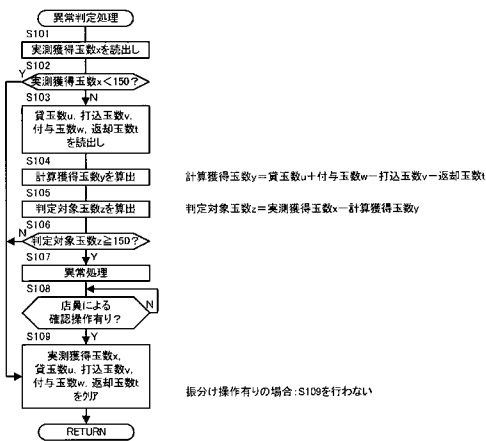
【図 2 1】



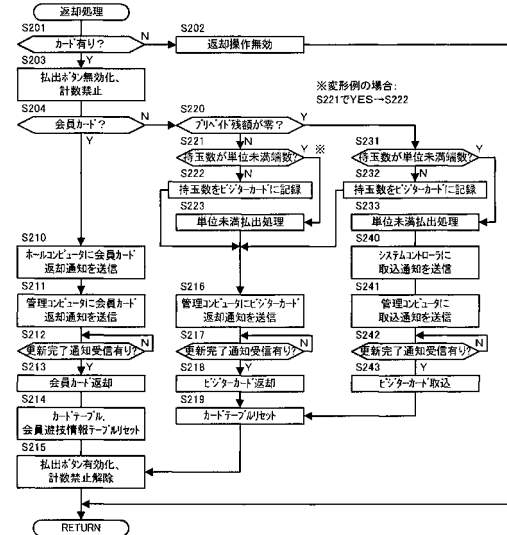
【図 2 2】



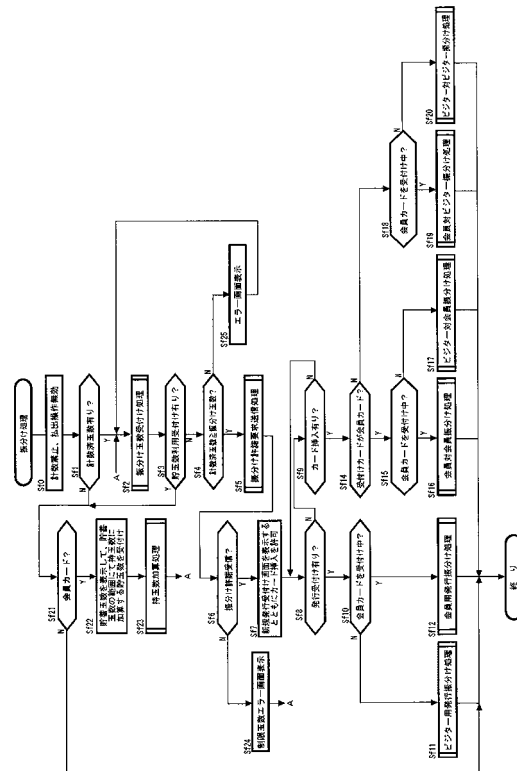
【図 2 3】



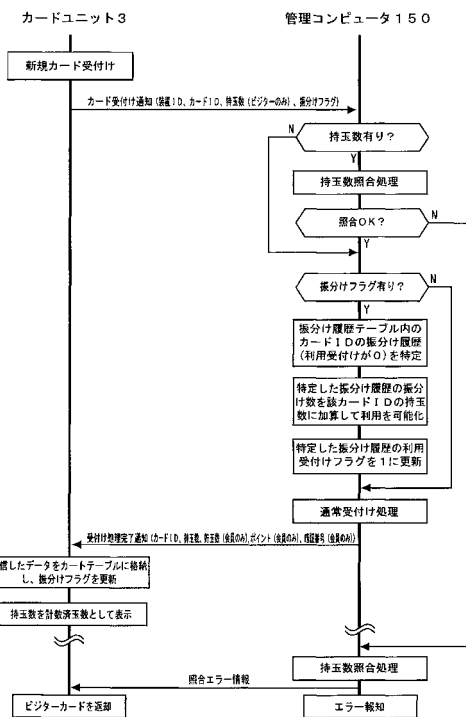
【図 2 4】



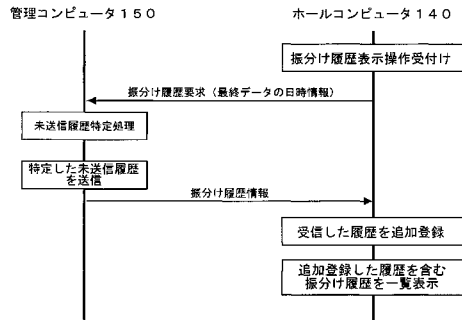
【 図 2 6 】



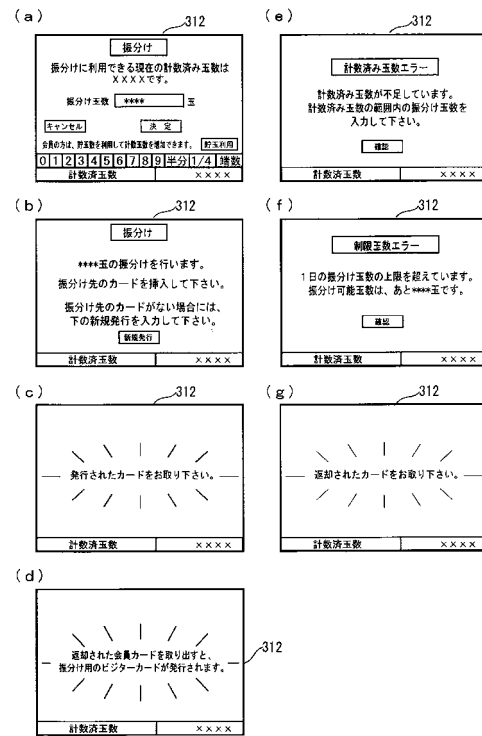
【圖 28】



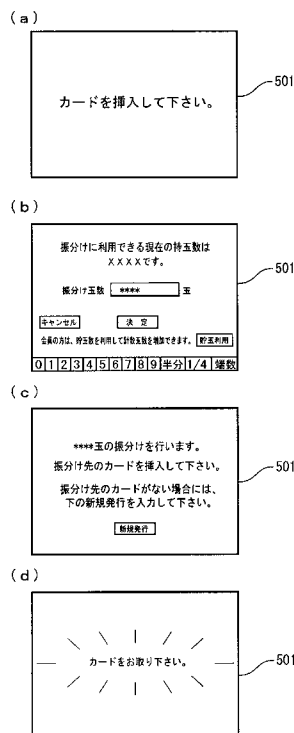
【図 29】



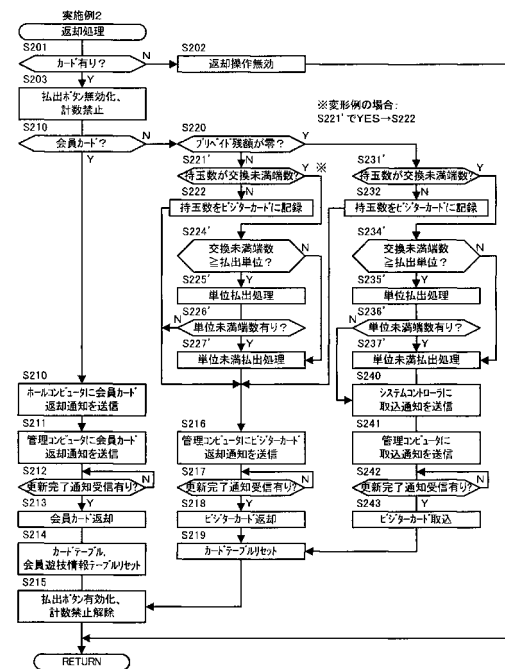
【図 30】



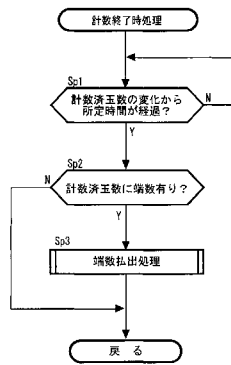
【図 31】



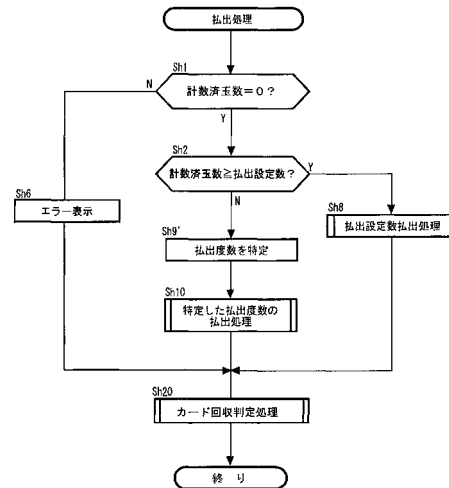
【図 32】



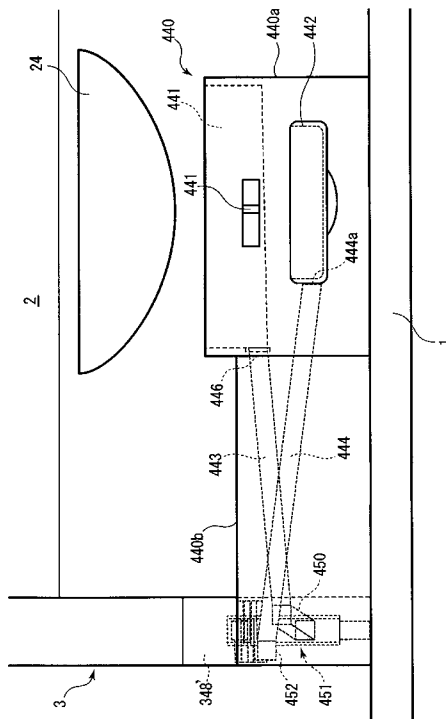
【 図 3 3 】



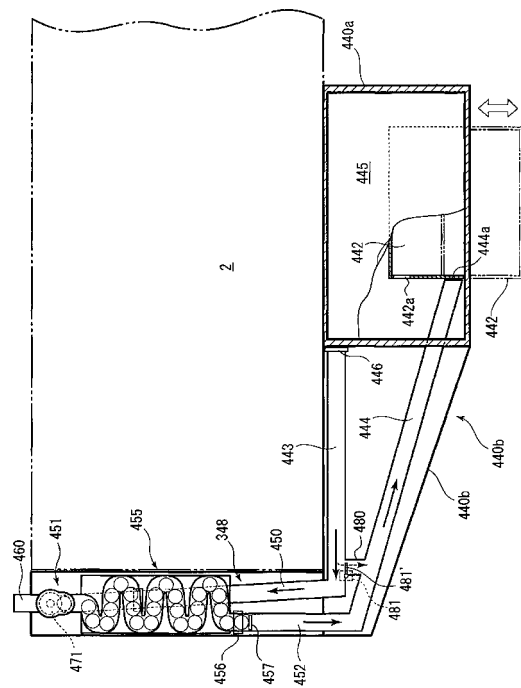
【 図 3 4 】



【 図 3 5 】



【 図 3 6 】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開2010-088517(JP,A)
特開2010-162180(JP,A)
特開2008-212279(JP,A)
特開2007-097925(JP,A)
特開2007-007479(JP,A)
特開2006-006503(JP,A)
特開2002-166037(JP,A)
特開2002-000921(JP,A)
特開2000-024299(JP,A)
特開平08-066552(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A63F 7/02